

『モノグラフ・中学生の世界』vol.68

調査レポート

中学教師は訴える

～ 中学教師の全国調査から～

〔執筆分担〕

- 東京成徳短期大学教授 深谷 昌志（第1章～第4章、まとめに代えて）
 群馬県立女子大学教授 永井 聖二（第5章）
 東京都足立区立東島根中学校校長 森永 徳一（調査データを読んで）
 東京都稲城市立稲城第五中学校教諭 亀澤 信一（調査データを読んで）
 東京都狛江市立狛江第四中学校養護教諭 根舛セツ子（調査データを読んで）

要

約

① サンプルの概要

男性が59.1%で、教諭が79.4%、既婚者が77.2%である（P.7 表2 - 2）

② 勤務状況

午後6時半頃まで半数以上が在籍し（P.7 表2 - 3）、夏休みも平均して20日くらいは出勤している（P.8 表2 - 5）、かなりの激務である。

③ 辞めたいと思ったこと

教職を「辞めたい」と数回以上思った者が39.7%と4割に達する（P.11 表2 - 9）

④ 学校の状況

「机やいすに落書きや傷がある」が66.0%だが、全体としては落ち着いている（P.13 表2 - 10、P.14 図2 - 1）

⑤ 学級（学校）の生徒の状況

きちんとつけられていない自己中心的な生徒が多く（P.19 図2 - 3、P.20 表2 - 14）、このところ増加している（P.21 表2 - 15）

⑥ 担任として

担任としてうまくいかなかった思い出がある教師が48.0%に達する（P.35 図3 - 1、P.36 表3 - 1）、少なくとも、どの教師も1回は荒れた学級の経験がある（P.36表3 - 2）

⑦ 荒れた背景

秩序を乱すグループがいて、指導力も不足していた（P.37 表3 - 3）

⑧ 担任としての悩み

問題を起こす生徒がいて、学級経営に苦勞している教師が半数に迫る（P.41 図3 - 3、P.42 表3 - 6）

⑨ 教師としての心がけ

生徒の名前を覚え、わかりやすい授業をする（P.44 図3 - 4、P.45 表3 - 9）

⑩ 生徒たちの教師像

生徒たちはユーモアのある先生を望んでいるが、教師は専門の知識を持った先生を志している（P.49 表3 - 13、P.50 表3 - 15、図3 - 5）

⑪ 教師としての悩み

学力差が大きく、忘れ物や宿題を忘れる生徒が多い（P.55 図4 - 1、P.56 表4 - 3）

⑫ 教師の体調

「肩がこる」が39.5%、「疲れやすい」が39.1%のように、体調のよくない教師が多い（P.57 図4 - 2、P.58 表4 - 6）

⑬ 教職への評価

現状は「セミ専門職」だが、「専門職」を目指したい（P.61 図4 - 4、表4 - 10）

⑭ 教育への意見

学級サイズを小さくしてほしいと望んでいる教師が84.2%に達する（P.63 図4 - 5、P.64 表4 - 12）

⑮ 教育改革への意見

完全学校週5日制の実施やスクールカウンセラーの配置に賛成する教師が多い（P.65 図4 - 6、P.66 表4 - 14）

[まとめ]

中学生は多感で、もともと扱いにくい年齢だが、このところ、きちんとしたしつけを受けていない自己中心的な生徒が増えた。そして問題を持つ生徒を抱え、学級経営に苦勞している教師の姿が浮かんできた。そうした苦勞で、体調の悪さを訴える教師が4割に迫る数値となって表れている。加えて、授業や部活動、生徒指導と教師たちは多忙だ。教師を心身ともの過勞から救うために教師たちが望んでいるような学級サイズの縮小が必要であるが、それと同時に、勤務条件の緩和も必要のように思えた。



[調査概要]

対象 全国の中学校教師

時期 2000年10月～12月

方法 郵送法

サンプル数 配布数約7,200名・回収数792名
（男性59.1%、女性40.9%）
回収率11.0%

第1章 テーマの設定と調査デザイン



1. テーマの設定 DDD

教職についている者は幼稚園から大学まで、学校段階によってそれぞれの課題を抱えていよう。これまで研究だけしていればよかった大学教師も、学生減や精神的に若い学生の増加の影響を受けて、神経を遣う仕事になりつつある。幼稚園の教諭も、少子化による園児の減少や幼保一元化の流れを受けた預かり保育など、変動の時を経験している。それでも全体としてみたとき、教師として、最も大変なのは中学教師のように思う。

「校内暴力」や「いじめ」「キレる」と中学生をめぐる、生徒指導の問題が次々と発生する。近年では、「学級崩壊」が進んでいるといわれる。テレビが特集を組み、問題を提起する。それを後追いする形で、活字メディアが問題を取り上げる。そうすると、「学級崩壊」という言葉が一人歩きして、学校が

荒廃している印象を受ける。そして、教師は何をしているのかと教師の対応の悪さが批判される。

授業中に私語をして静かにならない。ざわざわして、先生の話の間を聞きとしない子どもが増えた。時には、消しゴムを細かく砕いて投げ合う。それだけに、授業をしにくい状況が多くなったのは確かであろう。その反面、身近な教師の話を知ると、「崩壊」という言葉で連想されるような乱れは少ないという。

そうした「授業の荒れ」が、どの程度広まっているのか。それを知りたいと思い本モノグラフ・シリーズでは、教師と生徒を対象として「授業の荒れ」についての調査を実施し、その結果を発表してきた。

「いじめ」がそうであったように、「授業の荒れ」についても、分析を行えばそれなり

の状況を把握でき対応策の見当もつく。しかしこれまでと同様に、「授業の荒れ」が一段落すると、また新しい生徒指導の問題が発生してくる。

中学教師の仕事が生徒指導に限られているなら新しい諸問題への対応も可能であろうが、教師の本業は授業であろうし、それに部活動の指導もある。授業と部活動に一日の多くをとられ、生徒指導にゆっくり時間をとれないのが教師の実情であろう。

高校の場合、喫煙や飲酒をした生徒を退学

させることができる。伝家の宝刀を抜くことが少ない場合でも、宝刀の存在を生徒は知っており、逸脱への抑止力になりうる。そうした一方、小学校なら子どもが幼いので、宝刀がなくとも、「教師であるおとな」対「学習する子ども」の関係で、逸脱を阻止できる。しかし中学校の場合、生徒は反抗期のさかりで反発する世代なのに、一定期間の登校停止くらいしか刀を持っていない。扱いにくい生徒を相手に、非暴力で立ち向かう。そうした面でも、中学教師の心労が加わる。

2 . 調査のデザイン D D D

こうした状況を教師たちはどう考えているのか。教師の率直な声を聞きたいと思った。ただし、教師の置かれている状況に地域差があると考えられるので、全国調査を行いたいと思った。そうはいっても、本調査を支援してくれるベネッセコーポレーションは、民間企業である。暖かい理解をしてくれるといっても、当然のことながら支出できる金額におのずと制約がある。

サンプル選びについては、教員名簿を利用して、調査票を直接郵送する方法も考えられる。しかし、教員名簿を公開していない県もある上に、郵送法には莫大な費用がかかる。そこでベネッセ教育研究所のスタッフと相談して、全国の中学校からサンプル校ををランダムに抽出する方法を取った。

具体的な中学校の抽出にあたっては、全国の中学校約1万5000校からほぼ35分の1の割合で300校を抽出した。各中学校に調査の趣旨を書いた文章とともに、教員の人数分のアンケート用紙を送付して協力を求めた。依頼した数は296校の約7,200名である。なお、各学校には、可能なら管理職はむろん、養護

教諭、学級担任、非常勤講師まで、多様な教師の協力を得たいというお願い文をつけた。調査票は受取人払いの形で、ベネッセ教育研究所で回収した。

調査の依頼をしたのは2000年10月、同年12月に回収を締め切った。回収できた調査票は792通で、回収率は11.0%だった。

残念ながら、回収率は高いといえない。しかし本調査の場合、協力者への調査票配布を学校にお願いしたため、サンプルを特定できないので、調査協力への督促ができなかった。

回収率の低さから、本調査が厳密な科学的な意味で中学教師の意見を集約できたといえないのかもしれない。しかし、官庁が権限を背景に調査する場合はともあれ、民間企業のできる範囲には限度がある。

考えてみれば、こちらの一方的な願いを聞き長いアンケート用紙に答え、送付するのも面倒な作業であろう。そうした事情を考えると、悪い条件の中で回答を寄せられた先生たちに感謝したいし、本調査が中学教師の素直な気持ちを十分に反映していると考えている。

第2章 中学教師の状況



1. 教師たちの概要 DDD

1) 教師の勤務状態

中学教師はどういう生活を送っているのか。調査に協力してくれた教師たちの概要を紹介してみよう。

表2-1に学校の状況を示した。そして、表2-2にサンプルの構成を掲げた。この中

で特徴的なことは、職名では「教諭」が79.4%、「4校以上の経験あり」が51.0%、「運動部」の顧問が61.6%である。平均年齢は41.7歳で、中学教師の平均に近い。

表2-3の勤務状況によれば、半数以上の教師が授業開始30分前頃までに学校に入り、夜の6時半すぎまで在籍している。教師の場

表2-1 学校の状況

校区の特徴	商業地域	工業地域	農山村地域	漁業・港町	新興住宅街	マンションなどの集合住宅街	昔からの住宅街	(%)		
		12.0	1.5	39.5	5.7	13.8	4.7	22.8		
学級数	3クラス未満	3~5クラス	6~8クラス	9~11クラス	12~14クラス	15~17クラス	18~20クラス	21クラス以上		
	2.4	13.8	17.7	9.2	17.5	12.2	17.3	9.9		

合、正規の授業はもちろんだが、昼食も教室で生徒とともにとっている場合が多いし、放課後も部活動の指導にあたり、会議や打ち合わせに追われる。生徒指導の時間も

ある。それだけに、休息という時間をとりにくい。そう考えると、短く見積もっても毎日10時間程度は在校し、連続して勤務している計算になる。

表 2 - 2 サンプルの構成 (792サンプル)

		(%)									
性別	男性	女性									
	59.1	40.9									
年齢	24歳以下	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳以上			
	3.5	11.9	15.7	20.6	19.0	13.4	9.5	6.4			
教職経験年数	4年以下	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上				
	11.0	15.1	19.0	19.5	17.0	8.9	9.6				
出身大学	教育系	国公立 4年制大学	私立 4年制大学	短大	大学院	その他					
	38.1	13.8	39.0	6.0	1.4	1.8					
担当教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語	2教科担当	その他
	14.1	13.6	15.4	11.7	6.3	3.3	10.7	5.5	11.3	2.2	5.9
職名	校長	教頭	教諭	養護教諭	その他						
	2.9	6.7	79.4	5.1	5.9						
校務分掌	教務	生活(生徒指導)	進路(学習)	保健	研究	庶務	その他				
	14.9	17.8	13.9	8.1	6.9	6.4	32.0				
経験校数	1校	2校	3校	4校	5校	6校	7校以上				
	7.8	19.1	22.2	18.6	14.4	7.6	10.4				
学級担任経験	4回以下	5～9回	10～14回	15～19回	20～24回	25～29回	30回以上				
	22.5	21.8	26.0	19.2	6.2	3.2	1.2				
部活動顧問	運動部	文化部	していない								
	61.6	17.2	21.2								
結婚 子どもの有無	未婚	既婚・子どもなし	既婚・子どもあり	その他							
	22.3	10.1	67.1	0.5							

表 2 - 3 平日の勤務状況 少なくとも6時半まで在校

		(%)							
登校 (授業開始前)	5分	10～15分	20～30分	40～50分	1時間	1時間半	それ以上		
	7.7	25.8	35.5	17.3	9.2	3.4	1.1		
通勤時間	15分以内	30分くらい	45分くらい	1時間くらい	1時間半くらい	2時間くらい	それ以上		
	39.3	39.1	12.1	7.4	1.4	0.5	0.1		
退勤時刻	5時以前	5時半頃	6時頃	6時半頃	7時頃	8時頃	9時頃	9時以降	
	1.8	11.5	16.1	21.1	27.9	16.5	2.6	2.4	
(累積)		13.3	29.4	50.5	78.4	94.9	97.5	99.9	

さらに、表2 - 4によれば、土日に出勤する回数が3日以上が54.5%を占める。休みの土日が1か月に6回と計算するなら、半数以上の教師がかなりの割合で学校に出ているようにみえる。

表2 - 5に夏休みの出勤状況を示した。「先生は休みが多くていいですね」と言われる。しかし、部活動に10日、自宅外研修に4日のように、合計すると夏休みの出勤は22日を数える。部活動の指導、夏季研修会への出席、校内での会議など、それぞれに理由は

わかるが、夏休みの半分くらいが研修や指導に費やされる。

表2 - 3から表2 - 5までの勤務状態をまとめてみると、毎日10時間くらい学校にいて、土日も半分くらい出勤する。夏休みも2日に1日くらいの割合で、部活動の指導や研修会への出席に費やされる。

中学教師は授業と部活動、生徒指導と1人3役を果たしている。それだけに過労なのは確かだと思うが、こうした数値をみると改めて過労ぶりが浮かんでくる。

表2 - 4 土日などの出勤日(1か月) 2、3日

(%)

	0日	1日	2日	3日	4日	5日以上
	15.5	14.4	15.6	14.7	14.3	25.5
(累積)	100.0	84.5	70.1	54.5	39.8	

表2 - 5 夏休みの出勤 平均20日くらい

(%)

	0日	1~2日	3~4日	5~6日	7日くらい	10日くらい	2週間以上	平均
①部活動で	17.8	4.7	5.9	6.7	7.5	14.5	43.0	10日
②プール指導で	80.9	14.6	3.0	0.1	0.4	0.3	0.6	0日
③研修(自宅での研修を除く)で	17.0	22.3	24.2	17.0	8.8	7.5	3.3	4日
④会議で	27.0	36.9	24.1	7.9	2.7	1.3	0.1	2日
⑤教材研究や事務処理で	12.8	21.9	23.2	15.1	9.4	8.6	9.0	4日
⑥夏季施設で	85.5	8.5	3.4	1.7	0.6	0.1	0.3	0日
⑦補習で	70.7	8.1	12.0	5.0	2.3	0.8	1.1	0日
⑧その他	44.4	13.9	15.3	8.4	4.8	6.4	6.8	2日

2) 教職への思い

教師の場合、教育学部を卒業するか、それとも教職課程をとって実習をするキャリアが多いので、かなり早くから教職を志している者が一定の割合を占めよう。

表2 - 6の結果でも、中学校までに教職を

志していた者が4割を数える。そして、教職を考えるきっかけとなった人がいると答えた者が66.5%に達する(表2 - 7)。親が教師だった、あるいは学校の先生の影響を受けたなどが教職志願の具体的な姿である。そうした「意味のある他者」の存在が、教職につくきっかけになったのであろう。

表2 - 6 教師を志した時期

		(%)					
		小学校 低学年	小学校 高学年	中学校	高校	短大・大学 入学後	短大・大学 卒業の頃
全 体		4.7	10.6	22.3	26.4	15.6	20.4
(累積)			15.3	37.6	64.0	79.6	100.0
性 別	男 性	2.7	9.1	23.3	30.4	16.0	18.4
	女 性	7.8	13.1	20.9	20.3	15.4	22.5

表2 - 7 教職を志すのに影響を与えた人 「いた」が3分の2

		(%)		
		いなかった	いた	(肉親 / 肉親以外)
全 体		33.5	66.5	(17.5 / 49.0)
性 別	男 性	35.2	64.8	(16.6 / 48.2)
	女 性	31.6	68.4	(18.0 / 50.4)

それだけに、「教職についたときの気持ち」は、「かなり」の30.0%に「とても」の32.0%を含めて、「積極的だった」が62.0%と6割を超える(表2-8)。

そうした形で意欲的に教職についたにもかかわらず、表2-9によれば、「辞めたい」と思ったことがある者は「数回以上」で39.7%に達する。

表中の属性分析によると、「辞めたい」気

持ちが強い者は、性別では女性48.2%、担当教科は国語47.6%、教職経験年数は「5~14年」46.6%、職名は養護教諭45.0%などとなる。

退職を考えた者が決して少数でなく、「1度もない」は29.6%にとどまる。しかも、生徒と真剣に接していると思われる養護教諭や中堅の先生などに退職を考えた者が多いのが気がかりである。

表2-8 教職についたときの気持ち(積極的 消極的) × 属性 積極的に

(%)

		とても積極的だった	かなり積極的だった	やや積極的だった	ふつうくらい	やや消極的だった	かなり消極的だった	とても消極的だった
全 体		32.0	30.0	14.7	14.4	6.6	1.7	0.6
性 別	男 性	32.6	33.3	14.4	12.5	5.0	1.8	0.4
	女 性	31.0	25.2	15.0	17.6	8.6	1.6	1.0
職 名	管理職	30.2	37.7	18.9	9.4	3.8	0.0	0.0
	教 諭	32.6	29.8	13.4	14.9	6.9	1.8	0.6
	養護教諭	25.0	20.0	22.5	20.0	10.0	2.5	0.0
教 職 経 験 年 数	4年以下	33.7	32.6	16.3	8.1	5.8	1.2	2.3
	5~14年	30.7	28.7	15.3	14.7	8.7	1.3	0.7
	15~24年	27.1	28.6	20.3	18.8	4.5	0.8	0.0
	25年以上	39.5	30.3	10.5	14.5	5.3	0.0	0.0

表2 - 9 教職を辞めたいと思ったこと × 属性 「何度も」が4割

(%)

		1度も ない	1～2度 あった	数回 あった	いつもそう 思っている
全 体		29.6	30.7	29.4	10.3
性 別	男 性	35.7	30.9	25.5	7.8
	女 性	21.7	30.0	34.5	13.7
職 名	管理職	35.8	41.5	20.8	1.9
	教 諭	29.2	28.9	30.5	11.5
	養護教諭	22.5	32.5	32.5	12.5
教 職 経 験 年 数	4年以下	36.0	29.1	25.6	9.3
	5～14年	26.0	27.3	33.3	13.3
	15～24年	23.3	34.6	25.6	16.5
	25年以上	31.6	42.1	22.4	3.9
担 当 教 科	国 語	31.1	21.4	37.9	9.7
	社 会	41.4	29.3	20.2	9.1
	数 学	29.5	30.4	32.1	8.0
	理 科	38.8	32.9	23.5	4.7
	体 育	30.8	38.2	28.2	2.8
	英 語	22.0	37.8	24.4	15.9

2 . 学校や生徒の状況 D D D

1) 学校の状況

中学校が荒れているといわれる。調査の打ち合わせなどをかねて中学校を訪ねることがあるが、多くの学校は整然としており、秩序が保たれている印象を受ける。ただ、教頭などの話を聞くと、学級によっては問題を抱え、不登校気味の生徒も少なくないという。

学校の状況を表2 - 10に示したが、それを図化したのが図2 - 1である。「よくある」と「ときどきある」の数値が6割以上を「よくある」、2 ~ 3割を「ときどきある」、1割台を「たまにある」、1割以下を「ほとんどない」ととらえてみよう。

①「よくある」

机に落書き (66.0%)

②「ときどきある」

傘や自転車の無断使用 (36.3%)

トイレにたばこ (32.8%)

お金が盗まれる (31.4%)

トイレが壊される (26.7%)

先生がののしられる (23.7%)

③「たまにある」

先生を挑発する (19.4%)

下足箱がゆがむ (18.5%)

黒板に先生の悪口 (14.4%)

非常ベルが鳴る (14.2%)

トイレトペーパーが教室に散乱 (12.2%)

④「ほとんどない」

グラウンドなどで自転車 (7.9%)

先生の車が傷つけられる (6.5%)

授業ができない (6.2%)

ワイシャツを掴まれる (5.0%)

このように全体としてみると、机に落書きは「よくある」し、傘や自転車の無断使用も「ときどき」見かける。しかし、非常ベルが鳴るのは「たまに」だ。つまり、授業ができないことは「ほとんどない」となる。

そして、表2 - 11に学校の状況を地域別にまとめた結果を示した。学校が荒れているのは商業地域の学校で、農山村地域の学校では「荒れ」が見受けられないように見える。机の落書きも農山村地域は商業地域の半分にとどまっている。したがって一口に中学校といっても、地域によって学校の姿に開きが認められるように思われる。

表2 - 10 学校の状況 机に落書き

(%)

	よくある	ときどきある	小計	あまりない	まったくない
①机やいすに落書きや傷がある	22.7	43.3	66.0	30.6	3.4
②傘や自転車を無断使用する	7.1	29.2	36.3	37.8	25.8
③トイレや校舎の隅にたばこの吸いながら落ちている	9.9	22.9	32.8	36.4	30.8
④お金や靴が盗まれる	4.9	26.5	31.4	39.4	29.1
⑤トイレのドアや手すりが壊される	5.6	21.1	26.7	38.6	34.8
⑥先生がののしられたり暴言を吐かれたりする	5.1	18.6	23.7	41.6	34.8
⑦先生を挑発する	3.7	15.7	19.4	40.3	40.4
⑧下足箱が蹴飛ばされてゆがんでいる	4.8	13.7	18.5	35.9	45.5
⑨黒板に先生や友だちの悪口が書かれる	2.0	12.4	14.4	47.1	38.5
⑩非常ベルが鳴る	3.7	10.5	14.2	27.7	58.1
⑪トイレットペーパーが教室や廊下に散乱している	2.3	9.9	12.2	28.2	59.6
⑫グラウンドや花壇で自転車を乗り回す	3.2	4.7	7.9	18.3	73.8
⑬先生の車や私物が傷つけられたり盗まれる	0.8	5.7	6.5	25.3	68.2
⑭授業ができないので、校長や保護者の参観を頼む	1.5	4.7	6.2	12.4	81.4
⑮先生がワイシャツを掴まれたり蹴られる	1.1	3.9	5.0	23.0	71.9

図2 - 1 学校の状況

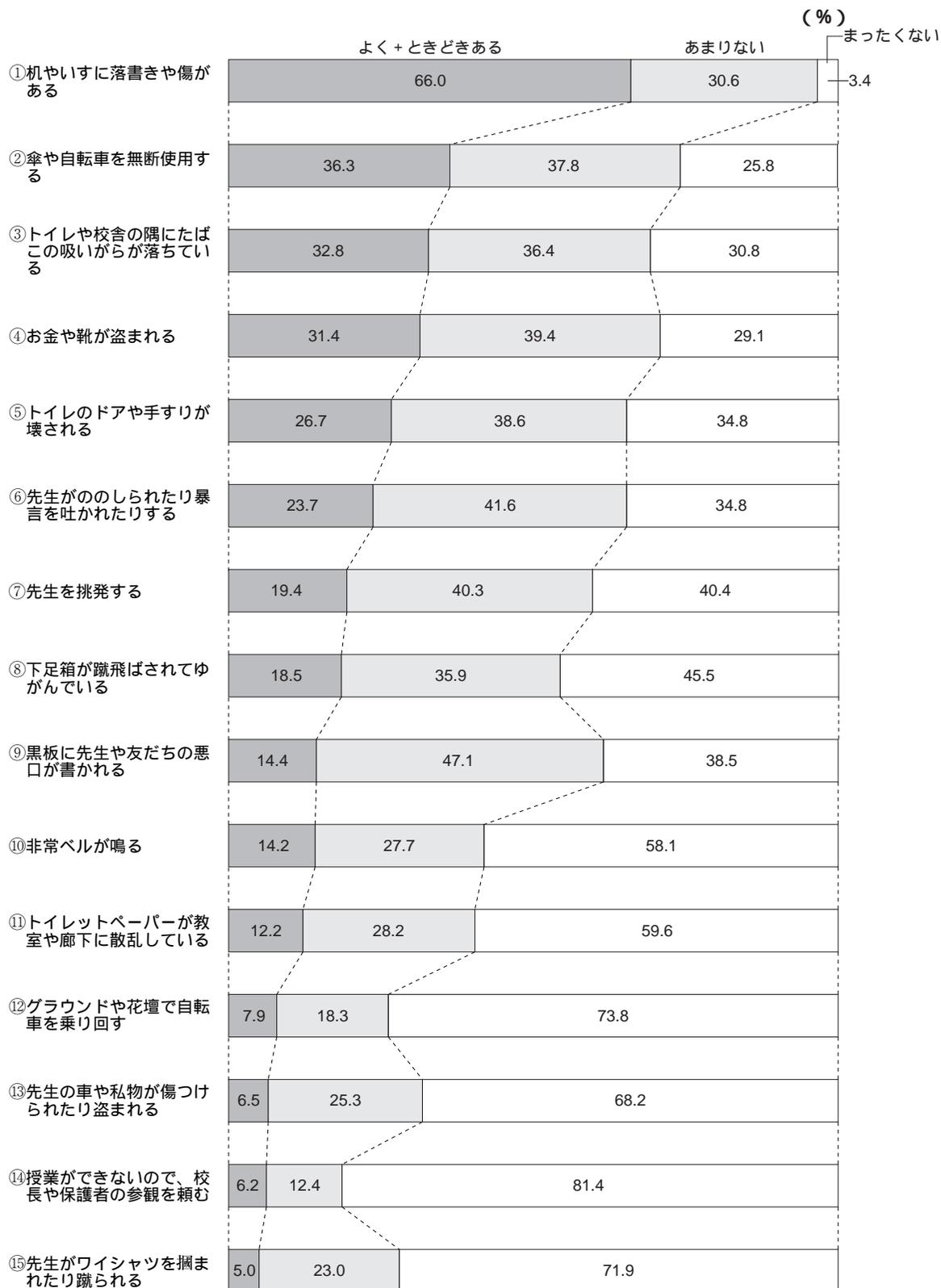


表2 - 11 学校の状況 × 学校の地域 商業地域の学校に「荒れ」

(%)

	農山村地域	商業地域	昔からの住宅街	新興住宅街
①机やいすに落書きや傷がある	16.0	33.8	25.7	35.9
②傘や自転車を無断使用する	16.8	48.8	43.0	60.9
③トイレや校舎の隅にたばこの吸いがらが落ちている	21.7	41.3	30.3	34.1
④お金や靴が盗まれる	13.3	51.3	25.8	48.9
⑤トイレのドアや手すりが壊される	55.9	75.0	70.4	69.6
⑥先生がののしられたり暴言を吐かれたりする	12.9	37.5	25.7	19.6
⑦先生を挑発する	11.1	27.5	16.4	14.1
⑧下足箱が蹴飛ばされてゆがんでいる	5.3	26.9	26.0	23.9
⑨黒板に先生や友だちの悪口が書かれる	8.4	22.5	16.4	14.1
⑩非常ベルが鳴る	4.2	35.0	9.6	18.7
⑪トイレトペーパーが教室や廊下に散乱している	6.9	18.8	11.9	14.1
⑫グラウンドや花壇で自転車を乗り回す	2.7	12.7	4.6	9.8
⑬先生の車や私物が傷つけられたり盗まれる	3.4	5.1	3.3	8.7
⑭授業ができないので、校長や保護者の参観を頼む	3.4	5.0	2.0	4.3
⑮先生がワイシャツを掴まれたり蹴られる	3.4	5.0	4.6	4.4

「よく」+「ときどき」ある割合
 ○は最大値 —は最小値

2) 学級の姿

それでは学級の姿はどうなっているのか。表2 - 12 (図2 - 2) から明らかなように、「いつも」と「かなり」見かけるのは、「授業が始まって教科書を出さない」の26.3%にとどまる。そして、「先生の指示や質問を無視する」は5.2%、「授業中、マンガや小説を読んでいる」は3.9%のように、「荒れ」的な

状況を暗示するデータは数パーセントにとどまる。

そして表2 - 13によれば、新興住宅街の学校に「荒れ」的な現象が見受けられるが、農山村地域の学校には「授業中、注意されてもおしゃべりをやめない」や「授業中、手紙や交換日記を書いている」などの行為をする生徒は少ない。

表2 - 12 学級の生徒の姿(見かけるか) 荒れ的な症状は4、5%前後

	(%)					
	いつも見かける	かなり見かける	小計	やや見かける	たまに見かける	ぜんぜん見かけない
①授業が始まって教科書を出さない	8.9	17.4	26.3	35.9	31.9	5.9
②授業中、注意されてもおしゃべりをやめない	3.6	9.6	13.2	20.3	41.3	25.2
③授業中、手紙や交換日記を書いている	3.6	9.0	12.6	14.6	54.0	18.8
④友だちの発言をなじったり笑ったりする	2.7	8.5	11.2	20.4	50.2	18.2
⑤クラスにまとまりがない	3.2	7.7	10.9	25.4	50.1	13.6
⑥机や教室の壁に落書きがあるなど教室が汚い	3.5	6.3	9.8	12.2	48.1	29.9
⑦先生を批判するグループがある	3.0	5.3	8.3	14.3	46.7	30.8
⑧先生が言ったことのあげあしをとる	2.4	5.6	8.0	13.1	50.4	28.5
⑨授業中、教室を出たり入ったりしている	2.7	4.0	6.7	10.7	29.3	53.4
⑩先生の注意や叱責に反抗する	1.9	4.7	6.6	15.6	45.1	32.7
⑪先生の指示や質問を無視する	2.1	3.1	5.2	11.0	46.7	37.1
⑫授業中、マンガや小説を読んでいる	2.1	1.8	3.9	5.2	38.1	52.9
⑬授業中、アメやガムをこっそり食べている	1.7	2.1	3.8	2.8	17.8	75.6
⑭授業中、教室の後ろの方で、寝ころんだり座ったりしている	1.0	1.8	2.8	3.9	14.6	78.7
⑮先生に対抗して、クラスが1つにまとまっている	0.4	0.9	1.3	5.0	18.7	75.0
⑯授業中、ポータブルプレーヤーなどで音楽を聴いている	0.8	0.5	1.3	1.4	7.0	90.3

図2-2 学級の生徒の姿

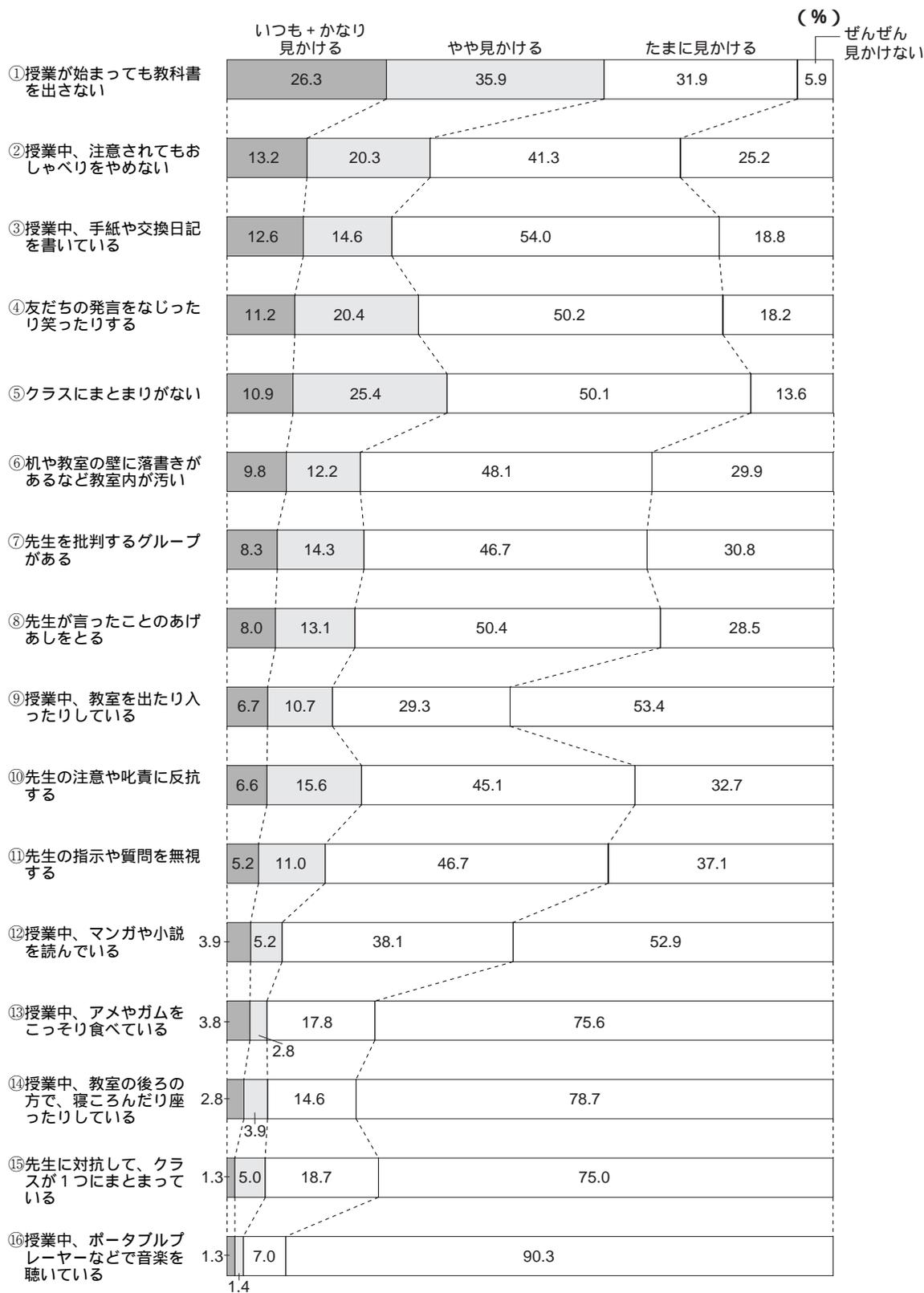


表2 - 13 学級の生徒の姿×学校の地域 農山村地域は平静

(%)

	農山村地域	商業地域	昔からの住宅街	新興住宅街
①授業が始まって教科書を出さない	20.3	34.2	24.7	30.0
②授業中、注意されてもおしゃべりをやめない	9.7	15.2	12.7	16.7
③授業中、手紙や交換日記を書いている	6.6	13.9	9.3	18.9
④友だちの発言をなじったり笑ったりする	8.1	8.9	9.4	15.6
⑤クラスにまとまりがない	5.8	11.4	10.7	16.7
⑥机や教室の壁に落書きがあるなど教室内が汚い	8.5	11.4	8.7	6.7
⑦先生を批判するグループがある	5.4	6.3	6.7	10.0
⑧先生が言ったことのあげあしをとる	6.6	6.3	6.0	13.3
⑨授業中、教室を出たり入ったりしている	4.7	8.9	4.0	12.2
⑩先生の注意や叱責に反抗する	5.8	5.1	5.3	7.8
⑪先生の指示や質問を無視する	3.9	2.5	6.0	5.6
⑫授業中、マンガや小説を読んでいる	2.7	9.0	2.0	4.4
⑬授業中、アメやガムをこっそり食べている	2.3	7.5	1.4	5.6
⑭授業中、教室の後ろの方で、寝ころんだり座ったりしている	1.5	5.1	0.7	5.6
⑮先生に対抗して、クラスが1つにまとまっている	2.3	1.3	1.3	0.0
⑯授業中、ポータブルプレイヤーなどで音楽を聴いている	0.8	5.1	0.0	1.1

「いつも」+「かなり」見かける割合
 ○は最大値 — は最小値(5%以上開いた場合)

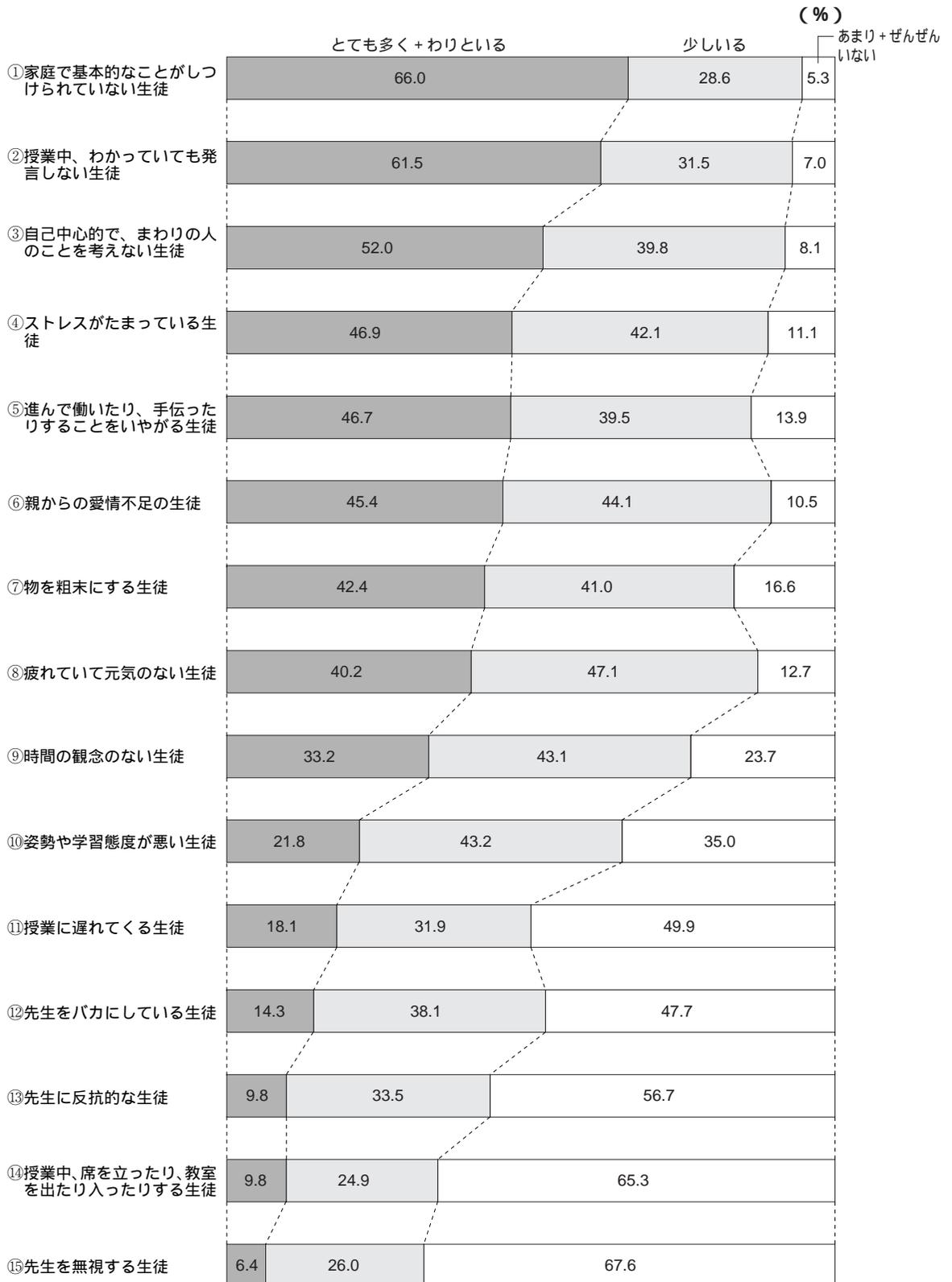
3) 生徒の姿

平均すると学級は静かだが、学校全体としてみると生徒たちがざわついているようにみえる。そこで、教師たちに生徒の状況を尋ねてみた。

図2 - 3(表2 - 14)から明らかなように、生徒の印象の上位4位までは、「家庭で基本

的なことがしつけられていない生徒(66.0%)「授業中、わかっていても発言しない生徒」(61.5%)「自己中心的で、まわりの人のことを考えない生徒」(52.0%)「ストレスがたまっている生徒」(46.9%)となる。教師の目には、自己中心的で、しつけられていず、ストレスがたまっているというのが生徒の平均的な感じのようにみえる。

図2-3 学級(学校)の生徒の状況



そこで、10年前と比べて問題のある生徒が増えていると思うかを尋ねてみた(表2-15)。そうした生徒が「とても増えている」と感じる割合が4割以上の項目を拾ってみよう。「家庭で基本的なことがしつけられていない」(55.9%)、「がまんできない」(51.8%)

「頭髪を加工する」(44.9%)、「服装がだらしない」(43.4%)、「キレイやすい」(41.2%)、「ルールを守らない」(40.3%)の6項目である。

上記は「とても増えている」が4割以上の項目だが、これを並べ替えると、ここ10年の間に増えている生徒はキレイやすく、がまん

表2-14 学級(学校)の生徒の状況 しつけられていない自己中心的な生徒

(%)

	とても多く いる	わりと いる	小計	少し いる	あまり いない	ぜんぜん いない
①家庭で基本的なことがしつけられていない生徒	20.0	46.0	66.0	28.6	4.8	0.5
②授業中、わかっているにもかかわらず発言しない生徒	11.7	49.8	61.5	31.5	6.0	1.0
③自己中心的で、まわりの人のことを考えない生徒	13.9	38.1	52.0	39.8	7.5	0.6
④ストレスがたまっている生徒	10.2	36.7	46.9	42.1	9.8	1.3
⑤進んで働いたり、手伝ったりすることをいやがる生徒	11.2	35.5	46.7	39.5	13.1	0.8
⑥親からの愛情不足の生徒	9.9	35.5	45.4	44.1	9.7	0.8
⑦物を粗末にする生徒	8.7	33.7	42.4	41.0	15.1	1.5
⑧疲れていて元気のない生徒	7.4	32.8	40.2	47.1	11.9	0.8
⑨時間の観念のない生徒	6.0	27.2	33.2	43.1	22.3	1.4
⑩姿勢や学習態度が悪い生徒	4.4	17.4	21.8	43.2	30.3	4.7
⑪授業に遅れてくる生徒	4.9	13.2	18.1	31.9	37.6	12.3
⑫先生をバカにしている生徒	2.7	11.6	14.3	38.1	39.4	8.3
⑬先生に反抗的な生徒	1.5	8.3	9.8	33.5	42.7	14.0
⑭授業中、席を立ったり、教室を出たり入ったりする生徒	2.7	7.1	9.8	24.9	35.0	30.3
⑮先生を無視する生徒	1.3	5.1	6.4	26.0	48.5	19.1

のできない、しつけられていない生徒で、そうした生徒に頭髪の加工や、服装のだらしなさが目につくとなる。

そして、図2 - 4、図2 - 5（表2 - 16）によれば、そうした見方を持っているのは養護教諭に多い。養護教諭は生徒の姿を身近に

接している。そして、生徒に共感を持っている教師だ。そうした養護教諭からみても、扱いにくい生徒が増加したという印象が強い。それだけ、生徒の変容が激しいのかもしれない。

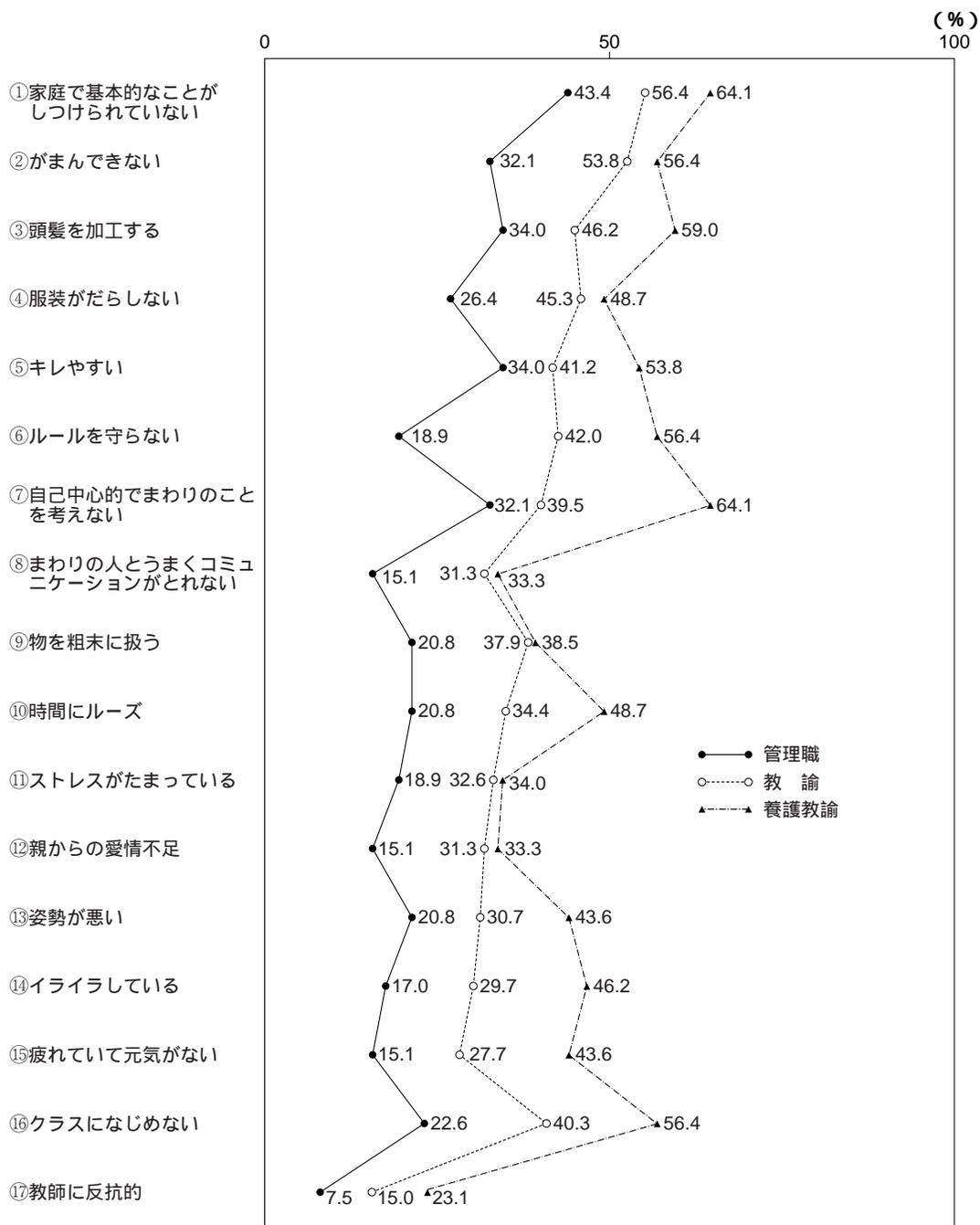
表2 - 15 生徒の状況(10年前と比べ、増えているか)

しつけられていない、がまんのできない子どもが増加

(%)

	とても 増えている	少し 増えている	変わら ない	少し 減っている	かなり 減っている
①家庭で基本的なことがしつけられていない	55.9	36.1	7.4	0.5	0.1
②がまんできない	51.8	39.2	7.7	1.1	0.1
③頭髪を加工する	44.9	35.2	16.2	3.0	0.6
④服装がだらしない	43.4	35.5	17.4	2.9	0.8
⑤キレやすい	41.2	45.6	11.9	0.8	0.5
⑥ルールを守らない	40.3	42.5	15.5	1.4	0.4
⑦自己中心的でまわりのことを考えない	39.5	42.0	16.9	1.4	0.3
⑧まわりの人とうまくコミュニケーションがとれない	39.2	47.4	12.9	0.4	0.1
⑨物を粗末に扱う	35.9	43.8	18.5	1.4	0.4
⑩時間にルーズ	33.9	42.5	21.6	1.6	0.4
⑪ストレスがたまっている	32.7	50.3	16.4	0.5	0.1
⑫親からの愛情不足	30.1	51.2	17.8	0.8	0.1
⑬姿勢が悪い	29.9	38.8	30.3	0.6	0.3
⑭イライラしている	29.7	48.5	20.7	0.8	0.4
⑮疲れていて元気がない	27.8	50.9	20.2	1.0	0.1
⑯クラスになじめない	17.1	53.9	28.3	0.6	0.1
⑰教師に反抗的	15.0	35.3	41.8	6.7	1.3

図2-4 生徒の状況 × 職名



「とても増えている」割合

図2 - 5 生徒の状況 × 教職経験年数

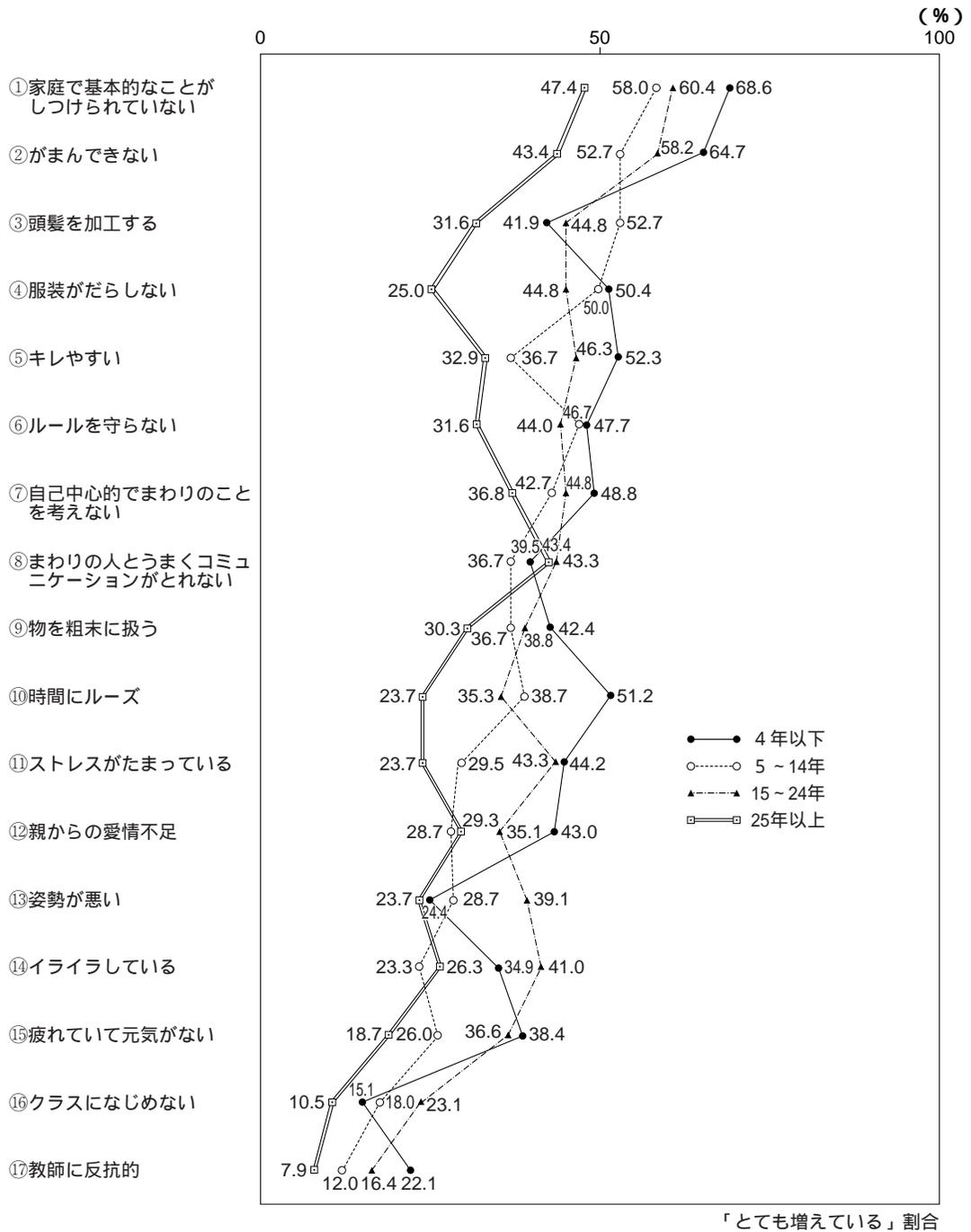


表2 - 16 生徒の状況 × 属性 養護教諭は危機感を持つ

(%)

	職 名			教職経験年数			
	管理職	教 諭	養護教諭	4年以下	5～14年	15～24年	25年以上
①家庭で基本的なことがしつけられていない	43.4	56.4	64.1	68.6	58.0	60.4	47.4
②がまんできない	32.1	53.8	56.4	64.7	52.7	58.2	43.4
③頭髪を加工する	34.0	46.2	59.0	41.9	52.7	44.8	31.6
④服装がだらしない	26.4	45.3	48.7	50.4	50.0	44.8	25.0
⑤キレやすい	34.0	41.2	53.8	52.3	36.7	46.3	32.9
⑥ルールを守らない	18.9	42.0	56.4	47.7	46.7	44.0	31.6
⑦自己中心的でまわりのことを考えない	32.1	39.5	64.1	48.8	42.7	44.8	36.8
⑧まわりの人とうまくコミュニケーションがとれない	15.1	31.3	33.3	39.5	36.7	43.3	43.4
⑨物を粗末に扱う	20.8	37.9	38.5	42.4	36.7	38.8	30.3
⑩時間にルーズ	20.8	34.4	48.7	51.2	38.7	35.3	23.7
⑪ストレスがたまっている	18.9	32.6	34.0	44.2	29.5	43.3	23.7
⑫親からの愛情不足	15.1	31.3	33.3	43.0	28.7	35.1	29.3
⑬姿勢が悪い	20.8	30.7	43.6	24.4	28.7	39.1	23.7
⑭イライラしている	17.0	29.7	46.2	34.9	23.3	41.0	26.3
⑮疲れていて元気がない	15.1	27.7	43.6	38.4	26.0	36.6	18.7
⑯クラスになじめない	22.6	40.3	56.4	15.1	18.0	23.1	10.5
⑰教師に反抗的	7.5	15.0	23.1	22.1	12.0	16.4	7.9

「とても増えている」割合
 ○は各属性中の最大値

3 . 学級の「荒れ」の状況 DDD

1) 「荒れ」の程度

学級の荒れが問題になっているが、学級経営が10年前と比べ大変かどうかを尋ねてみた。図2 - 6 (表2 - 17) のように、「今の方が大変」は「ぐんと」と「かなり」に限ると、25.4%にすぎない。大変さは「昔も今も

変わらない」という反応は35.6%に達する。今も大変だが、中学校は昔も大変だったといふのであろう。確かに、校内暴力が盛んだったのは80年代で、卒業式や入学式に警官を配置した学校もあった。その時期によって問題は異なるが、常に大変なのが中学校なのであろう。

図2 - 6 「荒れ」の10年前との比較 × 属性

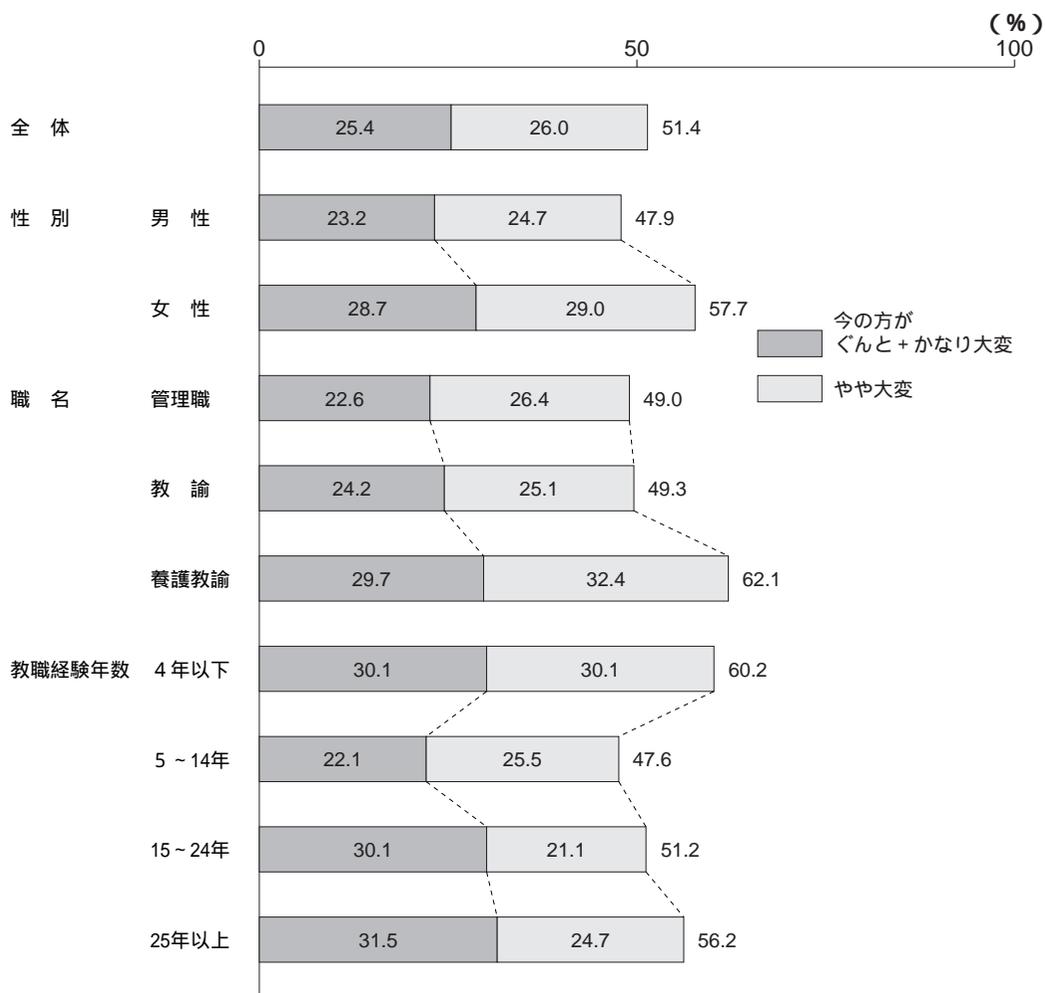


表2 - 17 「荒れ」の10年前との比較 × 属性 変わらず

(%)

		今の方が ぐんと大変	今の方が かなり大変	今の方が やや大変	昔も今も 変わりない	昔の方が やや大変	昔の方が 大変
全 体		5.5	19.9	26.0	35.6	7.2	5.8
性 別	男 性	4.0	19.2	24.7	39.2	8.1	4.8
	女 性	7.4	21.3	29.0	29.7	5.8	6.8
職 名	管理職	7.5	15.1	26.4	32.1	9.4	9.4
	教 諭	4.5	19.7	25.1	37.2	7.9	5.5
	養護教諭	13.5	16.2	32.4	32.4	0.0	5.4
教 職 経 験 年 数	4年以下	8.4	21.7	30.1	34.9	2.4	2.4
	5～14年	4.7	17.4	25.5	44.3	6.0	2.0
	15～24年	7.5	22.6	21.1	33.8	9.0	6.0
	25年以上	6.8	24.7	24.7	26.0	9.6	8.2

2) 荒れている学級の教師

図2 - 7 (表2 - 18)に「荒れている学級の教師」がどのようなタイプだと思うかについて、教師の回答をまとめてみた。教師によれば、荒れている学級の教師に共通しているのは、「生徒の気持ちがわからない」(「とてもあてはまる」が50.7%で、「わりと」を含めると82.8%)、「生徒を叱れない」(81.6%)、「問題の生徒をきちんと指導できない」(78.3%)、「授業がつまらなく、わかりにくい」

(78.1%)である。

荒れている学級の教師に共通しているのは、生徒の気持ちがわからず、生徒を叱れない。その上、授業がつまらない。加えて、問題を持つ生徒をきちんと指導できないタイプだという。生徒指導が難しいのは確かだが、教師が適切に指導すれば「荒れ」までは進まない。荒れている学級の背景に、教師の指導力不足が認められるという見方である。

表2 - 19によれば、教師たちは職員室で生徒指導の話をしていることが多いという。

図2-7 荒れている学級の教師

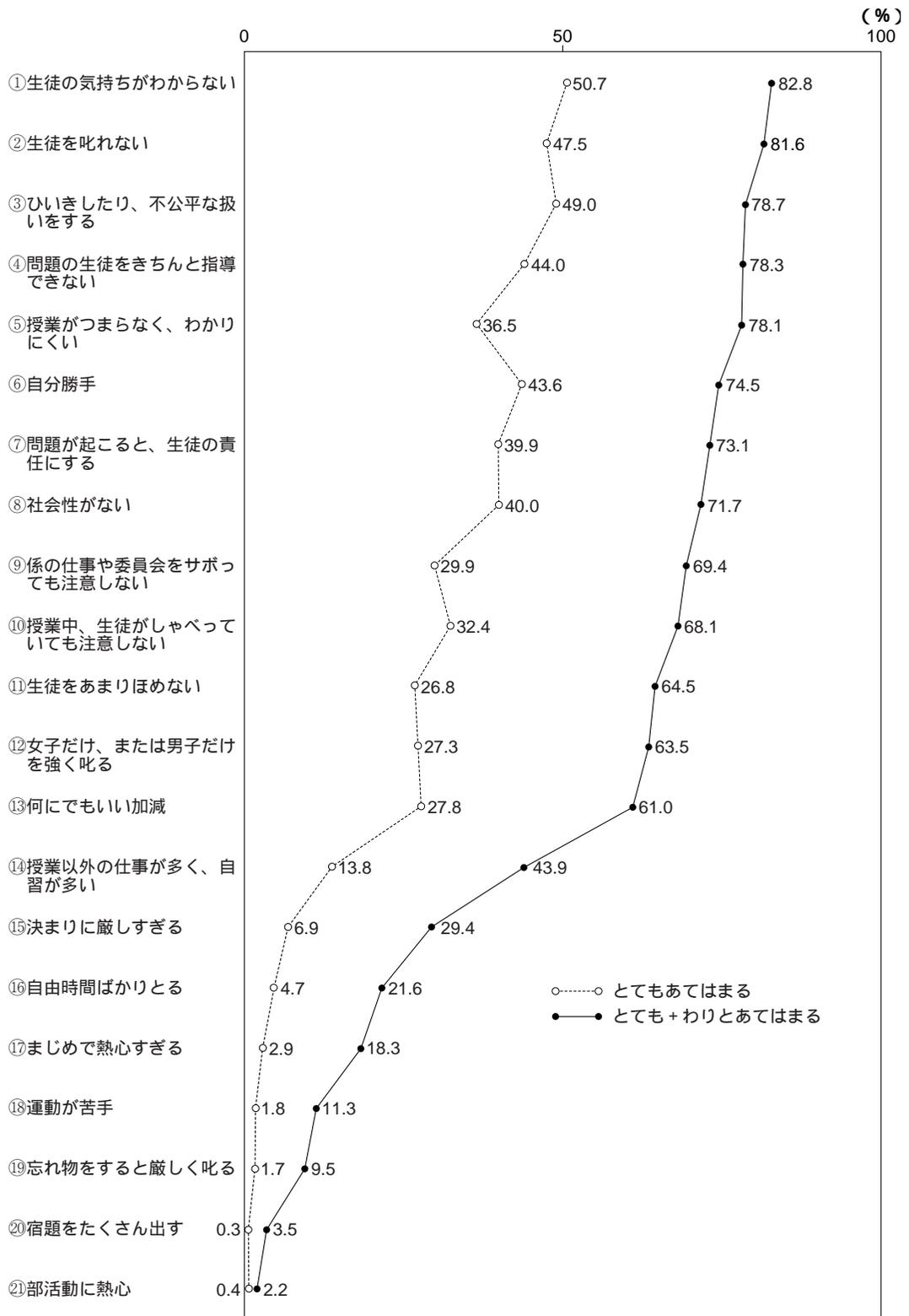


表2 - 18 荒れている学級の教師 生徒の気持ちがわからず、叱れない教師

(%)

	とてもあてはまる	わりとあてはまる	小計	少しあてはまる	あまりあてはまらない	ぜんぜんあてはまらない
①生徒の気持ちがわからない	50.7	32.1	82.8	12.5	3.6	1.1
②生徒を叱れない	47.5	34.1	81.6	12.9	3.2	2.3
③ひいきしたり、不公平な扱いをする	49.0	29.7	78.7	13.7	5.2	2.4
④問題の生徒をきちんと指導できない	44.0	34.3	78.3	15.9	4.1	1.8
⑤授業がつまらなく、わかりにくい	36.5	41.6	78.1	17.2	3.3	1.4
⑥自分勝手	43.6	30.9	74.5	18.7	4.2	2.7
⑦問題が起こると、生徒の責任にする	39.9	33.2	73.1	16.8	6.2	3.9
⑧社会性がない	40.0	31.7	71.7	20.0	5.6	2.7
⑨係の仕事や委員会をサポートしても注意しない	29.9	39.5	69.4	22.8	5.6	2.2
⑩授業中、生徒がしゃべっていても注意しない	32.4	35.7	68.1	23.9	5.6	2.5
⑪生徒をあまりほめない	26.8	37.7	64.5	25.9	7.1	2.4
⑫女子だけ、または男子だけを強く叱る	27.3	36.2	63.5	23.6	9.1	3.7
⑬何にでもいい加減	27.8	33.2	61.0	24.2	11.0	3.7
⑭授業以外の仕事が多く、自習が多い	13.8	30.1	43.9	26.8	20.3	9.2
⑮決まりに厳しすぎる	6.9	22.5	29.4	30.0	32.5	8.1
⑯自由時間ばかりとる	4.7	16.9	21.6	28.5	32.5	17.3
⑰まじめで熱心すぎる	2.9	15.4	18.3	29.6	36.3	15.8
⑱運動が苦手	1.8	9.5	11.3	16.6	42.1	30.0
⑲忘れ物をすると厳しく叱る	1.7	7.8	9.5	21.7	50.1	18.8
⑳宿題をたくさん出す	0.3	3.2	3.5	11.7	49.2	35.6
㉑部活動に熱心	0.4	1.8	2.2	10.3	49.5	38.0

表 2 - 19 生徒指導の状況 職員室で生徒の話

(%)

	よく している	わりと している	小計	ときどき している	ほとんど しない	ぜんぜん しない
①職員室で授業中の生徒の様子を話す	25.2	38.9	64.1	31.3	3.9	0.6
②問題の生徒の家庭訪問は、担任だけでなく他の先生も一緒に行く	13.0	24.1	37.1	36.5	20.3	6.1
③朝、校門の前で生徒の服装・頭髪、遅刻をチェックする	20.6	11.6	32.2	12.1	19.2	36.5
④昼休みや放課後に校舎内外を見回る	14.1	17.0	31.1	32.1	23.2	13.6
⑤警察に校外での生徒の様子や補導状況を聞きに行く	9.9	14.9	24.8	33.8	24.3	17.0
⑥持ち物検査をする	0.3	0.5	0.8	6.3	28.0	64.8

調査データを読んで

疲れている教師たち

東京都足立区立東島根中学校校長

森 永 徳 一

1. 子どもたちは今

最近のテレビや新聞などマスコミの報道には、金銭にからむ事件と青少年の凶悪な事件・事故が毎日のようにある。世紀の変わり目の世相をあらわしているのかもしれない。特に、時代の急激な変化が青少年の健全な成長・発達を蝕み、「心と体」の問題を一層複雑化していると思う。また、青少年の犯罪は戦後の第4のピークと呼ばれているが、ほとんどの青少年は現代社会の影響を直接に受け、その中で悩み苦しみながら今の時代を精一杯生きていると考える。

私の学校でも、教師が毎日早朝から夕刻遅くまで、部活動で生徒とともに汗を流し活動している。全国のほとんどの学校でも毎日、同様なことが行われていると考える。

今、新教育課程の完全実施を来年度(2002年)にひかえ、各学校では生涯学習の基礎をつくる視点から子どもたちに「生きる力」と「心身共に豊かな人間」を育成するために、教育内容や教育活動の見直しを行っているところである。私の学校でも、教育課程の改善・工夫のため全校あげて研修・協議を重ねており、「総合的な学習の時間」の試行・実施、「開かれた学校づくり協議会」の運営、学区域の自由化など解決しなければならない

課題が山積されている。

生徒たちの毎日の生活をみると、朝練(部活動) - 朝学習 - 学活 - 午前授業 - 給食 - 昼休み - 午後授業 - 清掃 - 学活 - 下校(一般生徒) - 午後練習(部活動)と決められた時間に追われる毎日である。下校後は学習塾や習い事に時間をとられ、友だちや家族との語らいの場がなく、自由時間も無いのが実態のようである。

生徒の状況は、私の学校でも図2-3(表2-14)「学級(学校)の生徒の状況」の実態とほとんど変わらない。一言でいうと、現代っ子の特徴の「しつけができていなくて、自己中心的な生徒」が目立つ。①しつけられてなく毎日の生活習慣ができていない生徒、②わかっても発言しない - 興味関心を持たない生徒、③自分勝手に自分に甘い生徒、④ストレスのたまった生徒、⑤物を大切にしない生徒など、将来を考えるとマイナス面ばかりが目につくが、大部分は「素直で、明るく、元気な生徒たち」である。

授業中については、表2-12(図2-2)「学級の生徒の姿」の結果と同様の様子が出がえる。①教科書を出さない、②おしゃべりをやめない、③授業中に手紙を書くなど、真剣さに欠ける生徒の存在が教師の大きな悩みの1つである。

このような実態の中で、多くの教師たちは教育活動に専念し悪戦苦闘し、生徒の中にあっては元気に指導・助言しながら生徒以上に「元気で、明るく、たくましく」一日の勤務を終えている。

2. 教師の一日

教師の勤務は、部活動の指導教師以外は表2-3「平日の勤務状況」の調査結果が示す通りと考えるが、学校の学区域が農村地帯か都市部かによっても異なると思う。登校は始業前20～30分(①)、通勤時間30分前後(②)が大多数であるが、都市部では通勤1時間程度が一般的だと推測される。

退勤時刻(③)はどこの学校も大差なく、夕刻6時半から7時頃だと考える。多くの教師は、夕刻遅くまで勤務していることがわかる。管理職(教頭)の勤務時間は、平均12時間(平成12年度東京都公立中学校教頭会実態調査から)が一般的である。教頭の勤務の平均は、午前7時～午後7時までが大部分を占めている。

教師の一日は多忙だが、管理職としての校長の勤務は、激務・多忙の頂点にあると言ってもよいと思う。また、教頭の勤務内容は学校教育の全般で、多岐にわたり激務だが、教師と生徒とのかかわりの中に日常いるため、ストレスや疲れは校長ほどではないと考えられる。一般の教師も激務の毎日だが、管理職は激務の上の激務と考えられる。

表2-9「教師を辞めたいと思ったこと」の結果から、教職を志望したにもかかわらず、教職を何度も辞めたいと思った教師が4割もいることを考えると、教職という仕事の大変さが理解できると思う。「いつも辞めたいと思っている」教師が、10人のうち1人にもなることが激務を物語っている。30人の教師のいる学校では、3人がこの状況にいるとい

うことは、学校が「組織疲労」を起こし、危機的状況になっている一面が推測できる。

また、社会の急激な変化の中でも、図4-4(表4-10)「教職への評価」は、現状の「セミ専門職」からやがて教育のプロとして「専門職」を目指したいと教師全体が考えていることがわかる。教師自身がこのままでは「学校教育が危ない」という意識と、教育内容や指導方法の工夫・改善を前向きにとらえていることがうかがえる結果である。

3. 見えてくる疲れている教師像

教職を志望した時期は、表2-6「教師を志した時期」から推測すると、5割近くの教師が中学校・高等学校時代。多感で真剣に何事にも取り組んでいた13歳から18歳頃に自分の進路を決定する要因が存在したと考えられる。人とのかかわりの中で「モデル」との出会いが、この時期に集中することからも推測できる。素晴らしい教師との出会いが、教師志望を生むことはよく聞か話である。

しかし現実に教職につくと、「理想と現実のギャップ」に、一度や二度落ち込むことになる。教師の仕事は多岐にわたる。思いつくままに書くと、①欠席の家庭連絡、②授業の準備、③給食、④学年の事務、⑤学級の活動の計画、⑥行事の取り組みの企画・立案、⑦校務分掌の毎日の仕事、⑧週番活動、⑨トラブルの解消、⑩長期欠席者の家庭訪問、⑪学級だよりの発行、⑫教室の整備点検、⑬学校のきまりの違反者の指導、⑭悩みの相談活動、⑮外部研修会の参加、⑯研究部会への出張、⑰校外活動の实地踏査、⑱PTA行事の参加、⑲地域行事への参加など、毎時・毎日「時間と人との関係」で勤務する特殊な職業とも考える。しかも仕事の成果が目に見えにくく、それが社会をつくるという大切な仕事ゆえ、社会の期待・要請もあって、疲労やストレス

も重たいものがある。

図4-2(表4-6)の「教師の体調」の結果は、教師の精神的な疲れを示している。「肩がこる」や「疲れやすい」が4割、「何となく体がだるい」が3割、「イライラする」が2割など、健康な教師がむしろ学校にはいないのではと考えられるが、半数以上の教師は元気で、たくましく、子どもの中で生活し、教育活動を行っている。おそらく、元気でたくましい教師は、表4-8「教師のタイプ」の結果からも推測できるが、①規則や約束を守り、②生徒とふれあうのが好きで、③自分の教育観をしっかり持った、④明るく、他の教師との人間関係が円滑な教師であり、「疲れを感じない教師像」となる。

しかし、何から何まで教師1人で学校は成り立っていない。同僚や先輩、管理職の先生に相談しながら、精神的なストレスの解消を行わなければ、「疲労症候群」という内在的な教師病から完治されないと考える。いうまでもなく、疲れを知らない健康な教師から健康な子どもたちが育ち、かつのびのびと大きく飛躍すると考える。

4. 教師の悩みと教育改革

教育改革が進展する中で「学力」の問題が表面化し、学校でも「学力を身につけるためにはどうしたらよいか？」が話題になっている。しかし、日々の教科指導の中では、指導内容の「精選」や「厳選」、「重点化」にはいまだに消極的な教師が多い。「学力の低下」は、授業時数の縮減にあると考えている教師もいる。確かに指導の時間が少なくなれば、知識の量が減少することは否定できない。では、時間が確保されれば「学力が向上」するかといえば、そうでもなさそうである。要は、指導の密度の問題や指導技術の問題であると考ええる。

第3回国際数学・理科教育の国際比較調査^{*}の昨年の報告をみると、「数学・理科」の知識量(暗記した知識)はともかくとして、日本の数学的ものの見方や科学的なものの見方が先進国の中では憂うべきところにきている。基礎・基本の再検討とともに、「学力」の問題も再考察しなければならないと考える。図4-1(表4-3)によれば、「教師としての悩み」として、①半数以上の教師が学力の差を感じている、②忘れ物や宿題を忘れる生徒が多い、③授業の準備が十分にできていない、④生徒がしらけているなどがあげられる。これは、まさに学力以前の問題である。これでは、学力は身につかないし、「学力の向上」は至難のワザかもしれない。

今までの筆記試験や学力検査を重視した「入試制度」は、知識量をはかる手だてとしての「既習の知識量」をみる側面しかなかった。しかも、教師も覚えることに専念させたことも事実である。この制度は知識の量を測ることは役立ったが「思考力・判断力・創造力」などの総合的な「学力」の測定には役立たなかったと考える。

これからの社会は「知識社会」「IT革命の時代」といわれている。しっかりした情報を知識(生きた知恵)として身につけなければ、グローバル化時代に取り残されることも現実化している。「生きた学力」を身につけさせることが最も重要となる。

図4-5(表4-12)の「教育についての意見」の結果から推測すると、①学級の規模を小さくは8割以上の教師が望んでいる。このことより、教師が学級の小規模編成と小集団指導を強く望んでいることが推測される。そして、②6割以上の教師が生徒の変化に対応して自らも変わっていく必要があると感じている。教師も時代に取り残されることなく、しっかりと将来を見つめることの重要性を自

注)*IEA(国際教育到達度評価学会)による。

覚していることがうかがわれる。

図4-6(表4-14)の「教育改革への賛否」の結果から推測すると、時代の流れと社会の要請と共に、①教師の8割は完全学校週5日制の実施に賛成している。そして、生徒たちの様々な悩みの解決の重要性から、7割以上の教師が専門職としての②スクールカウンセラーの設置を望んでいることがわかる。また授業の工夫として、チームティーチングによる教科指導や習熟度別クラス編成の取り組みを制度として積極的に取り組みたいと願っていることは、専門職として生徒たちの様々な問題に前向きになっていることへの結果であると考ええる。

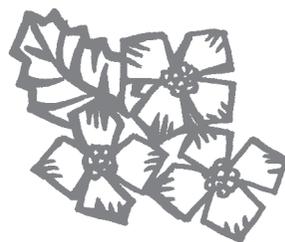
しかし、「学校評議員制度の導入」や「民間人の校長への登用」「教員の人事考課制度の採用」となると否定的な意見が多い。教師は外部からの改革や評価には弱い面があるのではないか。自浄作用がなければ、改革も本物にならないと考える。たとえば、「学校評議員制度の導入」も、学校を開く制度の一側面と考えたい。本来の「学校を開く」とは、生徒を中心軸に開くことと考える。学校の教師集団が組織として、家庭や地域に積極的に「開く」

時間や場を設定すれば、学校評議員制度を導入しなくてもよいと考えるが…。特に今次の教育改革は今までの学校と違う学校の構築をすることだと考える。そのためには、旧態依然の学校制度の根本的改革と教師一人一人や教師集団の意識や考え方の「硬直性や閉鎖性」を突破しなくてはならないと考える。

学校という組織集団が、以前のものでよいという考えでいたら、それこそ時代から取り残されてしまうことになると思う。私を含め、「今という時代に生きる青少年」を教育するのは「専門職としての教師」しかないと考える。

教師調査から現場の一教師として私の拙い感想を述べてきたが、先生方が「疲労困憊の中」で、模索しながら生徒の教育に専念している真の姿に感銘を受けた。どんなに時代が変わろうと、「教師」と「生徒」の人間関係は不変と考える。悩める教師こそ、人を教える資格がある。教育には時間がかかる。諦めず、根気よく、心の健康を維持しながら、「日々生徒とある教師」でいたいものである。

調査にご協力いただいた全国の先生方に感謝申し上げたい。



第3章 教師としての気持ちや悩み



1. 学級担任としての教師 DDD

1) 学級経営がうまくいかない

これまでふれてきたように、自己中心的でキレやすい生徒が増えた。それだけに、学級担任としての学級運営が大変であろう。

「担任として学級経営がうまくいっているか」についての結果を図3-1(表3-1)にまとめてみた。「少しうまくいっている」から「ぜんぜんうまくいっていない」までを含めて、うまくいかない思い出を持つ者は48.0%に達する。半数の教師が学級経営にてこずった経験を持っている。

そして属性分析によれば、うまくいかない経験を多く持つ者は、担当教科では英語(64.3%)、理科(54.8%)、教職経験年数では「5~14年」(53.0%)である。それに対し、その割合が少ないのは、教職経験年数「25年

以上」(25.0%)、体育(32.4%)である。子どもと身近に接することの多い教師の方が、学級経営がうまくいっているようにみえる。

表3-2によれば、学級が荒れた経験が「1度もない」者は31.4%にとどまる。そして、「4回以上」の8.4%を含めて、荒れた経験が「2~3回以上」ある者は36.8%と4割に達する。こうしたデータをみると、「荒れ」的な状況が例外的な現象でなく、かなりの割合で認められるのがわかる。

そこで学級が荒れたとき、その原因をどう考えているのかを尋ねてみた。表3-3に示したように、教師としての指導力不足(「とても」と「わりと」そう思うで68.1%)とクラスに秩序を乱す集団がある(50.1%)状況が重なってと答えている者が多い。問題のある学年・クラスだった(29.5%)も含めて考

えると、多少扱いにくい学級があって、そこに、指導が適切さを欠き、問題をこじらせた

というのが「荒れ」の背景なのであろう。

図3 - 1 担任としての学級経営 × 属性

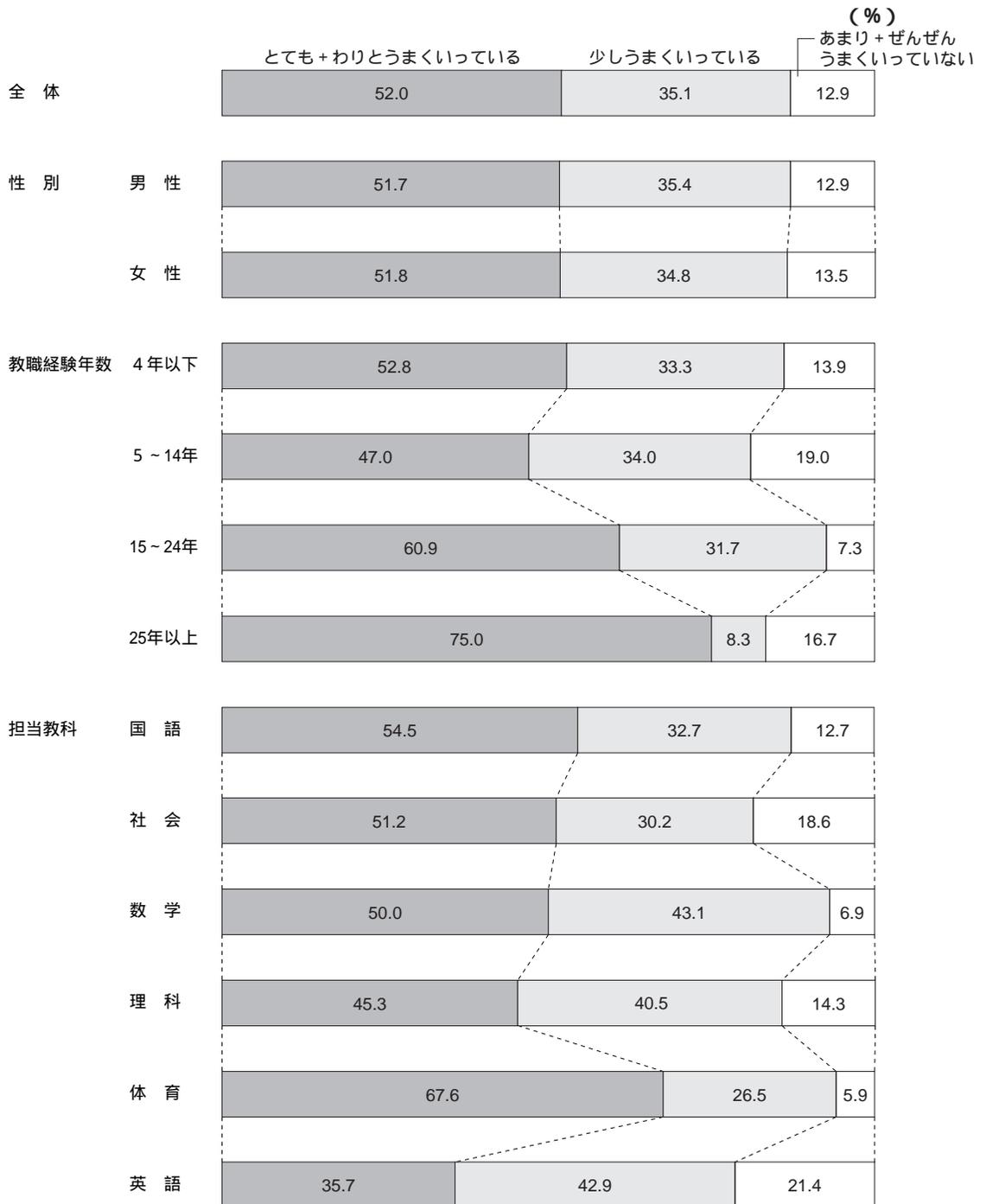


表3 - 1 担任としての学級経営（うまくいっているか）× 属性

(%)

		とても うまく いっている	わりと うまく いっている	少し うまく いっている	あまり うまく いない	ぜんぜん うまく いない	小計
全 体		6.4	45.6	35.1	11.3	1.6	48.0
性 別	男 性	7.5	44.2	35.4	11.1	1.8	48.3
	女 性	4.3	47.5	34.8	12.1	1.4	48.3
教 職 経 験 年 数	4 年以下	2.8	50.0	33.3	11.1	2.8	47.2
	5 ~ 14 年	8.0	39.0	34.0	17.0	2.0	53.0
	15 ~ 24 年	2.4	58.5	31.7	4.9	2.4	39.0
	25 年以上	8.3	66.7	8.3	16.7	0.0	25.0
担 当 教 科	国 語	1.8	52.7	32.7	10.9	1.8	45.4
	社 会	9.3	41.9	30.2	16.3	2.3	48.8
	数 学	6.9	43.1	43.1	6.9	0.0	50.0
	理 科	2.4	42.9	40.5	9.5	4.8	54.8
	体 育	14.7	52.9	26.5	5.9	0.0	32.4
	英 語	2.4	33.3	42.9	19.0	2.4	64.3

表3 - 2 学級が荒れた経験 少なくとも1回はある

(%)

		1 度も ない	1 度だけ ある	2 ~ 3 回 ある	4 ~ 5 回 ある	6 ~ 7 回 ある	それ以上 ある
全 体		31.4	31.8	28.4	4.6	0.9	2.9
(累積)		100.0	68.6	36.8	8.4	3.8	
性別	男 性	31.9	27.0	30.9	5.5	0.7	3.9
	女 性	29.2	41.6	23.6	3.0	1.3	1.3

表3 - 3 学級が荒れた原因 指導力不足を感じる

(%)

	とても そう思う	わりと そう思う	小計	少し そう思う	あまりそう 思わない	ぜんぜんそう 思わない
①教師として指導力が不足していた	27.9	40.2	68.1	22.0	6.4	3.5
②クラスに問題のある生徒や秩序を乱すグループがあった	17.6	32.5	50.1	27.5	13.2	9.2
③教師になりたての頃で、うまく指導できなかった	24.3	25.4	49.7	15.6	19.7	14.9
④以前からいろいろと問題のある学年・クラスだった	8.3	21.2	29.5	27.4	26.9	16.2
⑤生徒との相性が悪かった	6.8	20.1	26.9	25.5	34.7	12.9
⑥担任した経験の少ない学年だった	10.5	11.9	22.4	14.9	33.0	29.7
⑦クラスの生徒数が多かった	6.1	14.4	20.5	19.6	32.0	27.9
⑧同じ学年の教師と意見が合わなかった	3.5	8.6	12.1	14.0	28.3	45.6
⑨保護者が自分の教育方針に協力的でなかった	3.7	8.3	12.0	15.4	45.0	27.6
⑩自分のプライベートな問題があった	1.5	4.1	5.6	8.1	30.3	55.9

2) 担任としての信頼

担任としての信頼については、表3 - 4の通りで、「わりと信頼されている」と「少し信頼されている」とに2分されている。まあまあ信頼されている、という感じなのであろうか。

中学教師は学級担任であると同時に、教科指導も担当している。というより、時間的には教科指導の占める割合が長い。それでは、教師の心の中では両者の割合がどうなっているのか。図3 - 2(表3 - 5)が示すように、「学級指導に力を入れている」が23.8%、「教科指導に力を入れている」30.7%で、教科指

導の方が6.9%多い。

属性別の結果に着目してみよう。教職経験年数別では、学級指導より「教科指導に力を入れている」教師は「4年以下」42.3%、「5～14年」31.5%、「15～24年」29.3%と、教職経験年数が長くなるにつれて、教科指導の割合が減る。教職経験10年を過ぎると、教科指導は自信が付き、学級指導の重みも増してくるのであろう。また、担当教科別では、「教科指導に力を入れている」のは英語(43.8%)、数学(35.4%)、国語(33.3%)、理科(33.0%)である。英数の教師は教科指導の大変さを感じているのであろう。

表3 - 4 担任としての信頼 わりと信頼されている

(%)

	とても 信頼されて いる	わりと 信頼されて いる	小計	少し 信頼されて いる	あまり 信頼されて いない	ぜんぜん 信頼されて いない
①クラスの生徒から	2.7	48.3	51.0	42.1	6.4	0.5
②クラスの保護者から	2.7	45.0	47.7	43.9	7.8	0.5
③同僚の教師から	1.9	44.4	46.3	44.4	7.5	1.9
④管理職から	1.6	39.2	40.8	47.6	9.4	2.2

図3-2 学級指導と教科指導のどちらに力を入れているか × 属性

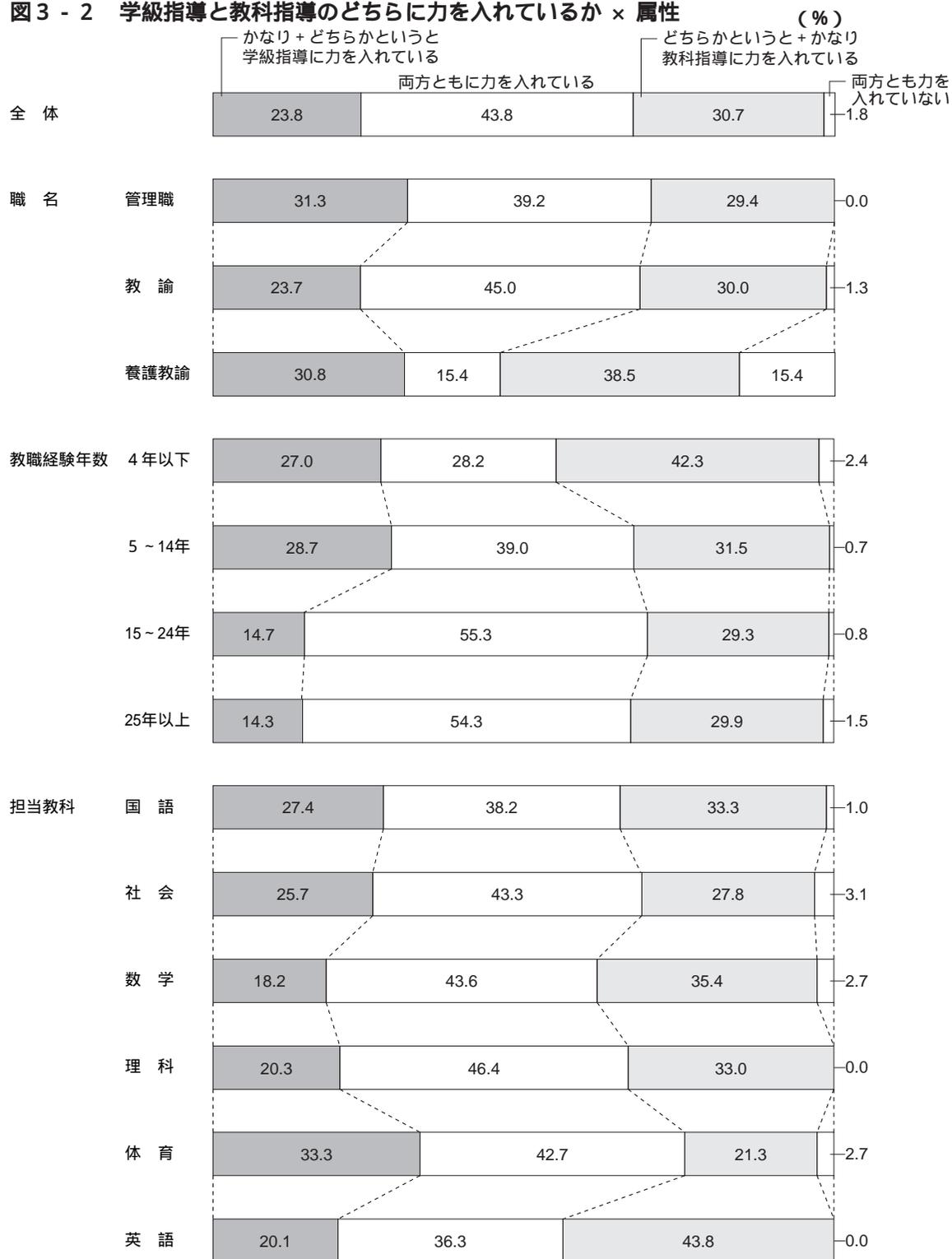


表3 - 5 学級指導と教科指導のどちらに力を入れているか × 属性

(%)

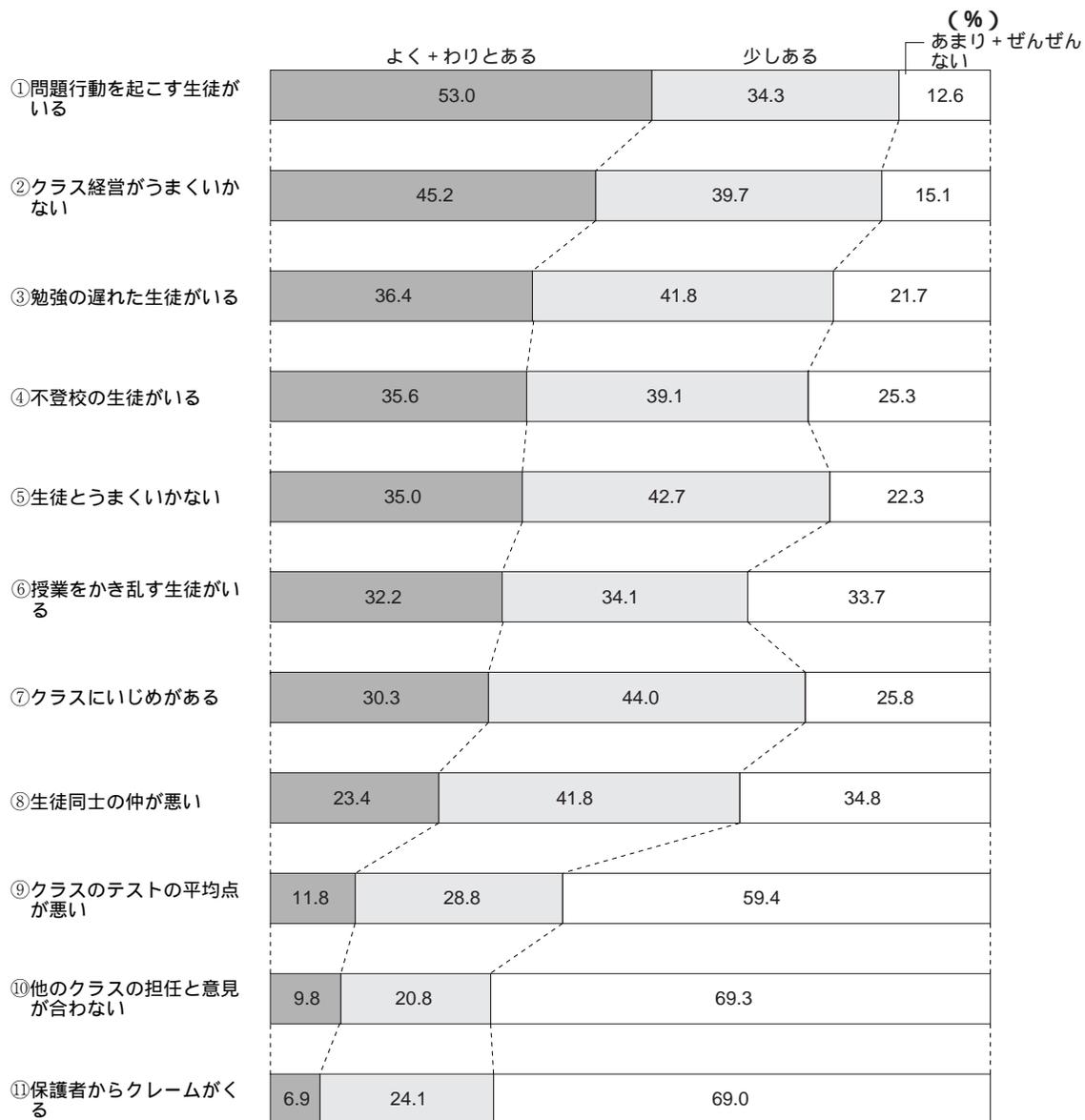
		力を入れている						両方とも 力を入れて いない	
		かなり 学級指導	どちらか というと 学級指導	小計	両方とも	どちらか というと 教科指導	かなり 教科指導		小計
全 体		4.5	19.3	23.8	43.8	25.4	5.3	30.7	1.8
職 名	管理職	13.7	17.6	31.3	39.2	25.5	3.9	29.4	0.0
	教 諭	4.0	19.7	23.7	45.0	25.0	5.0	30.0	1.3
	養護教諭	0.0	30.8	30.8	15.4	23.1	15.4	38.5	15.4
教 職 経 験 年 数	4年以下	3.5	23.5	27.0	28.2	32.9	9.4	42.3	2.4
	5～14年	3.4	25.3	28.7	39.0	28.1	3.4	31.5	0.7
	15～24年	4.1	10.6	14.7	55.3	22.0	7.3	29.3	0.8
	25年以上	5.1	9.2	14.3	54.3	25.3	4.6	29.9	1.5
担 当 教 科	国 語	3.9	23.5	27.4	38.2	28.4	4.9	33.3	1.0
	社 会	4.1	21.6	25.7	43.3	21.6	6.2	27.8	3.1
	数 学	1.8	16.4	18.2	43.6	30.9	4.5	35.4	2.7
	理 科	4.8	15.5	20.3	46.4	23.5	9.5	33.0	0.0
	体 育	9.3	24.0	33.3	42.7	20.0	1.3	21.3	2.7
	英 語	6.3	13.8	20.1	36.3	38.8	5.0	43.8	0.0

3) 担任としての悩み

これまでふれてきたように、多くの教師は担任として学級経営に苦勞している。そこで、教師としてどんな悩みを抱えているのかを尋ねてみた。

図3 - 3 (表3 - 6) に示したように、教師たちは「問題行動を起こす生徒がいる」(「よく」と「わりと」あるを加えて53.0%)、「勉強の遅れた生徒がいる」(36.4%)、「不登校の生徒がいる」(35.6%)に悩み、「クラス経営がうまくいかない」(45.2%)となる。

図3 - 3 担任としての悩み



学級にはいろいろな生徒がいて、問題を引き起こす。その度に、担任として心を悩ますのであろう。表3 - 7の担当教科別の集計結果によると、担任として苦労しているのは英語や社会の教師に多い。そうした教科の教師の授業で問題を起こす生徒が多く、クラス経営に苦労している。それに対し、体育の教師

はそうした思いが少ない。中学校の場合、体育的な教師の方が生徒指導がしやすいのかもしれない。

また、教職経験年数別の結果では、表3 - 8のように、若い先生と同時にベテランの先生も生徒指導に苦労している。

表3 - 6 担任としての悩み 問題行動を起こす生徒

(%)

	よくある	わりとある	小計	少しある	あまりない	ぜんぜんない
①問題行動を起こす生徒がいる	16.5	36.5	53.0	34.3	12.0	0.6
②クラス経営がうまくいかない	15.2	30.0	45.2	39.7	14.2	0.9
③勉強の遅れた生徒がいる	10.9	25.5	36.4	41.8	19.1	2.6
④不登校の生徒がいる	11.6	24.0	35.6	39.1	17.8	7.5
⑤生徒とうまくいかない	9.2	25.8	35.0	42.7	19.7	2.6
⑥授業をかき乱す生徒がいる	9.7	22.5	32.2	34.1	26.4	7.3
⑦クラスにいじめがある	6.9	23.4	30.3	44.0	23.4	2.4
⑧生徒同士の仲が悪い	4.7	18.7	23.4	41.8	30.9	3.9
⑨クラスのテストの平均点が悪い	2.6	9.2	11.8	28.8	47.0	12.4
⑩他のクラスの担任と意見が合わない	2.1	7.7	9.8	20.8	45.1	24.2
⑪保護者からクレームがくる	1.1	5.8	6.9	24.1	43.2	25.8

表3 - 7 担任としての悩み × 担当教科

(%)

	国語	社会	数学	理科	体育	英語
①問題行動を起こす生徒がいる	47.9	55.3	50.5	48.1	43.1	57.9
②クラス経営がうまくいかない	35.1	37.2	31.7	30.4	29.2	40.8
③勉強の遅れた生徒がいる	40.4	45.7	40.6	34.2	34.7	43.4
④不登校の生徒がいる	38.3	43.0	41.6	38.0	31.9	39.5
⑤生徒とうまくいかない	25.5	31.9	26.7	21.5	25.0	31.6
⑥授業をかき乱す生徒がいる	22.3	26.6	24.8	27.8	25.0	34.2
⑦クラスにいじめがある	24.7	29.8	20.8	30.4	25.0	26.3
⑧生徒同士の仲が悪い	13.8	22.3	18.8	25.3	26.4	21.1
⑨クラスのテストの平均点が悪い	12.8	18.1	9.0	17.7	5.6	14.5
⑩他のクラスの担任と意見が合わない	8.5	18.1	7.0	6.3	12.5	13.2
⑪保護者からクレームがくる	3.2	11.7	1.0	7.6	5.6	5.3

「よく」+「わりと」ある割合
 ○は最大値 — は最小値

表3 - 8 担任としての悩み × 教職経験年数 ベテランも苦労

(%)

	4年以下	5～14年	15～24年	25年以上
①問題行動を起こす生徒がいる	53.7	44.4	54.7	42.6
②クラス経営がうまくいかない	46.3	38.5	28.2	29.4
③勉強の遅れた生徒がいる	41.5	37.2	40.2	27.9
④不登校の生徒がいる	39.0	35.9	41.9	23.9
⑤生徒とうまくいかない	31.7	44.4	55.9	42.6
⑥授業をかき乱す生徒がいる	29.3	18.6	30.8	22.1
⑦クラスにいじめがある	24.4	27.6	32.9	20.6
⑧生徒同士の仲が悪い	17.1	17.2	22.2	11.8
⑨クラスのテストの平均点が悪い	19.5	11.0	9.4	11.8
⑩他のクラスの担任と意見が合わない	9.8	10.4	13.7	4.4
⑪保護者からクレームがくる	7.3	5.6	5.1	2.9

「よく」+「わりと」ある割合
 ○は最大値

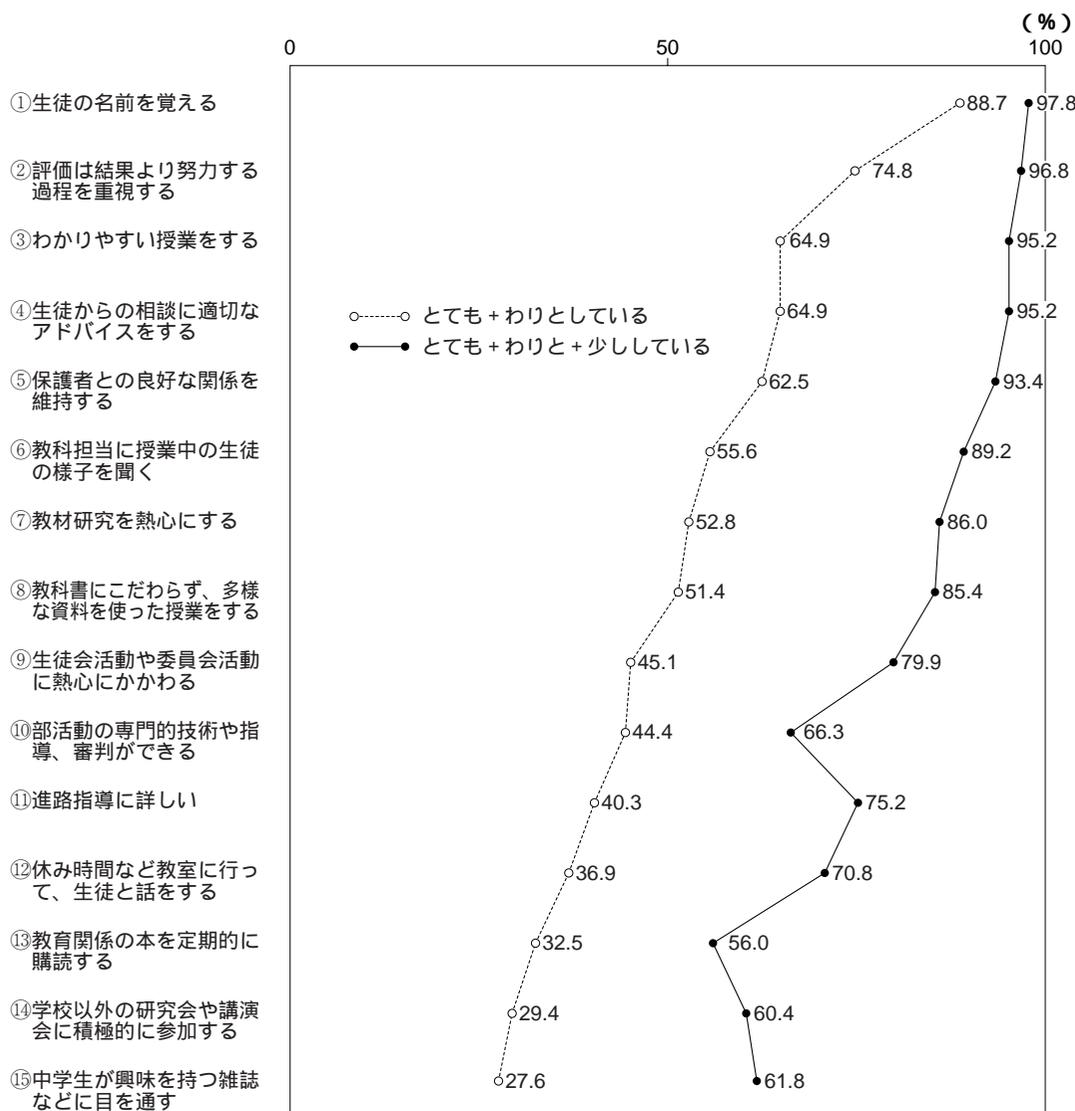
2. 中学教師として DDD

1) 心がけていること

中学教師は多くの問題を抱えて毎日を送っている。そうした人たちが教師としてふだんから何を心がけているのか。

図3-4(表3-9)に掲げたように、教師たちは「生徒の名前を覚える(「とても」と「わりと」しているを合わせて88.7%)」「評価は結果より努力する過程を重視する(74.8%)」「わかりやすい授業をする(64.9%)」

図3-4 中学教師としての心がけ



「生徒からの相談に適切なアドバイスをする」(64.9%)などである。

つきつめていえば、中学教師は「わかりやすい授業を心がけると同時に、生徒指導にも配慮する」となるのであろうが、言うは易く行い難い。

表3-10に職名別に心がけていることをまとめてみた。養護教諭は「生徒の名前を覚え、アドバイスをしよう」と心がけているのに対し、教諭は「わかりやすい授業」を念頭に置

いている。そして、管理職は「保護者との関係をよくするようにしている」という。

さらに担当教科別では、表3-11のように、国語の教師が名前を覚えたりわかりやすい授業を心がける割合が高い。表3-12の教職経験年数別では、若い先生だけでなくベテランの先生も、わかりやすい授業や生徒へのアドバイスに気をつけている。

表3-9 中学教師としての心がけ(しているか) 生徒の名前を覚える

(%)

	とてもしている	わりとしている	小計	少ししている	あまりしていない	ぜんぜんしていない
①生徒の名前を覚える	44.9	43.8	88.7	9.1	2.0	0.1
②評価は結果より努力する過程を重視する	21.7	53.1	74.8	22.0	2.7	0.5
③わかりやすい授業をする	15.2	49.7	64.9	30.3	3.1	1.6
④生徒からの相談に適切なアドバイスをする	12.1	52.8	64.9	30.3	4.5	0.3
⑤保護者との良好な関係を維持する	13.5	49.0	62.5	30.9	5.9	0.8
⑥教科担当に授業中の生徒の様子を聞く	9.3	46.3	55.6	33.6	9.8	0.9
⑦教材研究を熱心にする	13.1	39.7	52.8	33.2	12.8	1.3
⑧教科書にこだわらず、多様な資料を使った授業をする	14.2	37.2	51.4	34.0	12.6	2.0
⑨生徒会活動や委員会活動に熱心にかかわる	9.3	35.8	45.1	34.8	18.5	1.5
⑩部活動の専門的技術や指導、審判ができる	17.2	27.2	44.4	21.9	17.8	15.9
⑪進路指導に詳しい	8.2	32.1	40.3	34.9	18.5	6.3
⑫休み時間など教室に行って、生徒と話をする	9.0	27.9	36.9	33.9	26.2	2.9
⑬教育関係の本を定期的に購読する	11.3	21.2	32.5	23.5	28.8	15.3
⑭学校以外の研究会や講演会に積極的に参加する	7.1	22.3	29.4	31.0	31.9	7.7
⑮中学生が興味を持つ雑誌などに目を通す	5.7	21.9	27.6	34.2	29.1	9.1

表3 - 10 中学教師としての心がけ × 職名

(%)

	管理職	教諭	養護教諭
①生徒の名前を覚える	90.4	87.4	97.5
②評価は結果より努力する過程を重視する	76.9	74.3	75.0
③わかりやすい授業をする	65.3	66.1	30.0
④生徒からの相談に適切なアドバイスをする	63.3	65.5	84.6
⑤保護者との良好な関係を維持する	86.5	60.0	77.5
⑥教科担当に授業中の生徒の様子を聞く	62.7	56.6	57.5
⑦教材研究を熱心にする	50.0	53.3	50.0
⑧教科書にこだわらず、多様な資料を使った授業をする	57.1	51.8	55.0
⑨生徒会活動や委員会活動に熱心にかかわる	36.0	45.4	65.0
⑩部活動の専門的技術や指導、審判ができる	50.0	45.4	18.5
⑪進路指導に詳しい	62.7	40.4	11.1
⑫休み時間など教室に行って、生徒と話をする	31.4	37.9	36.4
⑬教育関係の本を定期的に購読する	55.8	28.5	68.4
⑭学校以外の研究会や講演会に積極的に参加する	36.0	27.1	55.0
⑮中学生が興味を持つ雑誌などに目を通す	26.9	26.8	35.9

「とても」+「わりと」している割合
 ○は最大値（最小値との差が5%以上開いた場合）

表3-11 中学教師としての心がけ × 担当教科

(%)

	国語	社会	数学	理科	体育	英語
①生徒の名前を覚える	92.2	89.9	86.6	91.2	88.5	88.9
②評価は結果より努力する過程を重視する	78.6	68.4	65.2	71.8	88.0	81.5
③わかりやすい授業をする	72.3	63.3	67.0	68.7	57.3	75.0
④生徒からの相談に適切なアドバイスをする	66.0	62.6	64.3	61.9	63.6	64.2
⑤保護者との良好な関係を維持する	58.3	70.7	61.3	49.4	74.0	51.9
⑥教科担当に授業中の生徒の様子を聞く	68.0	60.6	45.9	48.8	51.9	46.9
⑦教材研究を熱心にする	65.3	59.2	52.7	47.6	28.9	56.3
⑧教科書にこだわらず、多様な資料を使った授業をする	44.6	57.1	34.8	56.0	48.6	45.0
⑨生徒会活動や委員会活動に熱心にかかわる	42.7	45.5	44.5	48.2	33.8	45.0
⑩部活動の専門的技術や指導、審判ができる	26.7	54.1	41.1	36.5	80.0	33.3
⑪進路指導に詳しい	35.9	50.0	48.2	37.6	40.0	35.0
⑫休み時間など教室に行つて、生徒と話をする	43.7	36.4	33.0	35.3	31.2	35.8
⑬教育関係の本を定期的に購読する	27.2	38.4	29.5	28.2	22.1	33.3
⑭学校以外の研究会や講演会に積極的に参加する	28.2	35.7	21.8	18.8	22.1	24.7
⑮中学生が興味を持つ雑誌などに目を通す	29.1	32.7	19.6	23.5	26.0	22.2

「とても」+「わりと」している割合
○は最大値

表3-12 中学教師としての心がけ × 教職経験年数

(%)

	4年以下	5～14年	15～24年	25年以上
①生徒の名前を覚える	97.7	88.7	83.3	90.8
②評価は結果より努力する過程を重視する	82.4	71.6	72.9	78.3
③わかりやすい授業をする	59.5	65.3	71.0	70.8
④生徒からの相談に適切なアドバイスをする	58.6	64.4	65.6	64.0
⑤保護者との良好な関係を維持する	47.7	60.4	75.8	66.2
⑥教科担当に授業中の生徒の様子を聞く	47.1	58.0	55.0	60.3
⑦教材研究を熱心にする	59.3	47.3	57.0	59.4
⑧教科書にこだわらず、多様な資料を使った授業をする	53.6	48.6	56.5	51.5
⑨生徒会活動や委員会活動に熱心にかかわる	37.9	48.7	45.9	39.7
⑩部活動の専門的技術や指導、審判ができる	44.2	53.0	44.0	44.3
⑪進路指導に詳しい	10.6	36.5	53.1	55.1
⑫休み時間など教室に行って、生徒と話をする	56.3	34.7	36.6	28.4
⑬教育関係の本を定期的に購読する	22.4	25.5	40.2	43.2
⑭学校以外の研究会や講演会に積極的に参加する	25.9	19.3	38.2	39.7
⑮中学生が興味を持つ雑誌などに目を通す	36.8	26.7	24.2	20.5

「とても」+「わりと」している割合
 ○は最大値

2) 理想の教師像

教師は生徒と接している。生徒たちの望む教師像を教師はどうとらえているのか。表3-13によれば、生徒が最も望むのは「ユーモアのある先生」(「とても望んでいる」51.2%)、次いで、「教え方のうまい先生」(49.1%)、「生徒の個人的な悩みの相談にのってくれる先

生」(45.2%)だと、教師は考えている。ユーモアがあって、教え方がうまい。そうした教師が相談にのってくれるなら、生徒たちは満点を与えるのではないが。

しかし、そうした教師が多いとは思えない。表3-14でも、小計の欄が示すように、「熱心に授業をしてくれる先生」が多い。

表3 - 13 生徒たちの教師への望み ユーモアのある先生

(%)

	とても望んでいる	かなり望んでいる	やや望んでいる	やや望んでいない	あまり望んでいない	ぜんぜん望んでいない
①ユーモアのある先生	51.2	35.1	13.0	0.3	0.3	0.1
②教え方のうまい先生	49.1	39.6	11.1	0.0	0.1	0.1
③生徒の個人的な悩みの相談にのってくれる先生	45.2	33.9	18.9	1.5	0.4	0.1
④熱心に授業をしてくれる先生	43.5	38.4	16.5	1.3	0.1	0.3
⑤ひとりの人間としても尊敬できる先生	39.6	36.3	22.3	1.0	0.6	0.1
⑥人間としての教養の豊かな先生	32.2	36.7	27.3	1.9	1.8	0.1
⑦専門についての知識のしっかりとした先生	30.8	36.4	29.6	1.6	1.4	0.1
⑧クラブの指導に熱心な先生	29.4	41.0	27.0	1.3	1.3	0.1
⑨教育についてのしっかりとした信念を持っている先生	19.6	29.9	40.6	6.3	3.2	0.4

表3 - 14 教師はどれくらいいるか(10人中) 熱心に授業する教師

(%)

	10人中10人とも	7～8人	小計	5～6人	3～4人	1～2人	1人もいない
①ユーモアのある先生	0.8	12.8	13.6	37.6	36.8	11.7	0.3
②教え方のうまい先生	1.0	20.3	21.3	38.0	28.8	11.7	0.1
③生徒の個人的な悩みの相談にのってくれる先生	5.8	23.5	29.3	31.1	29.9	9.7	0.0
④熱心に授業をしてくれる先生	6.2	38.7	44.9	33.0	17.6	4.5	0.1
⑤ひとりの人間としても尊敬できる先生	2.3	16.4	18.7	29.2	26.6	24.3	1.3
⑥人間としての教養の豊かな先生	2.3	18.8	21.1	36.0	28.6	13.8	0.6
⑦専門についての知識のしっかりとした先生	6.1	34.6	40.7	33.2	19.9	6.0	0.3
⑧クラブの指導に熱心な先生	1.8	20.0	21.8	37.3	29.0	11.9	0.0
⑨教育についてのしっかりとした信念を持っている先生	3.2	18.2	21.4	35.8	29.6	13.0	0.3

さらに、表3 - 15に生徒からどういう教師と思われているかを示した。ここでも小計をみてほしいが、数値が高いのは「専門についての知識のしっかりとした先生」(30.0%)

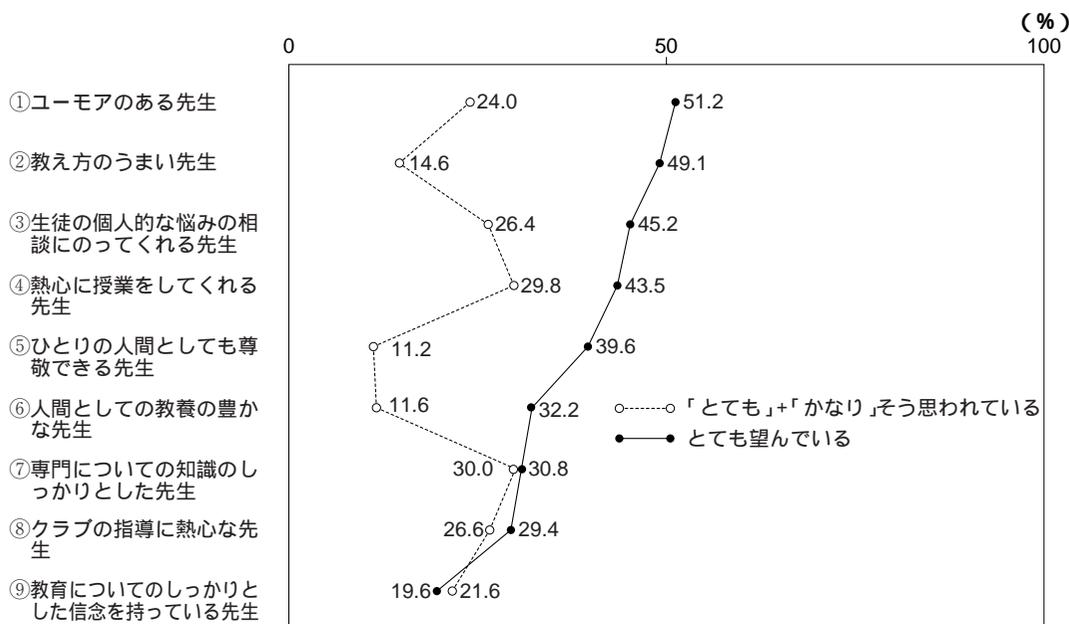
「熱心に授業をしてくれる先生」(29.8%)である。

生徒はユーモアのある先生を望み、教師は専門的な知識のある先生を志す。当然といえ

表3 - 15 どう思われているか

	とてもそう 思われている	かなりそう 思われている	小計	ややそう 思われている	ややそう 思われて いない	あまりそう 思われて いない	まったくそう 思われて いない
①ユーモアのある先生	5.2	18.8	24.0	44.6	21.8	7.6	2.0
②教え方のうまい先生	1.2	13.4	14.6	55.9	22.2	5.2	2.1
③生徒の個人的な悩みの相談にのってくれる先生	5.3	21.1	26.4	50.5	17.2	4.3	1.6
④熱心に授業をしてくれる先生	3.6	26.2	29.8	54.2	12.4	2.1	1.5
⑤ひとりの人間としても尊敬できる先生	0.9	10.3	11.2	54.8	26.0	5.6	2.2
⑥人間としての教養の豊かな先生	1.3	10.3	11.6	55.4	26.8	4.6	1.7
⑦専門についての知識のしっかりとした先生	5.7	24.3	30.0	53.1	13.1	2.9	0.9
⑧クラブの指導に熱心な先生	9.8	16.8	26.6	28.7	21.3	13.0	10.4
⑨教育についてのしっかりとした信念を持っている先生	4.1	17.5	21.6	49.7	21.6	5.0	2.2

図3 - 5 生徒たちの望みと教師の現実



ばそれまでだが、生徒の望む教師像と教師の考える理想像との間にズレが感じられる。そうしたズレを示したのが、図3 - 5（表3 - 16）である。教師が熱心に授業するのはいい。

しかし生徒たちが望んでいるように、もう少しユーモアを考えたらどうかと思う。表3 - 17のように、多くの教師は教養を高め、授業のしかたを工夫していると思っている。

表3 - 16 生徒たちの望みと教師の現実 熱心に授業するが、ユーモアが苦手

(%)

	とても望んでいる	「10人中10人とも」+ 「7～8人」いる	とても+かなり そう思われている
①ユーモアのある先生	①51.2	⑨13.6	⑤24.0
②教え方のうまい先生	②49.1	⑥21.3	⑦14.6
③生徒の個人的な悩みの相談にのってくれる先生	③45.2	③29.3	④26.4
④熱心に授業をしてくれる先生	④43.5	①44.9	②29.8
⑤ひとりの人間としても尊敬できる先生	⑤39.6	⑧18.7	⑨11.2
⑥人間としての教養の豊かな先生	⑥32.2	⑦21.1	⑧11.6
⑦専門についての知識のしっかりとした先生	⑦30.8	②40.7	①30.0
⑧クラブの指導に熱心な先生	⑧29.4	④21.8	③26.6
⑨教育についてのしっかりとした信念を持っている先生	⑨19.6	⑤21.4	⑥21.6

中の順位は各項目中の順位

表3 - 17 教師としての自信

(%)

	とても自信がある	かなり自信がある	小計	やや自信がある	やや自信がない	あまり自信がない	まったく自信がない
①一般的な教養を深める	4.6	21.6	26.2	45.4	22.1	4.9	1.3
②授業のしかたを研究する	5.0	19.9	24.9	50.9	19.0	3.7	1.5
③教材研究を深める	4.7	20.1	24.8	49.2	19.3	5.0	1.7
④生徒の心理を研究する	4.5	20.0	24.5	49.6	20.9	4.0	1.0
⑤教育についての見方を深める	3.2	19.8	23.0	48.1	22.4	5.3	1.2
⑥学級集団をリードする技術を高める	3.0	19.0	22.0	42.4	27.6	5.4	2.5

調査データを読んで

疲れを忘れるほど多忙な教師

< 養護教諭の思い >

東京都狛江市立狛江第四中学校養護教諭

根 舩 セ ツ 子

中学生の「キレル・ムカつく」といった問題が話題になって久しい。そして、「いじめ」「不登校・ひきこもり」の問題も今なお消えておらず、そのうえ、「虐待」が深刻な問題となっている。

中学生は、心身の成長・発達が著しく多感な時期である。それだけにこのような「心の健康問題」を抱えていると、「不安」と「緊張感」が続き、さらに強くなると「心の叫び」として腹痛・頭痛・発熱、気分不快などの「体調不良」を訴えることが多くなっていく。

おそらく身体反応を起こすことによって心身の調整（心のバランス）を行っているのであろう。

そこで、中学校の保健室では、生徒の「心の叫び」の初期サインである「身体の語り」（様々な身体症状）にするべく気づき対応していくことが重要となってくる。

平成8年に実施された全国「保健室利用状況調査」（日本学校保健会）によると、1校1日あたりの保健室利用者数は約40人にも上ると報告されている。そして、その約7割を占める「体調不良」生徒の背景と理由をてい

ねいにみていくと、「家庭環境」「情緒不安定」「いじめ」「性に関する問題」などが多くみられる。そのため、中学校の養護教諭は「体調不良」で来室した生徒たちの心身の微妙なサインに注目し、保健室における「健康相談活動」に重点を置いて毎日の執務にあたっている。

現状としては、保健室来室生徒の多さ・人間関係の希薄さから生じる様々なトラブル、保健室に持ち込まれる問題の複雑さや深刻さなどから生徒の心身の成長・発達に危機感を抱いている毎日である。

そして、その対応にあたっては、養護教諭の健康相談活動だけに止まらず、担任・SC（スクールカウンセラー）・保護者などと共通理解を図りながら密に連携をとっていかなければなかなか解決の糸口がつかめない状況にある。

しかし、中心とならなければいけない担任は、教科指導・学級経営・生徒指導・分掌・部活動・学年の様々な役割などを何役もこなさなければならない状況がある。

そのうえ、ADHD（注意欠陥多動性障害）LD（学習障害）・自閉症・いじめ・不登校・

ひきこもり・非行など、様々な問題を抱えた生徒がクラスにいと、その対応や指導に追われる多忙な日々になってしまう。学級担任が、決して1人で抱え込むことがないように十分配慮していかなければならない。そのためには、養護教諭がコーディネーター役を務め、SCや心の教室相談員と連携、協力しながら問題を抱えた生徒たちの情報交換や対応にあたる必要がある。

しかしながらこの作業はなかなか骨が折れ、(時間と労力を必要とし)体力もかなり消耗する。おそらく担任も養護教諭も疲労困憊の状態にあり、様々な身体不調を訴えていることが予想される。それは冬の風邪の流行時に、過労気味の担任から最初に風邪に罹患してしまう様子からもうかがえる。また、立ちくらみ・だるい・頭痛などの症状が慢性化しているようにも思える。

そのうえ、子どもたちの成長を願って計画される体育祭・文化祭・修学旅行・合唱コンクール・ロードレースなどの多くの学校行事、新しく加わった「総合的な学習の時間」など、教師にはますます体の調整をする(くつろぐ)ときがなくなっているように思われる。

学級サイズを縮小し、学級担任が生徒たちとゆっくりと過ごせる時間がほしいものである。また、様々な精神疾患の生徒が学んでいる以上、その生徒の学習や生活面の指導を行う専門の教師が現場にほしい。今、様々なエネルギーを持った生徒たちと直にかかわる教師の精神保健に配慮がなされた勤務条件の整備が望まれる。



第4章 教職への意欲



1. 教師としての心情 D D D

1) 教師としての悩み

教育実習などの指導をしてみると、教師としてかっこうがつくのにかなりの年月が必要だと思う。教師たちは表4-1のように、教師として「かっこうがつく」のに4~5年かかるとみている。そして「一人前になる」の

には、少なくとも7~8年はかかると思っている教師が多い(表4-2)

それでは、教師として困っているのはどうい問題なのか。図4-1(表4-3)によれば、「生徒の学力の差が大きくて、授業がやりにくい」と「忘れ物や宿題を忘れる生徒が多い」をあげる教師が多い。

表4-1 教師としてかっこうがつくまで 勤めてから4~5年後

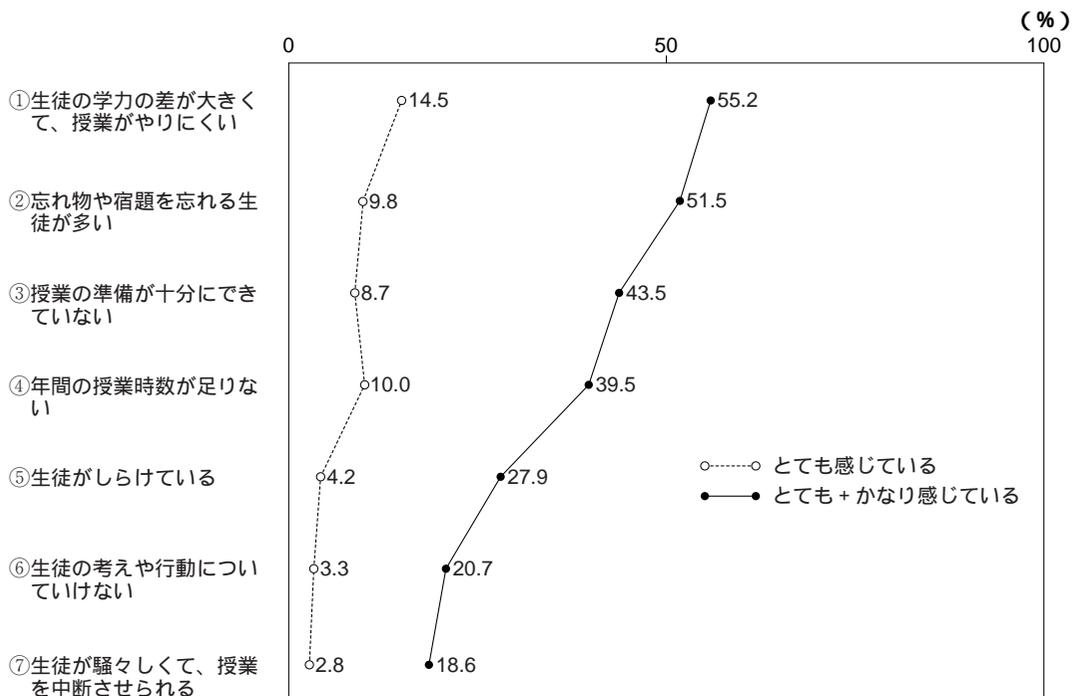
	大学を出て すぐに	3か月後	半年後	1年後	2~3年後	4~5年後	7~8年後	10年以上 たって
全 体	0.5	0.3	0.8	3.2	27.2	36.0	13.2	18.9
(累積)		0.8	1.6	4.8	32.0	68.0	81.2	100.1

(%)

表4 - 2 一人前の教師になるには × 属性 短くとも7～8年後

		(%)							
		大学を出て すぐに	1年後	2～3年後	4～5年後	7～8年後	10年後	もっと たってから	小計
全 体		0.0	1.1	7.4	19.8	23.6	30.9	17.2	48.1
(累積)			1.1	8.5	28.3	51.9	82.8	100.0	
職 名	管理職	0.0	0.0	5.7	17.0	32.1	35.8	9.4	45.2
	教 諭	0.0	1.1	7.7	20.9	22.2	30.5	17.7	48.2
	養護教諭	0.0	2.5	5.0	10.0	25.0	32.5	25.0	57.5
教職経験年数	4年以下	0.0	1.1	10.3	11.5	16.1	36.8	24.1	60.9
	5～14年	0.0	1.3	6.7	19.5	23.5	26.8	22.1	48.9
	15～24年	0.0	1.5	9.0	23.3	24.8	24.1	17.3	41.4
	25年以上	0.0	2.6	9.2	26.3	23.7	28.9	9.2	38.1

図4 - 1 教師としての悩み



そして、属性別にみた表4 - 4の結果では、養護教諭が多くの悩みを抱えているのがわかる。さらに担当教科別では、表4 - 5のように、社会や数学の教師は授業に苦労している

のに対し、体育の教師はそうした悩みが少ない。

こうした事情を反映してか、多くの教師は体調の悪さを訴えている。図4 - 2（表4 -

表4 - 3 教師としての悩み 学力の開きに当惑

(%)

	とても 感じている	かなり 感じている	小計	あまり 感じていない	まったく 感じていない
①生徒の学力の差が大きくて、授業がやりにくい	14.5	40.7	55.2	36.0	8.8
②忘れ物や宿題を忘れる生徒が多い	9.8	41.7	51.5	42.0	6.5
③授業の準備が十分にできていない	8.7	34.8	43.5	49.2	7.4
④年間の授業時数が足りない	10.0	29.5	39.5	47.2	13.3
⑤生徒がしらけている	4.2	23.7	27.9	54.5	17.6
⑥生徒の考えや行動についていけない	3.3	17.4	20.7	63.7	15.6
⑦生徒が騒々しくて、授業を中断させられる	2.8	15.8	18.6	45.9	35.6

表4 - 4 教師としての悩み × 属性

(%)

	職 名			教職経験年数			
	管理職	教 諭	養護教諭	4年以下	5～14年	15～24年	25年以上
①生徒の学力の差が大きくて、授業がやりにくい	61.2	54.1	66.7	56.0	58.1	59.8	46.3
②忘れ物や宿題を忘れる生徒が多い	42.9	51.4	66.7	55.8	45.9	57.5	46.3
③授業の準備が十分にできていない	44.9	42.4	66.7	50.0	42.5	45.2	32.8
④年間の授業時数が足りない	50.0	37.8	60.0	47.1	34.2	41.7	54.4
⑤生徒がしらけている	30.6	25.6	53.8	29.1	23.1	35.7	25.0
⑥生徒の考えや行動についていけない	14.0	20.7	44.8	10.5	14.8	30.5	24.3
⑦生徒が騒々しくて、授業を中断させられる	12.2	18.6	25.0	34.5	14.4	23.6	14.9

「とても」＋「かなり」感じている割合

6) が示すように、「とても」と「わりと」感じるを含めると、「肩がこる」が39.5%、「疲れやすい」も39.1%に達する。「何となく体がだるい」も29.6%である。表4-7の属

性分析によれば、教師の中では養護教諭が疲れている割合が高い。

表4-5 教師としての悩み × 担当教科

	(%)					
	国語	社会	数学	理科	体育	英語
①生徒の学力の差が大きくて、授業がやりにくい	56.0	58.6	76.6	53.1	24.0	72.8
②忘れ物や宿題を忘れる生徒が多い	56.0	57.7	51.4	51.9	40.0	50.6
③授業の準備が十分にできていない	46.0	49.5	35.1	46.3	32.0	44.4
④年間の授業時数が足りない	31.0	43.9	46.8	42.2	14.3	40.7
⑤生徒がしらけている	26.0	34.0	27.3	28.9	24.0	22.2
⑥生徒の考えや行動についていけない	19.0	15.5	18.9	19.5	18.4	23.5
⑦生徒が騒々しくて、授業を中断させられる	27.0	11.2	15.3	20.5	10.7	23.5

「とても」+「かなり」感じている割合

図4-2 教師の体調

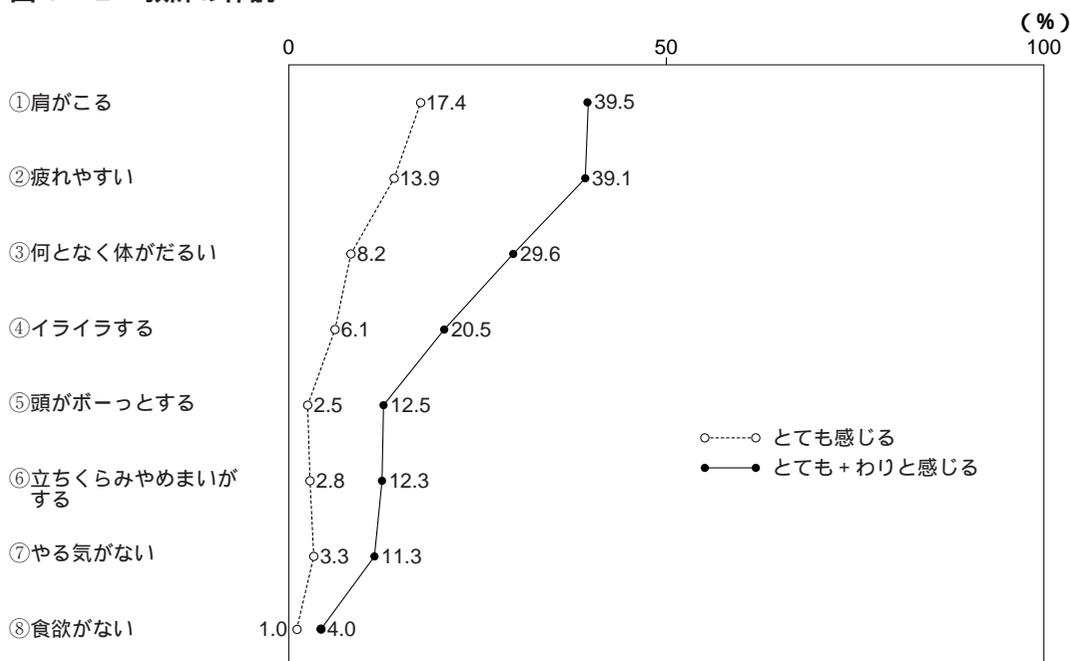


表4 - 6 教師の体調 「肩がこる」や「疲れやすい」が4割

(%)

	とても感じる	わりと感じる	小計	少し感じる	あまり感じない	ぜんぜん感じない
①肩がこる	17.4	22.1	39.5	21.3	21.7	17.4
②疲れやすい	13.9	25.2	39.1	31.4	16.5	13.1
③何となく体がだるい	8.2	21.4	29.6	29.7	23.7	16.9
④イライラする	6.1	14.4	20.5	28.1	34.2	17.3
⑤頭がボーっとする	2.5	10.0	12.5	23.6	37.6	26.3
⑥立ちくらみやめまいがする	2.8	9.5	12.3	19.2	34.9	33.6
⑦やる気がない	3.3	8.0	11.3	24.4	43.4	20.9
⑧食欲がない	1.0	3.0	4.0	12.6	40.1	43.3

表4 - 7 教師の体調 × 属性

(%)

	職 名			教職経験年数			
	管理職	教 諭	養護教諭	4年以下	5～14年	15～24年	25年以上
①肩がこる	32.1	39.9	40.0	41.4	36.7	43.9	38.2
②疲れやすい	34.0	39.6	50.0	46.0	38.7	39.4	36.8
③何となく体がだるい	22.6	30.2	37.5	39.1	30.7	27.8	19.7
④イライラする	17.0	21.6	22.5	24.1	21.3	23.3	12.0
⑤頭がボーっとする	9.4	12.3	17.5	21.8	14.0	11.3	11.8
⑥立ちくらみやめまいがする	7.5	12.5	17.5	19.5	13.3	15.0	14.5
⑦やる気がない	3.8	12.4	17.5	13.8	14.7	10.6	5.3
⑧食欲がない	3.8	3.8	7.5	6.9	5.3	3.0	2.0

「とても」+「わりと」感じる割合

2) 教職への評価

表4 - 8に「あなたはどのようなタイプの教師なのか」についての結果を示した。教師たちは、「規則や約束は必ず守る」(「とても」と「わりと」そうで70.8%)、「運動会や遠足など生徒とふれあう行事が好き」(66.8%)、「自分なりの教育観を持っている」(62.0%)のような自己像を抱いている。

これまでふれてきたように、学級に自己中心のできちんとしたしつけを受けていない生徒がいて、学級が不安定になる。そうした生

徒の対応に心身ともに疲れているというのが教師の平均的な姿であろう。

図4 - 3(表4 - 9)によれば、教師自身も中学教師に対する社会的な評価は「精神的に苦勞の多い仕事」(「そう評価されていると思う」と「まあそう思う」で75.1%)、「経済的に恵まれている仕事」(60.9%)、「やりがいのある仕事」(54.3%)だろうと思っている。多くの教師は、中学教師は社会的に精神的な苦勞が多いが、やりがいがある仕事という見方をされていると感じている。

表4 - 8 教師のタイプ 生徒とふれあうのが好き

	とても そう	わりと そう	小計	少し そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
①規則や約束は必ず守る	20.1	50.7	70.8	24.3	4.3	0.6
②運動会や遠足など生徒とふれあう行事が好き	28.8	38.0	66.8	23.8	8.3	1.1
③自分なりの教育観を持っている	16.9	45.1	62.0	28.6	8.5	0.9
④困ったとき、すぐ他の先生に相談できる	15.1	41.3	56.4	22.3	19.1	2.2
⑤同僚との飲み会やカラオケなどのつきあいはよい	16.1	32.7	48.8	24.1	21.2	6.0
⑥趣味やプライベートな時間が充実している	13.1	28.1	41.2	22.0	28.3	8.5
⑦家庭に帰っても生徒の問題が忘れられない	9.6	27.2	36.8	33.6	24.3	5.4
⑧職員会議や学年会では積極的に発言する	8.4	25.3	33.7	28.0	30.9	7.5
⑨まわりの人の目が気になる	4.4	24.0	28.4	38.8	26.0	6.7
⑩管理職や同僚と意見が違っても自分の意見を通す	4.6	18.7	23.3	30.6	40.5	5.6

図4 - 3 中学教師への社会的な評価

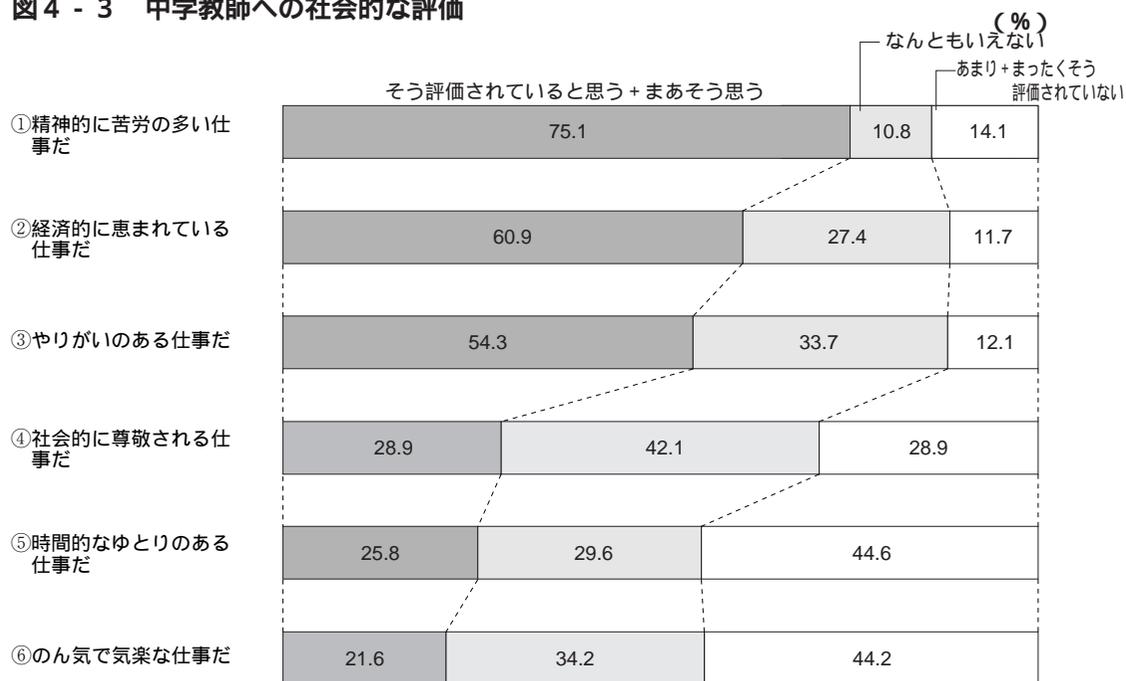


表4 - 9 中学教師への社会的な評価 精神的に苦勞が多い

評価項目	(%)					
	そう評価されていると思う	まあそう思う	小計	なんともいえない	あまりそう評価されていない	まったくそう評価されていない
①精神的に苦勞の多い仕事だ	25.0	50.1	75.1	10.8	11.7	2.4
②経済的に恵まれている仕事だ	16.4	44.5	60.9	27.4	10.0	1.7
③やりがいのある仕事だ	10.2	44.1	54.3	33.7	10.4	1.7
④社会的に尊敬される仕事だ	2.0	26.9	28.9	42.1	25.1	3.8
⑤時間的なゆとりのある仕事だ	8.5	17.3	25.8	29.6	29.4	15.2
⑥のん気で気楽な仕事だ	5.0	16.6	21.6	34.2	32.5	11.7

2 . 教師たちの教職観 D D D

1) 教師の理想像

古くから教職について、聖職者論や教育労働者論などが交わされてきた。図4 - 4 (表4 - 10)によると、現状では「セミ専門職」だが、理想とするのは「専門職」だという。「専門職」を志向する教師は74.3%に達する。そして表4 - 11に示したように、教職経験年数の長い管理職ほど、専門職志向が強い。

専門職志向の気持ちは理解できるが、これまで「専門職」について、多くの論議が交わされている。①その仕事につくことの困難さ、②専門的な知識や技術が深い、③たえざる研修、④社会的な評価の高さ、⑤治外法権的な専門領域などが考えられるが、中学教師は何を持って「専門職」と考えるのが問題となろう。

図4 - 4 教職への評価 (先生からみて)

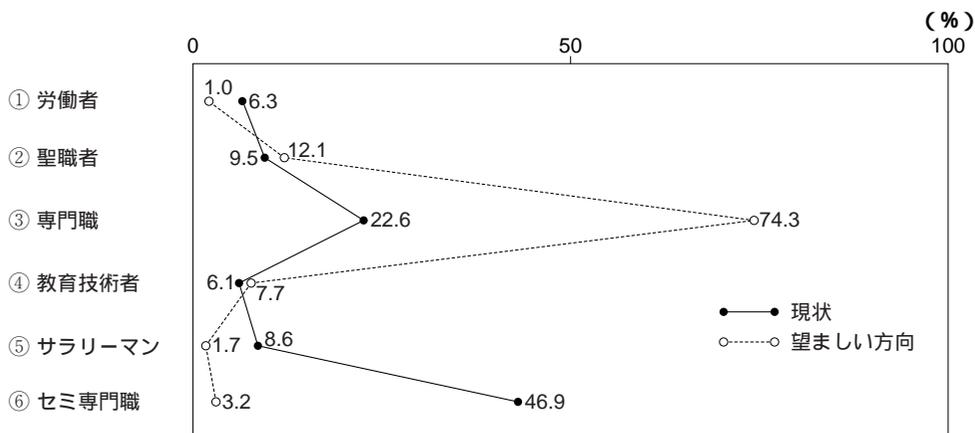


表4 - 10 教職への評価 (先生からみて) 専門職を目指す

	(%)	
	現状	望ましい方向
①労働者	6.3	1.0
②聖職者	9.5	12.1
③専門職	22.6	74.3
④教育技術者	6.1	7.7
⑤サラリーマン	8.6	1.7
⑥セミ専門職	46.9	3.2

表4 - 11 教職への評価（先生からみて）× 属性

（％）

		職 名			教職経験年数			
		管理職	教 諭	養護教諭	4年以下	5～14年	15～24年	25年以上
現 状	①労働者	0.0	6.8	5.4	11.6	6.2	3.0	0.9
	②聖職者	3.8	10.3	5.4	17.4	8.2	10.4	2.7
	③専門職	26.4	22.6	37.8	19.8	19.2	28.4	36.5
	④教育技術者	1.9	6.8	0.0	4.7	6.8	3.0	6.8
	⑤サラリーマン	11.3	7.6	8.1	16.3	10.3	7.5	8.5
	⑥セミ専門職	56.6	46.0	43.2	30.2	49.3	47.8	44.6
望 ま し い 方 向	①労働者	0.0	1.3	0.0	1.2	1.4	0.8	0.0
	②聖職者	5.7	12.3	10.5	21.2	12.4	13.5	6.7
	③専門職	88.7	73.1	78.9	65.9	73.1	70.7	89.3
	④教育技術者	1.9	8.5	2.6	5.9	11.1	7.5	1.3
	⑤サラリーマン	0.0	2.1	0.0	2.4	2.0	3.0	0.0
	⑥セミ専門職	3.8	2.7	7.9	3.5	0.0	4.5	2.7

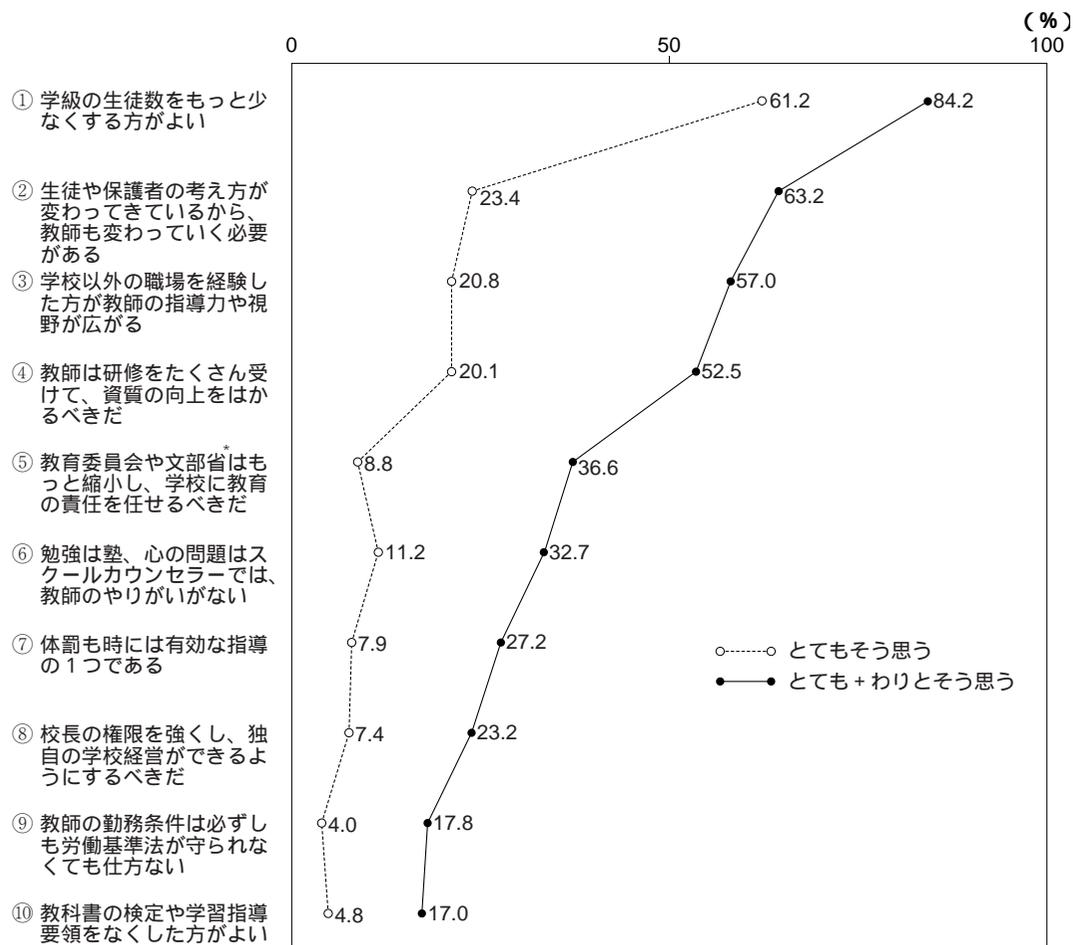
2) 教師たちの理想観

最後に、教師たちはどういう教育観を持っているのであろうか。図4 - 5 (表4 - 12) から明らかなように、「とても」と「わりと」そう思うを加えると、学級サイズを小さく(84.2%)を願っている教師は8割を超える。

それに対し、校長の権限強化に賛成する者は23.2%、学習指導要領の廃止に共感する者も17.0%にとどまる。全体として、堅実な教育観を持っている教師が多い印象を受ける。

表4 - 13の属性分析によると、学級サイズを小さくと思っているのは、実際に授業を担当している教諭が多く85.6%に達する。

図4 - 5 教育についての意見



* 調査票作成・調査実施時点での名称(以下同)

表4 - 12 教育についての意見 学級サイズを小さく

(%)

	とても そう思う	わりと そう思う	小計	少し そう思う	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
①学校の生徒数をもっと少なくする方がよい	61.2	23.0	84.2	10.3	5.1	0.5
②生徒や保護者の考え方が変わってきているから、教師も変わっていく必要がある	23.4	39.8	63.2	25.8	9.5	1.5
③学校以外の職場を経験した方が教師の指導力や視野が広がる	20.8	36.2	57.0	24.0	15.2	3.8
④教師は研修をたくさん受けて、資質の向上をはかるべきだ	20.1	32.4	52.5	28.8	15.8	2.9
⑤教育委員会や文部省はもっと縮小し、学校に教育の責任を任せべきだ	8.8	27.8	36.6	31.9	28.7	2.8
⑥勉強は塾、心の問題はスクールカウンセラーでは、教師のやりがいがない	11.2	21.5	32.7	22.6	33.5	11.2
⑦体罰も時には有効な指導の1つである	7.9	19.3	27.2	33.8	26.1	12.9
⑧校長の権限を強くし、独自の学校経営ができるようにするべきだ	7.4	15.8	23.2	25.3	38.3	13.2
⑨教師の勤務条件は必ずしも労働基準法が守られなくても仕方ない	4.0	13.8	17.8	20.4	35.1	26.8
⑩教科書の検定や学習指導要領をなくした方がよい	4.8	12.2	17.0	25.2	48.5	9.3

表4 - 13 教育についての意見 × 属性

(%)

	職 名			教職経験年数			
	管理職	教 諭	養護教諭	4年以下	5～14年	15～24年	25年以上
①学校の生徒数をもっと少なくする方がよい	71.7	85.6	85.0	83.9	82.0	81.2	86.8
②生徒や保護者の考え方が変わってきているから、教師も変わっていく必要がある	71.7	63.8	51.3	56.3	60.7	70.7	56.6
③学校以外の職場を経験した方が教師の指導力や視野が広がる	67.9	53.8	62.5	56.3	54.7	63.9	57.9
④教師は研修をたくさん受けて、資質の向上をはかるべきだ	64.2	50.5	57.5	51.7	48.7	55.6	57.9
⑤教育委員会や文部省はもっと縮小し、学校に教育の責任を任せべきだ	50.9	36.3	23.1	24.7	34.7	40.9	51.3
⑥勉強は塾、心の問題はスクールカウンセラーでは、教師のやりがいがない	49.1	31.4	35.9	20.2	31.3	31.8	48.7
⑦体罰も時には有効な指導の1つである	22.6	28.2	20.5	25.9	32.9	27.3	18.7
⑧校長の権限を強くし、独自の学校経営ができるようにするべきだ	52.8	21.1	5.1	17.6	20.0	28.0	28.9
⑨教師の勤務条件は必ずしも労働基準法が守られなくても仕方ない	32.1	16.6	5.1	23.5	18.0	15.6	20.3
⑩教科書の検定や学習指導要領をなくした方がよい	5.7	18.9	15.8	10.3	22.1	17.3	17.1

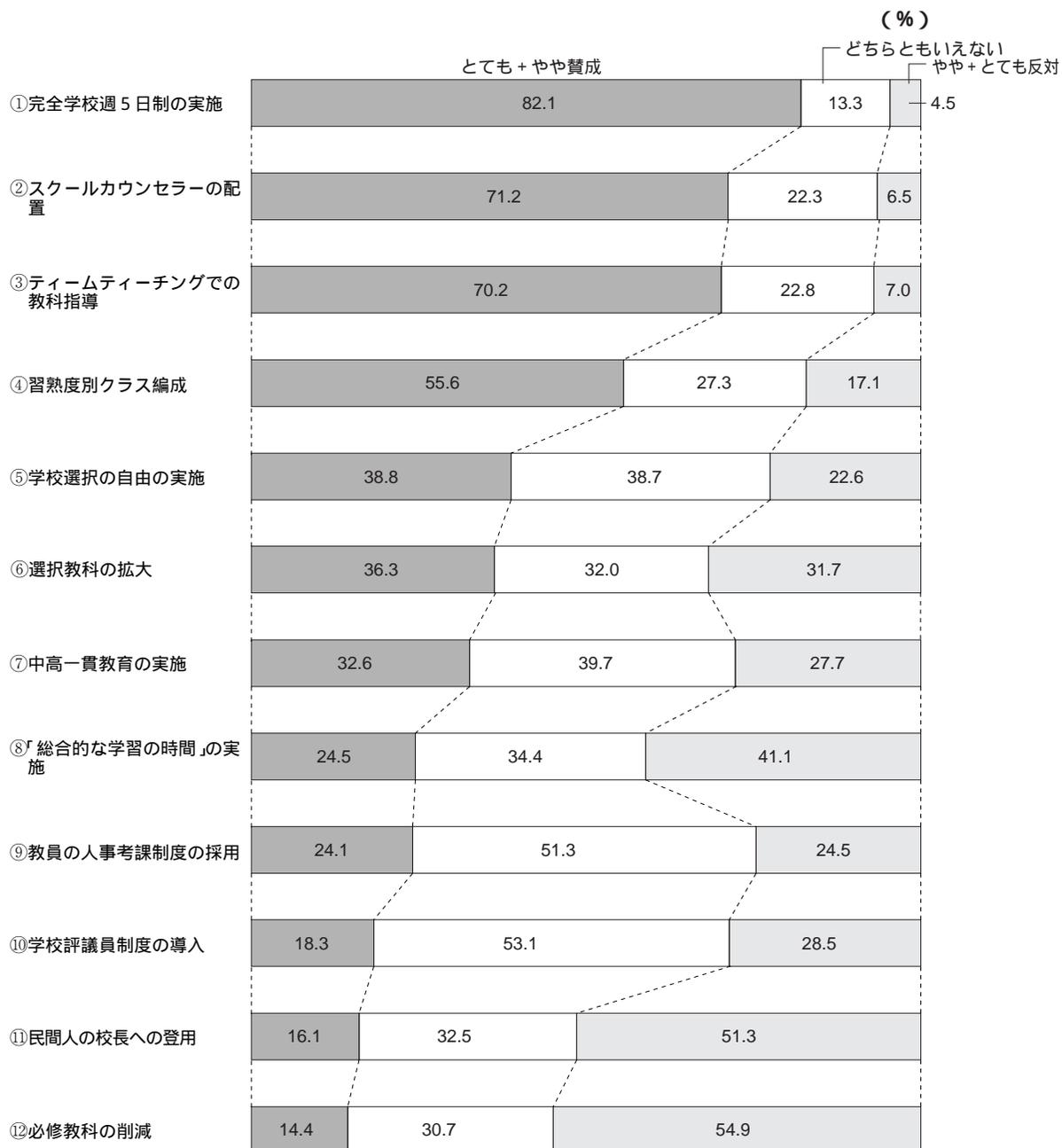
「とても」+「わりと」そう思う割合

図4 - 6 (表4 - 14) に教師たちの教育観を求めてみた。「とても」と「やや」賛成を加算した結果に着目すると、教師たちの意見は以下のように3分することができよう。

①半数以上が賛成な項目

- 完全学校週5日制の実施 (82.1%)
- スクールカウンセラーの配置 (71.2%)
- チームティーチングでの教科指導 (70.2%)
- 習熟度別クラス編成 (55.6%)

図4 - 6 教育改革への賛否



- ②賛成が3割台（賛否が半ば）
 - 学校選択の自由の実施（38.8%）
 - 選択教科の拡大（36.3%）
 - 中高一貫教育の実施（32.6%）
 - ③賛成が4分の1以下
 - 「総合的な学習の時間」の実施（24.5%）
 - 教員の人事考課制度の採用（24.1%）
 - 学校評議員制度の導入（18.3%）
 - 民間人の校長への登用（16.1%）
 - 必修教科の削減（14.4%）
- 全体として、納得のできる結果だが、「総

合的な学習の時間」に対する賛成派が少ないのが目につく。教科の枠を超えてという「総合的な学習の時間」のコンセプトに不安が強いかもしれない。

なお、表4 - 15の職名別のクロス結果では、管理職がほとんどの項目で賛成しているのが目につく。これらの項目は文部省の政策だけに管理職は政策に賛同するのであろうか。なお、表4 - 16の教職経験年数別の結果では、若い教師が文部省の政策に賛成する態度が顕著だった。

表4 - 14 教育改革への賛否 完全学校週5日制に賛成

(%)

	とても賛成	やや賛成	小計	どちらともいえない	やや反対	とても反対	小計
①完全学校週5日制の実施	57.7	24.4	82.1	13.3	3.0	1.5	4.5
②スクールカウンセラーの配置	32.8	38.4	71.2	22.3	4.6	1.9	6.5
③ティームティーチングでの教科指導	29.2	41.0	70.2	22.8	5.2	1.8	7.0
④習熟度別クラス編成	17.5	38.1	55.6	27.3	10.9	6.2	17.1
⑤学校選択の自由の実施	13.5	25.3	38.8	38.7	14.2	8.4	22.6
⑥選択教科の拡大	10.3	26.0	36.3	32.0	18.5	13.2	31.7
⑦中高一貫教育の実施	8.4	24.2	32.6	39.7	15.0	12.7	27.7
⑧「総合的な学習の時間」の実施	6.6	17.9	24.5	34.4	22.4	18.7	41.1
⑨教員の人事考課制度の採用	7.0	17.1	24.1	51.3	12.9	11.6	24.5
⑩学校評議員制度の導入	4.3	14.0	18.3	53.1	18.2	10.3	28.5
⑪民間人の校長への登用	5.3	10.8	16.1	32.5	28.3	23.0	51.3
⑫必修教科の削減	4.6	9.8	14.4	30.7	34.2	20.7	54.9

表4 - 15 教育改革への賛否 × 職名 管理職は賛成

(%)

	管理職	教諭	養護教諭
①完全学校週5日制の実施	90.4	82.2	87.5
②スクールカウンセラーの配置	78.8	69.6	72.5
③チームティーチングでの教科指導	80.8	67.4	85.0
④習熟度別クラス編成	67.3	55.9	37.5
⑤学校選択の自由の実施	44.2	37.5	37.5
⑥選択教科の拡大	48.1	32.6	42.5
⑦中高一貫教育の実施	38.5	31.4	30.8
⑧「総合的な学習の時間」の実施	46.2	20.0	37.5
⑨教員の人事考課制度の採用	40.4	20.3	22.5
⑩学校評議員制度の導入	40.4	15.4	15.8
⑪民間人の校長への登用	25.0	14.6	15.0
⑫必修教科の削減	29.4	13.3	17.5
①～⑫の平均	52.5	38.4	41.8

「とても」+「やや」賛成の割合

表4 - 16 教育改革への賛否 × 教職経験年数

(%)

	4年以下	5～14年	15～24年	25年以上
①完全学校週5日制の実施	79.0	78.0	82.7	79.7
②スクールカウンセラーの配置	74.4	71.3	73.5	62.7
③チームティーチングでの教科指導	72.1	73.3	67.7	61.3
④習熟度別クラス編成	59.3	54.7	62.4	45.3
⑤学校選択の自由の実施	38.4	39.3	43.6	29.3
⑥選択教科の拡大	51.2	28.0	38.3	37.3
⑦中高一貫教育の実施	39.5	34.7	32.3	27.0
⑧「総合的な学習の時間」の実施	32.6	18.7	24.8	33.8
⑨教員の人事考課制度の採用	37.6	18.2	27.3	20.0
⑩学校評議員制度の導入	18.6	13.4	21.4	20.3
⑪民間人の校長への登用	19.9	15.3	18.0	16.0
⑫必修教科の削減	9.3	10.7	19.5	16.2

「とても」+「やや」賛成の割合

調査データを読んで

精神的な苦勞の多い学級担任

東京都稲城市立稲城第五中学校教諭

亀澤 信一

図4 - 3 (表4 - 9)によると、中学校の教師の仕事は社会的に「精神的に苦勞の多い仕事と思われている」と答えている割合が多い。私は、「精神的な苦勞」は学級担任をするか否かで、その度合いがずいぶん違ってくるのではないかと思う。このことは、最近分掌の仕事の関係で、学級担任ではなく副担任をやった時期に痛切に感じた。

一般的に、中学校は教科担任制だから教師は自分の教科を教えることが主な仕事だ、と思われているらしい。確かに教科を教えることが中心には違いないが、小学校と同じように学級担任としての仕事もたくさんあって、けっこう苦勞も多いのである(もちろん、楽しいこともたくさんあるが...)。実際に、教員の3人に2人の割合で学級担任となり、あとの1人は副担任として担任をサポートしている。

学級担任と副担任の違いは、表面上は朝と帰りの学活や給食の指導、1週間に1時間ずつ組み込まれている学級活動と道徳の授業を担当するかどうかということだけである。しかし学級担任となると、自分のクラスの生徒

に対して責任があるので、どうしてもその分「精神的な苦勞」が多くなる。

私がこれまでに学級担任をしてきた1つ1つクラスを思い出すときに、すぐに頭に浮かんでくるのは、「問題行動を起こす生徒」や「不登校(あるいは不登校気味)の生徒」たちである。他の生徒に比べて、これらの生徒とはいろいろな意味で担任としてかかわる時間が長し、指導上のことで悩むことも多かったからであろう。このあたりは図3 - 3 (表3 - 6)にもはっきりと表れている。

一口に「問題行動」といっても、私が経験したものだけでも、教師への反抗、友だちへの暴力、家出、喫煙、シンナー、万引き、異装、授業妨害、器物破壊など、いろいろなパターンがある。

生徒が「問題行動」を起こすと、本人がやったことを認め、反省したら、同じ過ちを繰り返さないという確認をとるところまで指導する。やったことをなかなか認めなかったり、態度が改まらない場合には指導が長時間に及ぶ場合もあり、保護者に確認をとった上で夜遅くまで指導したこともある。場合によって

は、保護者や他の教員も同席して、根気よく繰り返し指導を続けていく。学校は警察とは違うので、罰することが目的ではなく、いかに本人に反省させて次につなげるかということが大切なポイントになる。

また、以前に比べて、不登校の生徒の人数が増えている。私は今までに5人の不登校の生徒を担当した。不登校になった理由や状態が一人一人違うので、対応の仕方もそれぞれ違って来る。たとえば、Aさんの家には1週間に1回の割合で家庭訪問をしたが、本人には1度も会うことができなかった。Bさんは、登校してもクラスに入ることができずに、毎日別室で自習をしていた。C君には、私が毎日短い手紙を書き、クラスメイトに届けてもらった。

不登校の生徒には“こうすればよい”という特効薬のような指導法はないので、学級担任は自分のやっていることに対して、いつも“これでよいのか”と悩みながら指導を続けることになるのである。

これ以外にも、日常の学校生活の中では様々な問題が起こってくる。けんか、いじめ、いやがらせ、ルール違反、授業中のおしゃべり…。また、生徒や保護者からの悩みの相談もけっこう多い。

とにかく、学級担任は「精神的な悩み」をいつも抱えながら、よりよい方向を目指して悪戦苦闘しているのである。そして、悩みが多ければ多いほど、それが解決したり、よりよい方向に向いたときの喜びはいっそう大きなものになっていく。だからこそ、学級担任は、やり甲斐があり、やめられない仕事なのだが…。



第5章 転換期の教師の意識—教師論の立場から—



1. 教師の教育力への期待 DDD

近年の教育改革論議の中で、教師の「ちから」、教育力への期待が高まっている。「教育は人に在り」と古くからいわれるように、教師の資質や力量が教育の成否に大きくかわるのは当然で、その意味では今日、教師の力量が問われるのは無理からぬことのように思う。

特に義務教育段階の改革論議では、カリキュラムと教師の力量の問題に焦点がしぼられる傾向が強い。高校の場合だと総合学科、単位制高校、6年制中等学校、少しさかのぼれば総合選択制高校というように、新しいタイプの学校がつくられて、それが改革の目玉になってきた傾向は否めない。

それに対して小・中学校の改革論議では、6年制中等学校や学区制の見直しの議論が部分的にみられるだけで、現行のしくみを大き

く変えようとする論議は少なくともこれまでのところ大きな流れにはなっていない。

その故もあって、義務教育段階の改革論議では「カウンセリング・マインド」にせよ、「総合的な学習の時間」にせよ、教師の仕事の進め方、それを支える教師の教育力への期待が大きなものとなっている。もちろん、「カウンセリング・マインド」も「総合的な学習の時間」も高校の教育実践にもかかわるわけだが、改革論議に占めるウエイトは小・中学校の場合と同じではない。

では教師たちの力量の向上によって、今日の教育問題が徐々にではあれ解決され、苦悩する教育現場に光がさすことになるのか。

残念ながら、その問いに対する答えは必ずしも肯定的なものではないように思う。これまでのデータにもみられるように、日本の教

師たちは、今日でもかなりがんばっていて、さらに教育力を高めるよう期待することは、なかなか難しい。すでに示されたように、ただでさえ忙しい教師たちに、これ以上何をしろということができているのか、心もとなくなってくるのも事実である。

そもそも、日本の学校教育の現状をアメリカと比較すれば、高校中退者が格段に少ないことに示されるように、その状況は必ずしも否定的にばかり評価されるべきではない点も多い。一言でいえば、今日の学校教育の困難は世界的な傾向であって、日本の学校の現状には改善すべき点も多いとしても、むしろ守っていかねばならない成果もまた多いのであ

る。そしてその背景には、(他の要因もあるとしても)日本の教師たちの優秀さ、努力があることも忘れられてはならないと思う。

ただ、そうはいつても、日本の学校が構造的な困難をかかえていて、今後その改善のために教師が中心となっていかなければならないことは間違いない。とすれば、その方向はどこに求められるのか。

学校を支える教師たち自身は、今後の教育力のあり方をどのように考えているのか。以下では、今回の調査で示された教育力の方向性についての教師たちの考え方を概観し、それに若干のコメントを加えることにしたい。

2 . 揺らぐ学級指導と定員減への期待 D D D

今回の調査結果で教師たちが期待を寄せている教育力の維持、改善のための手だてとして最も目立つのは、学級定員の削減である。図5-1に示すように、今後教師のちからを高めるための方策として、学級のサイズを小さくすることを求める教師は「とてもそう思う」が全体の61.2%、「わりとそう思う」が23.0%、合計で84.2%にもなり、「少しそう思う」と「あまりそう思わない」との回答は、それぞれ10.3%と5.1%、合計しても15.4%である。

しかも、こうした傾向を教職経験年数別にみても、体罰の必要性や校長権限の強化あるいは文部省の機能縮小についての意見などが、年齢や教職経験年数に応じてかなり異なっているのと対照的な結果がみられる。

例えば、文部省の機能縮小を求める回答は、教職経験年数「4年以下」では24.7%にすぎないのに、「25年以上」のベテラン教師は51.3%もの教師が、文部省の機能縮小が必要だと回答している(図5-2)。経験による変化とも世代差とも解釈できる結果であるが、新任教師とベテラン教師では大きく意識

が異なる結果である。

これに対して、学級サイズの縮小を求める意見は、教職経験年数「25年以上」の教師の86.8%、「15~24年」の教師の81.2%がそれぞれ支持していて、その差はわずかに56ポイントでしかない。学級サイズの縮小を求める声は、若手、ベテランの別なく今日のわが国の教師たちの共通の意見だといえるのである。

この背景としては、問題を起こす生徒が多く学級経営に苦勞している教師が半数に近いことが示されているし、きちんとしつけられていない自己中心的な生徒が多く、多くの教師が学級経営に苦心しているとする教師たちの見方があることも、これまでに報告されてきた通りである。

学級経営が教師たちにとって大切な仕事だと考えられていて、それが今日の生徒たちの状況を前提とするとなかなか難しいということからすれば、現行の40人を超える学級をつくらないという「40人学級」では不十分である。その解決の方途として、教師たちが学級サイズの縮小を求めることは当然といえ

図5 - 1 教育についての意見

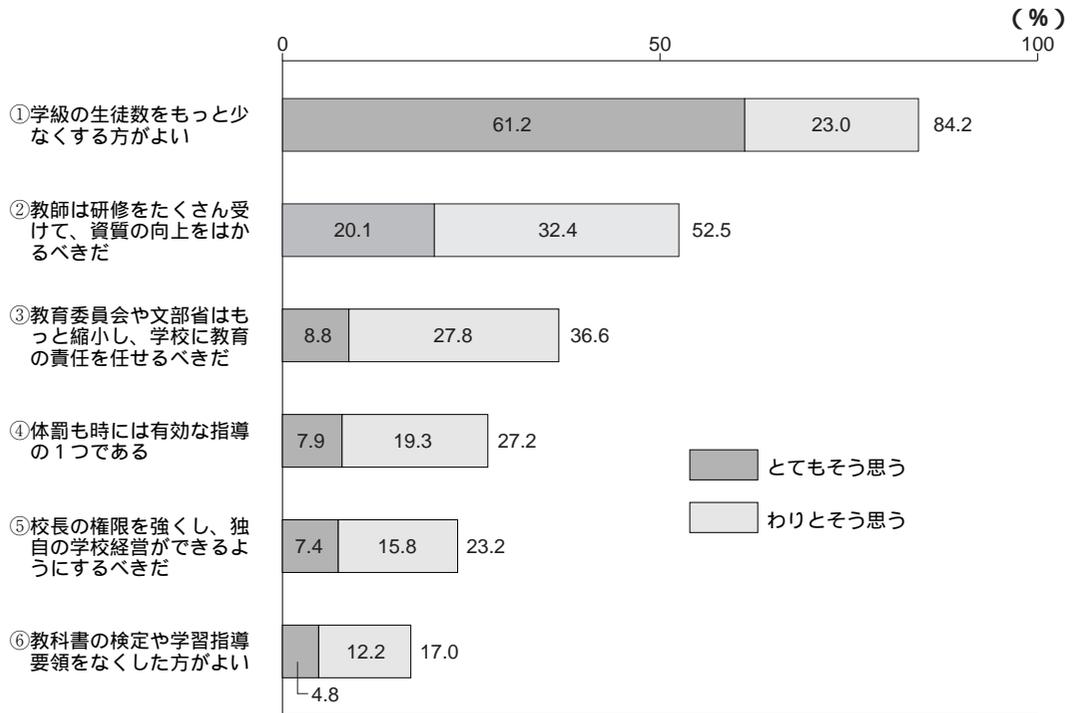
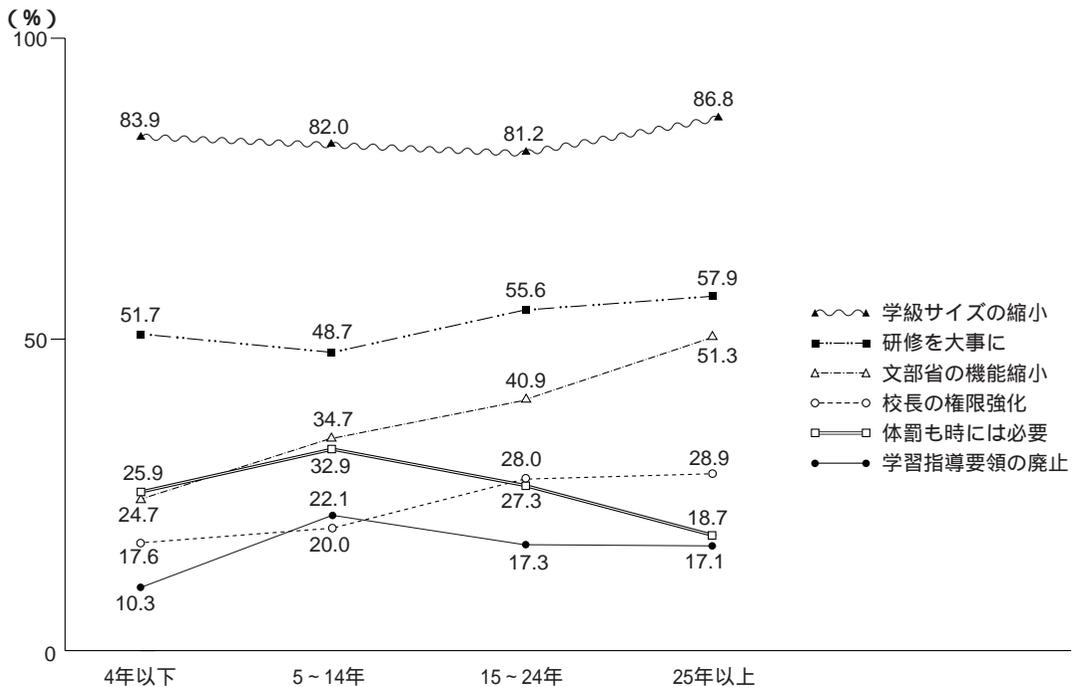


図5 - 2 教育についての意見 × 教職経験年数



ば当然で、妥当な要求であるとみることができるよう思う。

教育改革の論議の中では、抽象的な「立派な教師」を求める意見は多くみられるものの、具体的な教育力を高めるための提案はあまりみられないといってもよい。困難な状況を前にした教師たちの学級定員減を期待する意見は、おおいに尊重してもらいたい。

ただ、一方で、教師たちの視点を離れるなら、こうした教師たちの最大公約数的意見は、あくまで伝統的な日本の学校の枠組みを前提とした中での改革案ということとは否定できない。教師たちは、今日の学級学位の指導の困難を前提として学級定員の縮小を期待しているわけだが、学級を単位とする指導の進め方そのものを見直し、学級制の弾力化という方向性を志向しているものではないのである。

例えば、学級単位の指導と切り離して、才

能ある子どもは「進んだ子 (gifted) 向きのコース」を受講するといった、学級制の枠組みを超えた教育のしくみを検討することは必要なのか。クラスがまとまることと個別的な指導や個性重視の教育をどう調和させるのか。そのあたりも考えてみる必要はあろう。

学級を単位とする指導は、日本の学校教育のきわだった特徴の1つであるから、教師たちがそれを当然のものとして受けとめ、その混乱を解決するためには学級サイズの縮小を目指す必要があると考えるのは自然である。ただ、その前提を疑ってみることも、国際比較の視点からみると必要とされることのように思われる。日本の学校教育の伝統的な長所を守っていくことは必要だが、同時に新しい発想の導入の可否を吟味することも求められるように思われる。

3 . 専門職を目指す教師 DDD

それに関連して、教師たちが今後の教師としての仕事のあり方と教師像をどのように位置づけているのかをみると、表5 - 1に示す通り、教師の現状を「セミ専門職」としてとらえ、「専門職」を目指すべきだという意見が多くみられる。数字をあげておくと、現状では教職が「セミ専門職」だとの認識は46.9%で半数近くに及んでいるし、「望ましい方向」としては「専門職」が74.3%と全体の4分の3近くに及んでいるという結果である。

「セミ専門職」とは、教師、看護婦、図書館職員等の一群の職業を具体的に想定したカテゴリーであり、専門職化を目指しつつも、現状からすると自律性や資格の要件などが既存の専門職に及ばないとされるものをいう。今日の難しい状況のもとで、教師たちがその教育力の向上を、自らの専門的な力量の向上を目指すことで実現していこうとする意欲を

示すものといえる。調査の回答者が、自負心の強い、熱心な教師であることを示す結果だとみることでもできよう。

しかも、図5 - 3に示すように、「専門職」を志向する教師の割合は、若い教師にやや少なくベテラン教師に多いという傾向はみられるものの、教職経験の長い教師も短い教師もともに強く支持している傾向がみられる。学級制についての教師たちの意識の結果と合わせてみると、教師たちの考えるこれからの教師像は、「学級単位の指導に熟達した専門的な力量の高い教師」ということになるだろうか。

小学校と異なり教科担任制をとる中学校の教師にもこうした意識が強いことは興味深いだが、1つ気がかりなのは教師たちの専門職志向の方向性についてである。

実は今日、典型的な専門職者の支配する領域、例えば医療の世界、あるいは法曹や大学のあり方は、社会変動のうねりの中でのきな

みに強い批判をあびている。そこにみられるのは既存の専門職者の「ひとりよがり」に対する危惧、専門職志向の方向性への疑問というものであろう。医療の世界でインフォームド・コンセントが要求されることが示されるように、何もかも専門職者に委任するのではなく、素人の健全な判断を生かしていきたいというのが今日の流れである。

教育の場合でも、学校評議員制や「開かれた学校づくり」という改革の動きにみられるように、学校の運営は教師が中心であることは変わらないにせよ、そこに地域のおとなたちや親たちが協力して、連携して教育を進めることがこれからの課題とされている。だとすると、「専門職」といっても、これからの教師が目指すべきは、「私に全部任せなさい」という古典的な「専門職」ではなく、連携型、調整型の新しい「専門職」ということができるだろうか。

専門職論では、近年「(対人) 援助専門職」という考え方が注目されているが、これは対人援助にかかわる新しい連携型の専門職を指している。要は、教師たちがその専門的力を高めるといって意味で専門職を目指すという

のは当然だとして、そのモデルは古いタイプの医者や弁護士、あるいは大学教員というものばかりではなく、新たな時代の教師にふさわしい専門性を目指してほしいということになる。

その点でいうと、今回の調査で、教師たちが学校評議員制度などに対して、あまり好意的でないことは少し気にかかる。表5 - 2が示すように、主な教育改革の動向への評価を尋ねた結果では、「学校評議員制度の導入」に「とても賛成」の教師と「やや賛成」の教師は合計しても18.3%にすぎないし、「民間人の校長への登用」に「とても賛成」「やや賛成」の教師は全体の16.1%でしかない。「学校選択の自由の実施」を肯定的に評価する者も38.8%と半数を大きく下回っている。

「素人に何ができるのか」「私たちを信頼して任せてほしい」ということであろうか。自負の強い立派な教師たちにとって、近年の動向が必ずしも愉快でないことは理解できなくもないが、一方では教師の仕事を考える新しい枠組みが求められていることも否定できないように思う。

表5 - 1 教職への評価（先生からみて）

(%)

	現 状	望ましい方向
①労働者	6.3	1.0
②聖職者	9.5	12.1
③専門職	22.6	74.3
④教育技術者	6.1	7.7
⑤サラリーマン	8.6	1.7
⑥セミ専門職	46.9	3.2

○は最大値

図5 - 3 教職への評価（望ましい方向）× 教職経験年数

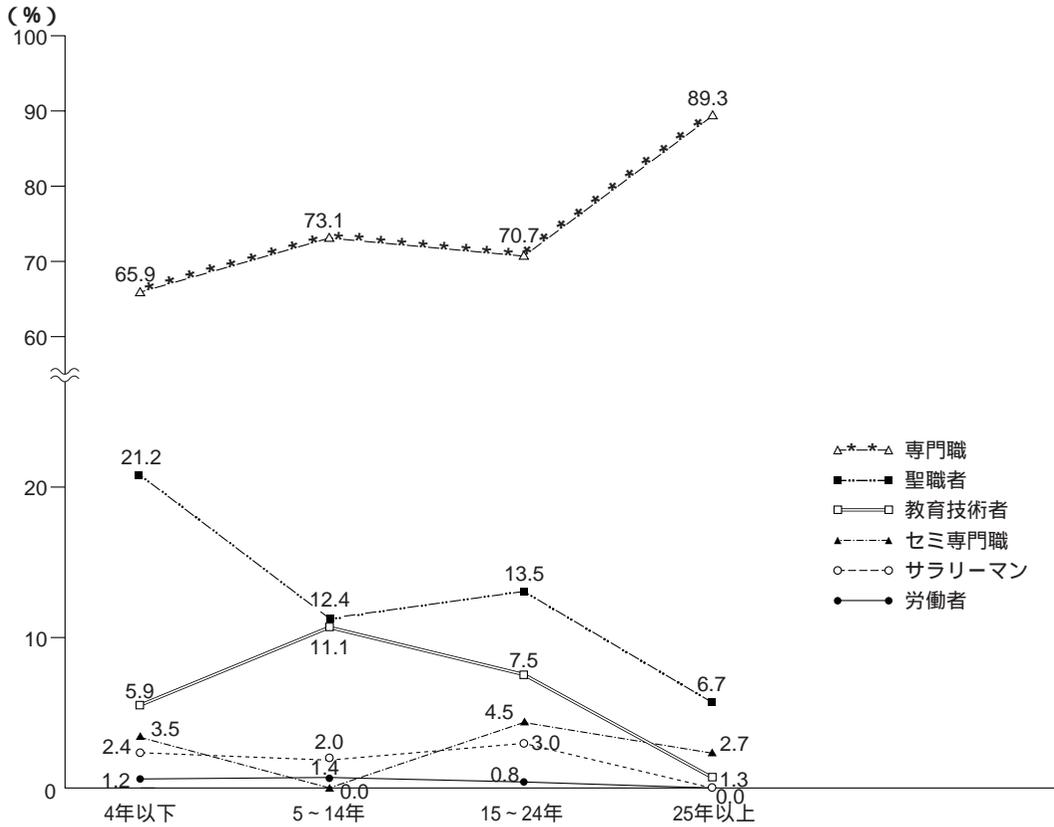


表5 - 2 開放型の教育改革の動向への評価

	（％）		
	とても賛成	やや賛成	小計
①学校選択の自由の実施	13.5	25.3	38.8
②学校評議員制度の導入	4.3	14.0	18.3
③民間人の校長への登用	5.3	10.8	16.1

4 . 変容する教職観 D D D

ただ、そうした懸念を感じるとはいえ、今回の調査結果をトータルにみると、日本の教師の教職観は、かつてと比較すると大きく変わっていることも事実である。例えば「スクールカウンセラーの配置」について、「とても賛成」な教師は32.8%、「やや賛成」な教師は38.4%で、両者を合計すると71.2%に及んでいる。「チームティーチングでの教科指導」に賛成の教師も、「とても賛成」が29.2%、「やや賛成」が41.0%で、合計が70.2%となる。「習熟度別クラス編成」の賛成者も「とても」と「やや」を加えて55.6%と過半数を超えている（図5 - 4）

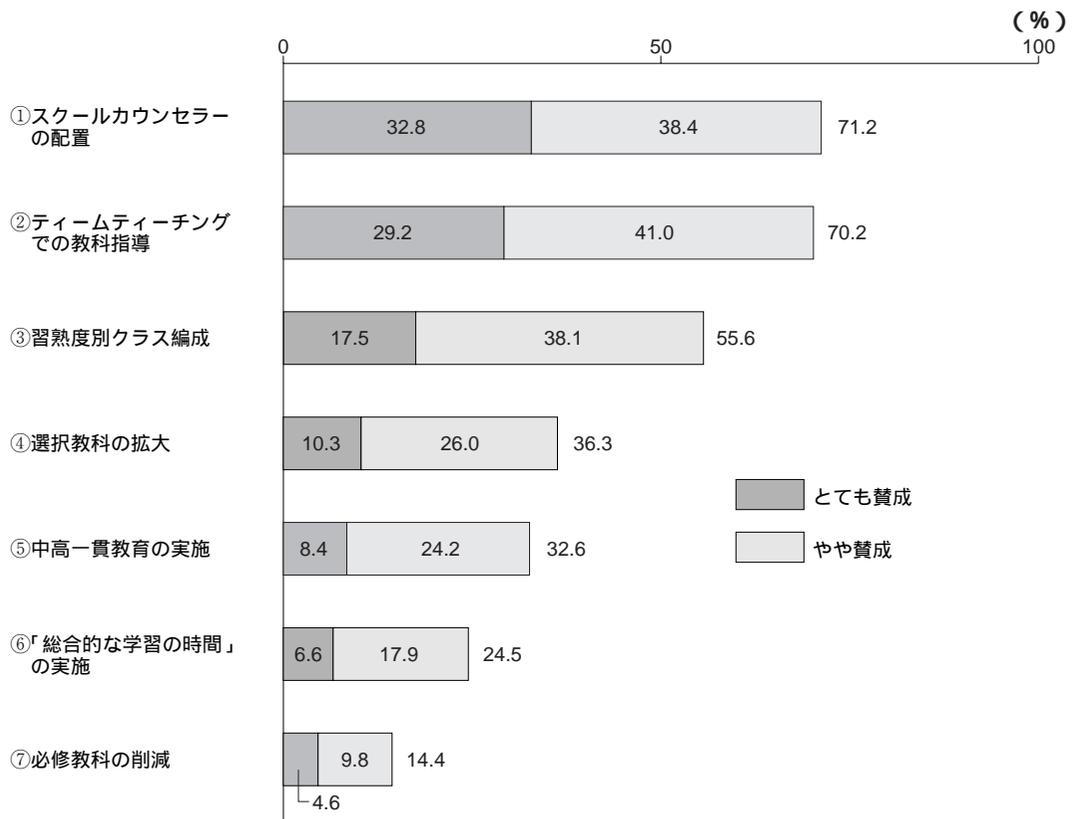
教師の仕事の範囲が広汎なことは日本の教師の伝統的な仕事の進め方の特徴とされてきたことであり、子どもたちの同質性を強調し、たてまえとしての平等を重視することも、わが国の学校の指導の特性とされてきたことである。チームティーチングのようなしくみも、伝統的な日本の教師の子どもとの接し方

とは異質なものといえよう。

一昔前の教師調査なら、カウンセラーやチームティーチング、習熟度別クラス編成を支持する教師はこれほど多くなかったというのが、教師調査にかかわってきた筆者の率直な感想である。「ふだん子どもたちと接している教師がいちばん生徒を理解できる」「進度に差はあっても、クラスの中で子どもたちが助け合っていくことを目指したい」。かつては多かったこうした意見は、徐々にではあれ減少しているとみることができよう。

教師役割の無限定性や子ども同質性の強調といった日本の学校の伝統も、子どもたちの変化と社会の状況の変動を前にして確実に変わってきている。そうした傾向をうかがい知ることのできるのも、今回の調査結果の特徴だといえそうである。変わる日本の学校と教師の教職観に、実質的な条件整備の支援策が加って新しい展望がひらけることをぜひ期待したい。

図5 - 4 教育方法の改善を目指す改革への評価



まとめに代えて

中学教師の疲労感を軽減するために

中学教師は疲れきっている

本報告書の結果を一口にまとめるなら、「中学教師は心身ともに疲れきっている」となる。中学生は子どもとおとなの境界に位置しているのも、もともと扱いにくい世代だ。子ども扱いすれば反発するが、かといっておとな扱いするには幼い。

特にこのところ、中学生の成長が歪みを持つようになった。教師たちが生徒について、「しつけができていない生徒」や「自己中心的な生徒」が増えたと感じているのに納得するものを感じる。

教師が少し油断していると、「いじめ」や「キレる」「荒れ」「不登校」などの問題が学級に広まる。

こうした生徒への対応も大変だが、そうでなくとも、中学教師の毎日は忙しい。何時間かの授業を終えた後、部活動を指導する。その後、会議へ出席したり生徒を指導したりする。調査結果が示すように、教師は少なくとも10時間は在校している。加えて、土日の半数は出校している。夏休みも、部活動の指導やプール指導、研修などに追われ、在宅できるのは半数に満たない。

そうしてがんばっているのに、中学校に問題が生じると、教師の努力不足が指摘される。その結果、教師の疲労が蓄積される。調査結

果に示されているように、多くの教師は心身ともに不調を訴えている。

部活動を学校から切り離す

教師が疲れていると授業を十分にできないし、部活動の指導もおぼつかなくなる。それだけに、教師たちの疲労をどうしたら軽減できるかが重要になる。

少なく見積もっても、中学教師たちは授業、部活動、生徒指導の3つの領域をカバーしている。それぞれに大事な仕事だと思うが、正直なところ、この3つを1人でカバーするから過労になる。

中学生の時期に、集団の中で運動をする意義は大きい。体が丈夫になるだけでなく、集団の中での行動の仕方を身につけていく。もちろん、運動は多くの生徒が熱中できる対象でもある。したがって、部活動的な働きが中学生の人間形成にとって大きな意味を持っているのはわかる。

しかし欧米の学校では、日本のように学校が部活動の中心になっていることは少ない。そして、バスケットや野球などの運動は地域のサークルで展開されることが多い。

日本でも、柔・剣道や水泳、体操、サッカーなどは地域のクラブが発展している。それに学校の校庭を使い社会体育の形で、地域の人が生徒の指導にあたっている場合も増加し

ている。

こうした機運を強めていけば、中学教師を部活動の指導から切り離すのはそれほど難問ではない。校庭を利用する場合でも、地域のリーダーに指導を頼み、教師は顧問程度に参与するようにすれば、教師の負担は軽減される。

複眼の見方を持った教師に

中学教師にとって、第1の仕事は授業であろう。教科についての教材研究を進め、授業展開を工夫する。そして、魅力的な授業を展開する。それが教師としての務めであろう。

しかしそれと同時に、授業をする相手は中学生だ。その中学生について、基本的な理解を持ってないと、授業が成り立ちにくくなる。特に、現在の中学生は一昔前の中学生と様変わりをしているので、中学生についての基本的な理解を深めることが中学教師の責務となる。

中学生の心理や行動についてのよき理解者であると同時に、教科のスペシャリストでもある。そうした複眼の見方を持った教師を心がけてはどうかと思う。

生徒理解を深めるとは、すべての教師がカウンセラーになれというのではない。中学生の熱中する歌やグループに精通するのもいいし、マンガにくわしいでもかまわない。中

学生のおしゃれなら任せておけというものたのもしい。どれでもいいから、中学生理解について、その先生なりの見方を持った教師であってほしい。

校外研修を積極的に奨励しよう

教師の生活から部活動を切り離し、中学生文化に関心を持ってもらう。そうすれば、教師も多少の時間のゆとりを持てる。教師をみていると、学校内にいる時間が長すぎ、社会から遮断されている。その結果、二昔前の生徒観を持ち続け、時代錯誤の校則で生徒を縛ったりすることになる。

校内にこもってはいは中学生を理解できない。週に1度でいい。コンビニやゲームセンターをひやかす。あるいは、大きな書店で青少年関係の本を探す。もちろん、夜間の大学院に入学して専門を深めるのもいい。他校の教師仲間と自主的な研究会を持つのも勧めたい。とにかく、教師たちに校外研修の時間を持たせたいのである。これまで研修というと、校内研修や行政命令による研修が多かった。これでは本当の研修にならない。多くの教師はまじめなので、時間を与えれば、自主的な研修に多くの時間を割こう。そうした個性的な研修を通して、個性的な教師が育ってくる。教師を信じて、校外研修を積極的に奨励してほしいと思う。

アンケートのお願い

秋も深まってまいりましたが、先生におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。

さて、子どもたちの心見えにくさがよく話題にのぼる昨今ですが、とくに中学生は扱いにくい世代ともいわれています。そしてこの10年来、中学生への接し方が難しくなったと思われまます。

このアンケートは、中学生の生徒さんを相手に苦勞なさっている中学校の先生方の気持ちをお聞きしたいと思い、作成したものです。ご自由にお気持ちをお書きいただき、無記名のままお送りください(学校ごとにおとりまとめいただく必要はありません)。

分析結果は調査レポート『モノグラフ・中学生の世界』vol.68(ベネッセ教育研究所2001年6月刊行予定)に掲載し、中学教育のあり方を考える上で貴重な資料とさせていただきます。集計結果は統計的に処理いたしますので、先生にご迷惑をおかけすることは決してございません。なお調査対象校は、全国の学校一覧よりランダムに抽出させていただきます。

ご多用中のところ大変恐縮ですが、ぜひご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご回答いただきましたアンケートは、この用紙にはさみ込んでおります封筒で、無記名にて、切手を貼らずに11月6日までにご返送いただければ幸いです。なお、ご協力いただいた方には、些少なながら図書券を、またご希望の方には本アンケートの分析結果を掲載します『モノグラフ・中学生の世界』vol.68をお送りしますので、同じくはさみ込んでおります別紙にご住所、お名前などをご記入の上、アンケートと同送いただくかFAXにて、ベネッセ教育研究所までお送りください。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

2000年10月

東京成徳短期大学教授
教育学博士
深谷 昌志

資料1 調査票見本

③ あなたの学校では、次のようなことをしていますか。

	よく している	わりと している	ときどき している	ほとんど しない	ぜんぜん しない
1. 朝、校門の前で生徒の服装・頭髪、遅刻を チェックする……………	1	2	3	4	5
2. 昼休みや放課後に校舎内外を見回る……………	1	2	3	4	5
3. 持ち物検査をする……………	1	2	3	4	5
4. 授業から帰った先生が、職員室で授業中の 生徒の様子を話す……………	1	2	3	4	5
5. 問題を起こした生徒の家庭訪問は、担任 だけでなく他の先生も一緒に行く……………	1	2	3	4	5
6. 警察に校外での生徒の様子や補導状況を 聞きに行く……………	1	2	3	4	5

④ 最近のあなたのクラスや学校の生徒たちには、次のような生徒が多いと思いますか。

	とても多く いる	わりと いる	少し いる	あまり いない	ぜんぜん いない
1. 授業に遅れてくる生徒……………	1	2	3	4	5
2. 姿勢や学習態度が悪い生徒……………	1	2	3	4	5
3. 授業中、わかっているが発言しない生徒……………	1	2	3	4	5
4. 先生をバカにしている生徒……………	1	2	3	4	5
5. 先生に反抗的な生徒……………	1	2	3	4	5
6. 先生を無視する生徒……………	1	2	3	4	5
7. ストレスがたまっている生徒……………	1	2	3	4	5
8. 疲れていて元気のない生徒……………	1	2	3	4	5
9. 家庭で基本的なことがしつけられて いない生徒……………	1	2	3	4	5
10. 親からの愛情不足の生徒……………	1	2	3	4	5
11. 自己中心的で、まわりの人のことを 考えない生徒……………	1	2	3	4	5
12. 進んで働いたり、手伝ったりすることを いやがる生徒……………	1	2	3	4	5
13. 時間の観念のない生徒……………	1	2	3	4	5
14. 物を粗末にする生徒……………	1	2	3	4	5
15. 授業中、席を立ったり、教室を出たり 入ったりする生徒……………	1	2	3	4	5

資料1 調査票見本

⑤ あなたは、中学教師として、次のようなことを心がけていますか。

- | | とても
している | わりと
している | 少し
している | あまり
していない | ぜんぜん
していない |
|--|-------------|-------------|------------|--------------|---------------|
| 1. 生徒の名前を覚える | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 休み時間など教室に行って、生徒と話をする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 教科担当に授業中の生徒の様子を聞く | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. 生徒会活動や委員会活動に熱心にかかわる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. 生徒からの相談に適切なアドバイスをする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. 教材研究を熱心にする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. わかりやすい授業をする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. 評価は結果より努力する過程を重視する | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9. 教科書にこだわらず、多様な資料を使った授業をする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 10. 部活動の専門的技術や指導、審判ができる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 11. 進路指導に詳しい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 12. 教育関係の本を定期的に購読する | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 13. 中学生が興味を持つテレビ番組、雑誌、マンガなどに
目を通す | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 14. 学校以外の研究会や講演会に積極的に参加する | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 15. 保護者との良好な関係を維持する | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

Ⅱ. 教育についての一般的なご意見をお尋ねします。

⑥ 生徒たちは、以下のようなことをどのくらい先生に望んでいるとお考えですか。

- | | とても
望んで
いる | かなり
望んで
いる | やや
望んで
いる | やや
望んで
いない | あまり
望んで
いない | ぜんぜん
望んで
いない |
|---------------------------------------|------------------|------------------|-----------------|------------------|-------------------|--------------------|
| 1. 教え方のうまい先生 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 2. 熱心に授業をしてくれる先生 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 3. ユーモアのある先生 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 4. 専門についての知識のしっかりとした先生 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 5. クラブの指導に熱心な先生 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 6. 人間としての教養の豊かな先生 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7. 生徒の個人的な悩みの相談にのってくれる先生 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 8. 教育についてのしっかりとした信念を持って
いる先生 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 9. ひとりの人間としても尊敬できる先生 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

資料1 調査票見本

7] それでは、先生方の中に次のような先生は、仮に先生方が10人いるとした場合、どれくらいいるとお考えですか。

	10人中 10人とも	7～ 8人	5～ 6人	3～ 4人	1～ 2人	1人も いない
1. 教え方のうまい先生	1	2	3	4	5	6
2. 熱心に授業をしてくれる先生	1	2	3	4	5	6
3. ユーモアのある先生	1	2	3	4	5	6
4. 専門についての知識のしっかりとした先生	1	2	3	4	5	6
5. クラブの指導に熱心な先生	1	2	3	4	5	6
6. 人間としての教養の豊かな先生	1	2	3	4	5	6
7. 生徒の個人的な悩みの相談にのってくれる先生	1	2	3	4	5	6
8. 教育についてのしっかりとした信念を持って いる先生	1	2	3	4	5	6
9. ひとりの人間としても尊敬できる先生	1	2	3	4	5	6

8] あなた自身は、生徒からどのような先生だと思われるとお考えですか。

	とてもそう 思われて いる	かなりそう 思われて いる	ややそう 思われて いる	ややそう 思われて いない	かなりそう 思われて いない	まったくそう 思われて いない
1. 教え方のうまい先生	1	2	3	4	5	6
2. 熱心に授業をしてくれる先生	1	2	3	4	5	6
3. ユーモアのある先生	1	2	3	4	5	6
4. 専門についての知識のしっかりとした先生	1	2	3	4	5	6
5. クラブの指導に熱心な先生	1	2	3	4	5	6
6. 人間としての教養の豊かな先生	1	2	3	4	5	6
7. 生徒の個人的な悩みの相談にのってくれる先生	1	2	3	4	5	6
8. 教育についてのしっかりとした信念を持っている 先生	1	2	3	4	5	6
9. ひとりの人間としても尊敬できる先生	1	2	3	4	5	6

9] また、あなた自身は、以下のようなことについてどれくらい自信をお持ちですか。

	とても 自信がある	かなり 自信がある	やや 自信がある	やや 自信がない	あまり 自信がない	まったく 自信がない
1. 教材研究を深める	1	2	3	4	5	6
2. 生徒の心理を研究する	1	2	3	4	5	6
3. 授業のしかたを研究する	1	2	3	4	5	6

資料1 調査票見本

- | | | | | | | |
|---------------------------|--------------|--------------|-------------|-------------|--------------|---------------|
| | とても
自信がある | かなり
自信がある | やや
自信がある | やや
自信がない | あまり
自信がない | まったく
自信がない |
| 4. 一般的な教養を深める | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 5. 教育についての見方を深める | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 6. 学級集団をリードする技術を高める | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7. 社会についての見方を深める | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 8. 人柄を魅力的にする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

10 「中学校の先生」という仕事は、社会的にどのような評価を受けているとお感じですか。

- | | | | | | |
|------------------------|----------------------|------------|--------------|-----------------------|------------------------|
| | そう評価
されている
と思う | まあ
そう思う | なんとも
いえない | あまりそう
評価されて
いない | まったくそう
評価されて
いない |
| 1. 社会的に尊敬される仕事だ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. のん気で気楽な仕事だ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 経済的に恵まれている仕事だ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. 精神的に苦勞の多い仕事だ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. やりがいのある仕事だ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. 時間的なゆとりのある仕事だ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

11 個人差があると思いますが、まがりなりにも「教師としてかっこうがつくまで」には、大学を出てからどれくらいの教職経験が必要だとお感じですか。

- | | | | | | | | |
|--------------|------|-----|-----|-------|-------|-------|--------------|
| 大学を出て
すぐに | 3か月後 | 半年後 | 1年後 | 2～3年後 | 4～5年後 | 7～8年後 | 10年以上
たって |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |

12 それでは、これも個人差があると思いますが、いろいろな面で「一人前の教師」になるのには、大学を出てから何年くらいの教職経験が必要だとお感じですか。

- | | | | | | | |
|--------------|-----|-------|-------|-------|------|--------------|
| 大学を出て
すぐに | 1年後 | 2～3年後 | 4～5年後 | 7～8年後 | 10年後 | もっと
たってから |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |

13 先生方をごらんになっていて、教職の現状は1～6のどれに近いとお考えですか。
(を1つだけつけてください)

1. 賃金をもらう労働者
2. 聖職者としての性格の強い職業
3. 専門職としての地位の確立した専門職
4. 教育技術売り物にする教育技術者
5. 会社員と同じようなサラリーマン
6. 専門職を目指してはいるが現状としてはセミ専門職

14 それでは、今後教職は1～6のどの方向に進むのが望ましいとお考えですか。
 (を1つだけつけてください)

- 1. 賃金をもらう労働者
- 2. 聖職者としての性格の強い職業
- 3. 専門職としての地位の確立した専門職
- 4. 教育技術売り物にする教育技術者
- 5. 会社員と同じようなサラリーマン
- 6. 専門職を目指してはいるが現状としてはセミ専門職

・学級の荒れなどについてお尋ねします。

15 10年前に比べて、次のような生徒は増えていると思いますか。

		とても 増えている	少し 増えている	変わらない	少し 減っている	かなり 減っている
1. キレやすい.....	1	2	3	4	5	
2. ルールを守らない.....	1	2	3	4	5	
3. 時間にルーズ.....	1	2	3	4	5	
4. 服装がだらしない.....	1	2	3	4	5	
5. 頭髪を加工する.....	1	2	3	4	5	
6. 物を粗末に扱う.....	1	2	3	4	5	
7. がまんできない.....	1	2	3	4	5	
8. 教師に反抗的.....	1	2	3	4	5	
9. 自己中心的でまわりのことを考えない.....	1	2	3	4	5	
10. 姿勢が悪い.....	1	2	3	4	5	
11. イライラしている.....	1	2	3	4	5	
12. 疲れていて元気がない.....	1	2	3	4	5	
13. ストレスがたまっている.....	1	2	3	4	5	
14. 家庭で基本的なことがしつけられていない.....	1	2	3	4	5	
15. 親からの愛情不足.....	1	2	3	4	5	
16. まわりの人とうまくコミュニケーションが とれない.....	1	2	3	4	5	
17. クラスになじめない.....	1	2	3	4	5	

資料1 調査票見本

⑩ あなたの学校（クラス）では、次のような生徒の姿を見かけることが多いですか。

- | | いつも
見かける | かなり
見かける | やや
見かける | たまに
見かける | ぜんぜん
見かけない |
|---|-------------|-------------|------------|-------------|---------------|
| 1. 授業が始まって教科書を出さない…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 授業中、教室を出たり入ったりしている…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 授業中、注意されてもおしゃべりをやめない…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. 授業中、教室の後ろの方で、寝ころんだり
座ったりしている…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. 授業中、アメやガムをこっそり食べている…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. 授業中、マンガや小説を読んでいる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. 授業中、手紙や交換日記を書いている…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. 授業中、ポータブルプレーヤーなどで
音楽を聴いている…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9. 机や教室の壁に落書きがあるなど教室内が
汚い…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 10. 友だちの発言をなじったり笑ったりする…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 11. 先生の指示や質問を無視する…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 12. 先生が言ったことのあげあしをとる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 13. 先生の注意や叱責に反抗する…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 14. クラスにまとまりがない…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 15. 先生を批判するグループがある…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 16. 先生に対抗して、クラスが1つに
まとまっている…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

⑪ では、「学級が荒れ、授業ができない」といわれるクラスの担任や教科担任は、あなたからみてどんな先生だと思いですか。

- | | とても
あてはまる | わりと
あてはまる | 少し
あてはまる | あまりあて
はまらない | ぜんぜんあて
はまらない |
|------------------------------|--------------|--------------|-------------|----------------|-----------------|
| 1. 宿題をたくさん出す…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 自由時間ばかりとる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 授業中、生徒がしゃべっていても注意しない…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. 忘れ物をすると厳しく叱る…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. 授業以外の仕事が多く、自習が多い…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. 運動が苦手…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. まじめで熱心すぎる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. 何にでもいい加減…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9. 決まりに厳しすぎる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

資料1 調査票見本

- | | とても
あてはまる | わりと
あてはまる | 少し
あてはまる | あまりあて
はまらない | ぜんぜんあて
はまらない |
|--|--------------|--------------|-------------|----------------|-----------------|
| 10. 生徒を叱れない…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 11. 授業がつまらなく、わかりにくい…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 12. 部活動に熱心…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 13. 生徒指導上問題のある生徒や問題を起こした
生徒をきちんと指導できない…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 14. 係の仕事や委員会をサボっても注意しない…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 15. 問題が起こると、生徒の責任にする…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 16. ひいきしたり、不公平な扱いをする…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 17. 自分勝手…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 18. 社会性がない…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 19. 女子だけ、または男子だけを強く叱る…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 20. 生徒をあまりほめない…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 21. 生徒の気持ちがわからない…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

18 「授業は10年くらい前にも荒れて大変だった」という先生もおられますが、あなたはどうか感じですか。

- | 今の方が
ぐんと大変 | 今の方が
かなり大変 | 今の方が
やや大変 | 昔も今も
変わらない | 昔の方が
やや大変 | 昔の方が
大変 |
|---------------|---------------|--------------|---------------|--------------|------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

。学級担任に関する設問です。

【19～20は、学級担任をなさったご経験のある方だけお答えください。】

19 1) あなたは、これまでに担任したクラスで、学級経営がうまくいかなかった経験がありますか。

- | 1度も
ない | 1度だけ
ある | 2～3回
ある | 4～5回
ある | 6～7回
ある | それ以上
ある |
|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

【1度でも学級経営がうまくいかなかった経験をお持ちの方にお尋ねします。】

2) 学級経営がうまくいかなかった原因は、主に何だと思いますか。

- | | とても
そう思う | わりと
そう思う | 少し
そう思う | あまりそう
思わない | ぜんぜんそう
思わない |
|------------------------------------|-------------|-------------|------------|---------------|----------------|
| 1. クラスの生徒数が多かった…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 担任した経験の少ない学年だった…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 教師になりたての頃で、うまく指導
できなかった…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

資料1 調査票見本

- | | とても
そう思う | わりと
そう思う | 少し
そう思う | あまりそう
思わない | ぜんぜんそう
思わない |
|---------------------------------------|-------------|-------------|------------|---------------|----------------|
| 4. 教師として指導力が不足していた…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. 生徒との相性が悪かった…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. 以前からいろいろと問題のある学年・
クラスだった…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. 保護者が自分の教育方針に協力的で
なかった…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. クラスに問題のある生徒や秩序を乱す
グループがあった…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9. 自分のプライベートな問題があった…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 10. 同じ学年の教師と意見が合わなかった…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

20 あなたは、学級担任をしているとき、次のようなことで悩んだことがありますか。

- | | よく
ある | わりと
ある | 少し
ある | あまり
ない | ぜんぜん
ない |
|---------------------------|----------|-----------|----------|-----------|------------|
| 1. クラス経営がうまくいかない…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 生徒とうまくいかない…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 問題行動を起こす生徒がいる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. クラスにいじめがある…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. 生徒同士の仲が悪い…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. 不登校の生徒がいる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. 勉強の遅れた生徒がいる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. クラスのテストの平均点が悪い…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9. 授業をかき乱す生徒がいる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 10. 他のクラスの担任と意見が合わない…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 11. 保護者からクレームがくる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

【21～23は、現在学級担任をなさっている方だけお答えください。】

21 あなたは、学級担任としてどれくらい信頼されていると思いますか。

- | | とても
信頼されて
いる | わりと
信頼されて
いる | 少し
信頼されて
いる | あまり
信頼されて
いない | ぜんぜん
信頼されて
いない |
|-------------------|--------------------|--------------------|-------------------|---------------------|----------------------|
| 1. クラスの生徒から…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. クラスの保護者から…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 同僚の教師から…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. 管理職から…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

22 あなたが担任しているクラスは、学級経営がうまくいっていると思いますか。

とてもうまく わりとうまく 少しうまく あまりうまく ぜんぜんうまく
 1 2 3 4 5
 1———2———3———4———5

23 あなたは、学級担任をしてよかったと思いますか。

とても わりと 少し あまり ぜんぜん
 よかった よかった よかった よくなかった よくなかった
 1 2 3 4 5
 1———2———3———4———5

．個人的なお気持ちをお尋ねします。

24 あなたは、次のような悩みをどのくらい感じていますか。

		とても 感じている	かなり 感じている	あまり 感じていない	まったく 感じていない
1．年間の授業時数が足りない……………	1	2	3	4	
2．生徒が騒々しくて、授業を中断させられる……………	1	2	3	4	
3．生徒がしらけている……………	1	2	3	4	
4．生徒の学力の差が大きくて、授業がやりにくい……………	1	2	3	4	
5．忘れ物や宿題を忘れる生徒が多い……………	1	2	3	4	
6．授業の準備が十分にできていない……………	1	2	3	4	
7．生徒の考えや行動についていけない……………	1	2	3	4	

25 最近、あなたは次のように感じることはありませんか。

		とても 感じる	わりと 感じる	少し 感じる	あまり 感じない	ぜんぜん 感じない
1．食欲がない……………	1	2	3	4	5	
2．何となく体がだるい……………	1	2	3	4	5	
3．疲れやすい……………	1	2	3	4	5	
4．やる気がない……………	1	2	3	4	5	
5．頭がボーっとする……………	1	2	3	4	5	
6．イライラする……………	1	2	3	4	5	
7．肩がこる……………	1	2	3	4	5	
8．立ちくらみやめまいがする……………	1	2	3	4	5	

資料1 調査票見本

26 あなたは、どういうタイプの人ですか。

	とても そう	わりと そう	少し そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
1. 困ったとき、すぐ他の先生に相談できる……………	1	2	3	4	5
2. 自分なりの教育観を持っている……………	1	2	3	4	5
3. 運動会や遠足など生徒とふれあう行事が好き……………	1	2	3	4	5
4. 管理職や同僚と意見が違ってても自分の意見を 通す……………	1	2	3	4	5
5. 職員会議や学年会では積極的に発言する……………	1	2	3	4	5
6. 同僚との飲み会やカラオケなどのつきあいは よい……………	1	2	3	4	5
7. 規則や約束は必ず守る……………	1	2	3	4	5
8. 家庭に帰っても生徒の問題が忘れられない……………	1	2	3	4	5
9. 趣味やプライベートな時間が充実している……………	1	2	3	4	5
10. まわりの人の目が気になる……………	1	2	3	4	5

27 あなたは、学級指導と教科指導のどちらに力を入れていますか。

1. かなり学級指導に力を入れている
2. どちらかという学級指導に力を入れている
3. 両方ともに力を入れている
4. どちらかという教科指導に力を入れている
5. かなり教科指導に力を入れている
6. 両方とも力を入れていない

28 あなたは、次のような意見をどう思いますか。

	とても そう思う	わりと そう思う	少し そう思う	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
1. 学級の生徒数をもっと少なくする方がよい……………	1	2	3	4	5
2. 学校以外の職場を経験した方が教師の 指導力や視野が広がる……………	1	2	3	4	5
3. 生徒や保護者の考え方が変わってきている から、教師も変わっていく必要がある……………	1	2	3	4	5
4. 教師は研修をたくさん受けて、資質の向上 をはかるべきだ……………	1	2	3	4	5
5. 教科書の検定や学習指導要領をなくした方 がよい……………	1	2	3	4	5
6. 教育委員会や文部省はもっと縮小し、学校に 教育の責任を任せるべきだ……………	1	2	3	4	5

資料1 調査票見本

- | | とても
そう思う | わりと
そう思う | 少し
そう思う | あまり
そう思わない | ぜんぜん
思わない |
|---|-------------|-------------|------------|---------------|--------------|
| 7. 教師の勤務条件は必ずしも労働基準法が
守られなくても仕方ない…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. 体罰も時には有効な指導の1つである…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9. 勉強は塾、心の問題はスクールカウンセラー
では、教師のやりがいがない…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 10. 校長の権限を強くし、独自の学校経営が
できるようにするべきだ…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

29 あなたは、次の制度について、どのように考えますか。

- | | とても
賛成 | やや
賛成 | どちらとも
いえない | やや
反対 | とても
反対 |
|--------------------------|-----------|----------|---------------|----------|-----------|
| 1. 完全学校週5日制の実施…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 「総合的な学習の時間」の実施…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 選択教科の拡大…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. 必修教科の削減…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. ティームティーチングでの教科指導…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. 習熟度別クラス編成…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. スクールカウンセラーの配置…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. 学校評議員制度の導入…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9. 学校選択の自由の実施…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 10. 中高一貫教育の実施…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 11. 教員の人事考課制度の採用…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 12. 民間人の校長への登用…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

VI. 最後に、あなた自身のことをもう少しお尋ねします。

30 あなたが、教職につこうとお思いになったのは、いつ頃でしょうか。

1. 小学校低学年の頃から
2. 小学校高学年になってから
3. 13～15歳（中学生の頃）
4. 16～18歳（高校生の頃）
5. 短大または大学へ入学してから
6. 短大または大学の卒業が近づいてから

36) あなたの勤務している学校や学区の特徴についてお尋ねします。

1) 学校の所在地 [] 都・道・府・県

2) あなたの学校のクラス数は3学年合わせていくつですか。

3クラス 未満	3～5 クラス	6～8 クラス	9～11 クラス	12～14 クラス	15～17 クラス	18～20 クラス	21クラス 以上
1	2	3	4	5	6	7	8

3) 学区の特徴を教えてください。

1. 商業地域 2. 工業地域 3. 農山村地域 4. 漁業・港町
5. 新興住宅街 6. マンションなどの集合住宅街 7. 昔からの住宅街

37) あなた自身のふだんの生活についてお尋ねします。

(勤務のある平日の平均的な日を考えてお答えください)

1) 学校には始業時刻のおよそ何分前に着きますか。

1. 5分前 2. 10～15分前 3. 20～30分前 4. 40～50分前
5. 1時間前 6. 1時間半前 7. それ以上

2) 通勤時間はだいたいどれくらいですか。

1. 15分以内 2. 30分くらい 3. 45分くらい 4. 1時間くらい
5. 1時間半くらい 6. 2時間くらい 7. それ以上

3) 退勤時刻はおよそ何時頃ですか。

1. 5時以前 2. 5時半頃 3. 6時頃 4. 6時半頃
5. 7時頃 6. 8時頃 7. 9時頃 8. 9時以降

～以上で終わりです。長い間ありがとうございました。～

資料2 基礎集計表

単位：サンプル数以外はパーセント

質問項目		全体	性別		
			男性	女性	
サンプル数（性別無記入14）		792	460	318	
1 あなた自身のこと	年齢	1. 24歳以下	3.5	2.2	5.7
		2. 25～29歳	11.9	9.2	16.4
		3. 30～34歳	15.7	13.5	18.9
		4. 35～39歳	20.6	22.7	17.9
		5. 40～44歳	19.0	21.4	15.7
		6. 45～49歳	13.4	15.5	10.4
		7. 50～54歳	9.5	8.1	10.7
		8. 55歳以上	6.4	7.6	4.4
	職名	1. 校長	2.9	4.8	0.0
		2. 教頭	6.7	10.2	1.3
		3. 教諭	79.4	82.0	75.7
		4. 養護教諭	5.1	0.0	12.6
		5. その他	5.9	3.0	10.4
	教職経験年数	1. 4年以下	11.0	8.5	15.2
		2. 5～9年	15.1	12.0	20.3
		3. 10～14年	19.0	18.3	19.9
		4. 15～19年	19.5	24.1	13.3
		5. 20～24年	17.0	18.0	14.6
		6. 25～29年	8.9	9.1	8.2
		7. 30年以上	9.6	10.0	8.5
	経験校数	1. 1校	7.8	6.1	10.4
		2. 2校	19.1	18.8	20.3
		3. 3校	22.2	22.3	21.5
		4. 4校	18.6	19.9	17.1
		5. 5校	14.4	13.1	15.8
		6. 6校	7.6	7.4	7.3
		7. 7校以上	10.4	12.4	7.6
	これまでの学級担任の経験	1. 4回以下	22.5	12.2	39.7
		2. 5～9回	21.8	21.6	22.1
		3. 10～14回	26.0	31.4	17.6
		4. 15～19回	19.2	24.5	10.7
		5. 20～24回	6.2	6.3	5.5
		6. 25～29回	3.2	2.8	3.1
		7. 30回以上	1.2	1.1	1.4
	出身大学	1. 教育系の大学	38.1	42.0	32.5
		2. 国公立4年制大学(教育系を除く)	13.8	15.2	12.4
3. 私立4年制大学		39.0	39.1	37.6	
4. 短期大学		6.0	1.1	13.4	
5. 大学院		1.4	2.0	0.6	
6. その他		1.8	0.7	3.5	
結婚・子どもの有無	1. 未婚	22.3	15.5	32.7	
	2. 既婚・子どもなし	10.1	9.2	11.6	
	3. 既婚・子どもあり	67.1	79.4	55.0	
	4. その他	0.5	0.4	0.6	

資料2 基礎集計表

質問項目			全体	性別		
				男性	女性	
①	あなた自身のこと	担当教科	1. 国語	14.1	9.1	22.4
			2. 社会	13.6	19.2	4.3
			3. 数学	15.4	20.3	7.6
			4. 理科	11.7	15.3	6.1
			5. 音楽	6.3	2.7	12.3
			6. 美術	3.3	3.2	3.2
			7. 保健体育	10.7	12.1	8.3
			8. 技術・家庭	5.5	4.8	6.9
			9. 英語	11.3	7.5	17.0
			10. 2教科担当	2.2	3.0	1.1
			11. その他	5.9	2.7	10.8
		校務分掌	1. 教務	14.9	17.5	11.3
			2. 生活(生徒指導)	17.8	22.3	11.3
			3. 進路(学習)	13.9	12.4	15.5
			4. 保健	8.1	2.3	17.0
			5. 研究	6.9	7.4	6.4
			6. 庶務	6.4	4.6	9.4
			7. その他	32.0	33.5	29.1
		主任の有無	1. 教務	11.5	16.3	3.6
			2. 生活(生徒指導)	6.3	8.7	1.8
			3. 進路(学習)	6.5	6.6	6.7
			4. 保健	8.0	1.4	20.0
			5. 研究	6.7	8.0	4.8
			6. 庶務	2.4	1.4	3.6
			7. 学年	13.7	17.0	8.5
			8. その他	44.8	40.8	50.9
		部活動	1. 運動部の顧問をしている	61.6	72.4	46.2
			2. 文化部の顧問をしている	17.2	8.6	29.8
			3. 顧問はしていない	21.2	19.0	24.0
②	学校の状況	机やいすに落書きや傷がある	1. よくある	22.7	20.2	26.4
			2. ときどきある	43.3	40.0	47.8
			3. あまりない	30.6	35.2	24.2
			4. まったくない	3.4	4.6	1.6
		下足箱が蹴飛ばされてゆがんでいる	1. よくある	4.8	4.2	5.4
			2. ときどきある	13.7	12.3	15.9
			3. あまりない	35.9	36.5	34.6
			4. まったくない	45.5	47.0	44.1
		傘や自転車を無断使用する	1. よくある	7.1	5.9	8.5
			2. ときどきある	29.2	27.9	31.5
			3. あまりない	37.8	39.0	35.6
			4. まったくない	25.8	27.2	24.3
		お金や靴が盗まれる	1. よくある	4.9	4.1	5.7
			2. ときどきある	26.5	24.1	30.3
			3. あまりない	39.4	41.5	36.3
			4. まったくない	29.1	30.2	27.8
		非常ベルが鳴る	1. よくある	3.7	2.8	4.7
			2. ときどきある	10.5	9.8	11.7
			3. あまりない	27.7	25.0	31.3
			4. まったくない	58.1	62.4	52.2

資料2 基礎集計表

質問項目			全体	性別		
				男性	女性	
2	学校の状況	トイレのドアや手すりが壊される	1. よくある	5.6	5.2	6.0
			2. ときどきある	21.1	20.2	22.4
			3. あまりない	38.6	39.3	37.9
			4. まったくない	34.8	35.2	33.8
		トイレトペーパーが教室や廊下に散乱している	1. よくある	2.3	1.7	2.8
			2. ときどきある	9.9	8.5	11.9
			3. あまりない	28.2	30.1	25.5
			4. まったくない	59.6	59.6	59.7
		黒板に先生や友だちの悪口が書かれる	1. よくある	2.0	2.2	1.6
			2. ときどきある	12.4	10.4	15.1
			3. あまりない	47.1	48.3	46.2
			4. まったくない	38.5	39.1	37.1
先生がののしられたり暴言を吐かれたりする	1. よくある	5.1	3.7	6.9		
	2. ときどきある	18.6	16.1	22.1		
	3. あまりない	41.6	40.4	43.8		
	4. まったくない	34.8	39.8	27.1		
先生を挑発する	1. よくある	3.7	2.8	4.7		
	2. ときどきある	15.7	12.4	20.4		
	3. あまりない	40.3	37.1	45.0		
	4. まったくない	40.4	47.6	29.9		
先生がワイシャツを掴まれたり蹴られる	1. よくある	1.1	1.1	0.9		
	2. ときどきある	3.9	3.5	4.1		
	3. あまりない	23.0	20.7	26.9		
	4. まったくない	71.9	74.8	68.0		
先生の車や私物が傷つけられたり盗まれる	1. よくある	0.8	0.2	1.3		
	2. ときどきある	5.7	4.3	7.3		
	3. あまりない	25.3	25.2	25.6		
	4. まったくない	68.2	70.2	65.8		
トイレや校舎の隅にたばこの吸いながら落ちている	1. よくある	9.9	8.9	11.4		
	2. ときどきある	22.9	19.8	27.1		
	3. あまりない	36.4	35.7	37.5		
	4. まったくない	30.8	35.7	24.0		
グラウンドや花壇で自転車を乗り回す	1. よくある	3.2	3.0	3.2		
	2. ときどきある	4.7	2.8	7.6		
	3. あまりない	18.3	18.7	17.4		
	4. まったくない	73.8	75.4	71.9		
授業ができないので、校長や保護者の参観を頼む	1. よくある	1.5	1.3	1.9		
	2. ときどきある	4.7	3.7	6.0		
	3. あまりない	12.4	12.4	12.3		
	4. まったくない	81.4	82.6	79.9		
3	生徒指導の状況	朝、校門の前で生徒の服装・頭髪、遅刻をチェックする	1. よくしている	20.6	18.7	23.0
			2. わりとしている	11.6	12.8	9.7
			3. ときどきしている	12.1	11.7	12.6
			4. ほとんどしない	19.2	19.1	19.2
			5. ぜんぜんしない	36.5	37.6	35.5
	昼休みや放課後に校舎内外を見回る	1. よくしている	14.1	13.1	15.6	
		2. わりとしている	17.0	16.6	17.5	
		3. ときどきしている	32.1	31.5	32.7	
		4. ほとんどしない	23.2	23.9	21.9	
		5. ぜんぜんしない	13.6	14.9	12.4	

資料2 基礎集計表

質問項目			全体	性別		
				男性	女性	
3	生徒指導の状況	持ち物検査をする	1. よくしている	0.3	0.4	0.0
			2. わりとしている	0.5	0.4	0.6
			3. ときどきしている	6.3	5.7	7.3
			4. ほとんどしない	28.0	27.4	29.7
			5. ぜんぜんしない	64.8	66.1	62.5
	授業から帰った先生が、職員室で授業中の生徒の様子を話す	1. よくしている	25.2	20.4	32.1	
		2. わりとしている	38.9	37.6	40.6	
		3. ときどきしている	31.3	37.4	22.9	
		4. ほとんどしない	3.9	4.1	3.5	
		5. ぜんぜんしない	0.6	0.4	1.0	
	問題を起こした生徒の家庭訪問は、担任だけでなく他の先生も一緒に行く	1. よくしている	13.0	12.9	12.7	
		2. わりとしている	24.1	25.1	22.3	
		3. ときどきしている	36.5	36.4	37.3	
		4. ほとんどしない	20.3	19.2	22.0	
		5. ぜんぜんしない	6.1	6.5	5.7	
警察に校外での生徒の様子や補導状況を聞きに行く	1. よくしている	9.9	9.4	10.2		
	2. わりとしている	14.9	15.3	14.6		
	3. ときどきしている	33.8	34.7	32.5		
	4. ほとんどしない	24.3	26.0	22.0		
	5. ぜんぜんしない	17.0	14.6	20.7		
4	学級（学校）の生徒の状況	授業に遅れてくる生徒	1. とても多くいる	4.9	3.7	6.9
			2. わりといえる	13.2	10.7	16.1
			3. 少しいる	31.9	31.2	33.4
			4. あまりいない	37.6	40.8	33.4
			5. ぜんぜんいない	12.3	13.5	10.1
	姿勢や学習態度が悪い生徒	1. とても多くいる	4.4	3.7	5.7	
		2. わりといえる	17.4	14.4	21.1	
		3. 少しいる	43.2	42.1	46.1	
		4. あまりいない	30.3	34.3	24.0	
		5. ぜんぜんいない	4.7	5.5	3.2	
	授業中、わかっているも発言しない生徒	1. とても多くいる	11.7	8.8	16.2	
		2. わりといえる	49.8	52.5	45.5	
		3. 少しいる	31.5	31.1	32.2	
		4. あまりいない	6.0	6.3	5.4	
		5. ぜんぜんいない	1.0	1.3	0.6	
	先生をバカにしている生徒	1. とても多くいる	2.7	2.0	3.8	
		2. わりといえる	11.6	9.6	14.0	
		3. 少しいる	38.1	35.5	41.6	
		4. あまりいない	39.4	43.4	34.0	
		5. ぜんぜんいない	8.3	9.4	6.7	
	先生に反抗的な生徒	1. とても多くいる	1.5	1.3	1.9	
		2. わりといえる	8.3	5.9	11.1	
		3. 少しいる	33.5	30.4	38.6	
		4. あまりいない	42.7	44.6	39.6	
5. ぜんぜんいない		14.0	17.7	8.9		
先生を無視する生徒	1. とても多くいる	1.3	1.3	1.3		
	2. わりといえる	5.1	3.7	6.3		
	3. 少しいる	26.0	23.4	30.4		
	4. あまりいない	48.5	51.0	45.3		
	5. ぜんぜんいない	19.1	20.6	16.8		

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性別			
			男性	女性		
4	学級(学校)の生徒の状況	ストレスがたまっている生徒	1. とても多くいる	10.2	7.9	13.9
			2. わりといる	36.7	33.0	41.1
			3. 少しいる	42.1	46.8	36.4
			4. あまりいない	9.8	11.2	7.0
			5. ぜんぜんいない	1.3	1.1	1.6
		疲れていて元気のない生徒	1. とても多くいる	7.4	5.0	11.0
			2. わりといる	32.8	30.8	35.0
			3. 少しいる	47.1	50.0	43.8
			4. あまりいない	11.9	13.1	9.8
			5. ぜんぜんいない	0.8	1.1	0.3
		家庭で基本的なことがしつけられていない生徒	1. とても多くいる	20.0	15.1	27.1
			2. わりといる	46.0	49.3	41.3
			3. 少しいる	28.6	30.1	26.8
			4. あまりいない	4.8	4.8	4.4
			5. ぜんぜんいない	0.5	0.7	0.3
		親からの愛情不足の生徒	1. とても多くいる	9.9	7.2	13.9
			2. わりといる	35.5	36.2	34.5
			3. 少しいる	44.1	44.7	43.7
			4. あまりいない	9.7	11.0	7.3
			5. ぜんぜんいない	0.8	0.9	0.6
		自己中心的で、まわりの人のことを考えない生徒	1. とても多くいる	13.9	10.5	18.9
			2. わりといる	38.1	38.2	37.9
			3. 少しいる	39.8	42.6	36.3
			4. あまりいない	7.5	8.3	6.0
			5. ぜんぜんいない	0.6	0.4	0.9
		進んで働いたり、手伝ったりすることをいやがる生徒	1. とても多くいる	11.2	9.2	14.2
			2. わりといる	35.5	35.7	35.0
			3. 少しいる	39.5	40.5	38.2
			4. あまりいない	13.1	13.8	12.0
			5. ぜんぜんいない	0.8	0.9	0.6
		時間の観念のない生徒	1. とても多くいる	6.0	4.4	8.2
			2. わりといる	27.2	26.3	28.7
			3. 少しいる	43.1	44.4	41.3
			4. あまりいない	22.3	23.4	20.5
			5. ぜんぜんいない	1.4	1.5	1.3
物を粗末にする生徒	1. とても多くいる	8.7	7.7	9.8		
	2. わりといる	33.7	33.4	34.7		
	3. 少しいる	41.0	41.1	40.7		
	4. あまりいない	15.1	15.8	13.9		
	5. ぜんぜんいない	1.5	2.0	0.9		
授業中、席を立ったり、教室を出たり入ったりする生徒	1. とても多くいる	2.7	2.0	3.5		
	2. わりといる	7.1	4.8	10.1		
	3. 少しいる	24.9	21.7	30.3		
	4. あまりいない	35.0	35.9	33.4		
	5. ぜんぜんしていない	30.3	35.7	22.7		
5	が中学教師として心 生徒の名前を覚える	1. とてもしている	44.9	36.9	56.6	
		2. わりとしている	43.8	48.3	37.0	
		3. 少ししている	9.1	11.6	6.0	
		4. あまりしていない	2.0	3.1	0.3	
		5. ぜんぜんしていない	0.1	0.2	0.0	

資料2 基礎集計表

質問項目			全体	性別		
				男性	女性	
5	中学教師として心がけていること	休み時間など教室に行って、生徒と話をする	1. とてもしている	9.0	9.0	8.6
			2. わりとしている	27.9	24.5	32.8
			3. 少ししている	33.9	35.9	30.9
			4. あまりしていない	26.2	28.0	24.2
			5. ぜんぜんしていない	2.9	2.6	3.5
		教科担当に授業中の生徒の様子を聞く	1. とてもしている	9.3	7.0	12.4
			2. わりとしている	46.3	43.6	50.0
			3. 少ししている	33.6	36.6	29.3
			4. あまりしていない	9.8	11.9	7.3
			5. ぜんぜんしていない	0.9	0.9	1.0
		生徒会活動や委員会活動に熱心にかかわる	1. とてもしている	9.3	8.6	10.2
			2. わりとしている	35.8	33.7	38.5
			3. 少ししている	34.8	35.2	35.0
			4. あまりしていない	18.5	20.5	15.3
			5. ぜんぜんしていない	1.5	2.0	1.0
		生徒からの相談に適切なアドバイスをする	1. とてもしている	12.1	11.5	13.1
			2. わりとしている	52.8	49.3	57.3
			3. 少ししている	30.3	33.5	26.1
			4. あまりしていない	4.5	5.3	3.5
			5. ぜんぜんしていない	0.3	0.4	0.0
		教材研究を熱心にする	1. とてもしている	13.1	11.5	14.6
			2. わりとしている	39.7	35.4	46.5
			3. 少ししている	33.2	36.3	28.9
			4. あまりしていない	12.8	14.8	9.6
			5. ぜんぜんしていない	1.3	2.0	0.3
		わかりやすい授業をする	1. とてもしている	15.2	16.5	12.6
			2. わりとしている	49.7	46.8	54.2
			3. 少ししている	30.3	32.5	27.6
			4. あまりしていない	3.1	2.2	4.5
			5. ぜんぜんしていない	1.6	2.0	1.0
		評価は結果より努力する過程を重視する	1. とてもしている	21.7	17.9	26.8
			2. わりとしている	53.1	52.3	54.5
			3. 少ししている	22.0	26.0	16.4
			4. あまりしていない	2.7	3.1	2.0
			5. ぜんぜんしていない	0.5	0.7	0.3
		教科書にはこだわらず、多様な資料を使った授業をする	1. とてもしている	14.2	13.6	14.3
			2. わりとしている	37.2	36.1	39.4
			3. 少ししている	34.0	33.9	34.5
			4. あまりしていない	12.6	13.8	10.8
			5. ぜんぜんしていない	2.0	2.7	1.0
		部活動の専門的技術や指導、審判ができる	1. とてもしている	17.2	23.3	7.5
			2. わりとしている	27.2	33.0	17.6
			3. 少ししている	21.9	20.9	23.7
			4. あまりしていない	17.8	14.9	22.4
			5. ぜんぜんしていない	15.9	7.9	28.8
進路指導に詳しい	1. とてもしている	8.2	11.6	2.4		
	2. わりとしている	32.1	40.2	18.9		
	3. 少ししている	34.9	33.4	37.8		
	4. あまりしていない	18.5	12.5	28.0		
	5. ぜんぜんしていない	6.3	2.2	12.8		

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性別				
			男性	女性			
5	中学教師として心がけていること	教育関係の本を定期的に購読する	1. とてもしている	11.3	12.2	10.1	
			2. わりとしている	21.2	22.7	18.8	
			3. 少ししている	23.5	21.8	26.0	
			4. あまりしていない	28.8	28.6	29.5	
			5. ぜんぜんしていない	15.3	14.6	15.6	
		中学生が興味を持つテレビ番組、雑誌、マンガなどに目を通す	1. とてもしている	5.7	5.0	6.4	
			2. わりとしている	21.9	21.2	22.9	
			3. 少ししている	34.2	33.9	34.4	
			4. あまりしていない	29.1	29.5	29.3	
			5. ぜんぜんしていない	9.1	10.3	7.0	
		学校以外の研究会や講演会に積極的に参加する	1. とてもしている	7.1	7.0	6.7	
			2. わりとしている	22.3	20.3	25.2	
			3. 少ししている	31.0	32.4	28.1	
			4. あまりしていない	31.9	32.2	32.6	
			5. ぜんぜんしていない	7.7	8.1	7.3	
	保護者との良好な関係を維持する	1. とてもしている	13.5	14.7	10.2		
		2. わりとしている	49.0	50.8	47.1		
		3. 少ししている	30.9	29.8	33.1		
		4. あまりしていない	5.9	4.4	8.3		
		5. ぜんぜんしていない	0.8	0.4	1.3		
6	生徒たちの教員への望み	教え方のうまい先生	1. とても望んでいる	49.1	45.2	53.9	
				2. かなり望んでいる	39.6	43.9	34.1
				3. やや望んでいる	11.1	10.7	11.7
				4. やや望んでいない	0.0	0.0	0.0
				5. あまり望んでいない	0.1	0.0	0.3
				6. ぜんぜん望んでいない	0.1	0.2	0.0
		熱心に授業をしてくれる先生	1. とても望んでいる	43.5	42.4	44.0	
			2. かなり望んでいる	38.4	40.9	36.1	
			3. やや望んでいる	16.5	15.2	18.0	
			4. やや望んでいない	1.3	1.3	1.3	
			5. あまり望んでいない	0.1	0.0	0.3	
			6. ぜんぜん望んでいない	0.3	0.2	0.3	
		ユーモアのある先生	1. とても望んでいる	51.2	50.0	52.4	
			2. かなり望んでいる	35.1	36.3	34.1	
			3. やや望んでいる	13.0	12.8	13.2	
			4. やや望んでいない	0.3	0.2	0.3	
			5. あまり望んでいない	0.3	0.4	0.0	
			6. ぜんぜん望んでいない	0.1	0.2	0.0	
		専門についての知識のしっかりとした先生	1. とても望んでいる	30.8	27.6	35.0	
			2. かなり望んでいる	36.4	37.2	36.0	
			3. やや望んでいる	29.6	31.7	26.5	
			4. やや望んでいない	1.6	1.7	1.3	
			5. あまり望んでいない	1.4	1.5	1.3	
			6. ぜんぜん望んでいない	0.1	0.2	0.0	
	クラブの指導に熱心な先生	1. とても望んでいる	29.4	30.0	28.2		
		2. かなり望んでいる	41.0	40.9	41.1		
		3. やや望んでいる	27.0	27.2	26.9		
		4. やや望んでいない	1.3	1.1	1.6		
		5. あまり望んでいない	1.3	0.7	2.2		
		6. ぜんぜん望んでいない	0.1	0.2	0.0		

資料2 基礎集計表

質問項目			全体	性別		
				男性	女性	
6	生徒たちの教師への望み	人間としての教養の豊かな先生	1. とても望んでいる	32.2	29.3	35.6
			2. かなり望んでいる	36.7	38.5	35.0
			3. やや望んでいる	27.3	27.2	27.4
			4. やや望んでいない	1.9	2.6	0.6
			5. あまり望んでいない	1.8	2.2	1.3
			6. ぜんぜん望んでいない	0.1	0.2	0.0
	生徒の個人的な悩みの相談にのってくれる先生	1. とても望んでいる	45.2	41.4	50.8	
		2. かなり望んでいる	33.9	36.8	30.0	
		3. やや望んでいる	18.9	19.2	18.0	
		4. やや望んでいない	1.5	2.0	0.9	
		5. あまり望んでいない	0.4	0.4	0.3	
		6. ぜんぜん望んでいない	0.1	0.2	0.0	
教育についてのしっかりとした信念を持っている先生	1. とても望んでいる	19.6	17.4	22.1		
	2. かなり望んでいる	29.9	30.7	28.7		
	3. やや望んでいる	40.6	41.4	40.4		
	4. やや望んでいない	6.3	6.5	5.7		
	5. あまり望んでいない	3.2	3.5	2.8		
	6. ぜんぜん望んでいない	0.4	0.4	0.3		
ひとりの人間としても尊敬できる先生	1. とても望んでいる	39.6	34.4	46.7		
	2. かなり望んでいる	36.3	40.1	30.9		
	3. やや望んでいる	22.3	23.1	21.8		
	4. やや望んでいない	1.0	1.1	0.6		
	5. あまり望んでいない	0.6	1.1	0.0		
	6. ぜんぜん望んでいない	0.1	0.2	0.0		
7	次のような先生はどれくらいいるか	教え方のうまい先生	1. 10人中10人とも	1.0	0.7	1.3
			2. 7～8人	20.3	19.7	20.2
			3. 5～6人	38.0	36.4	41.0
			4. 3～4人	28.8	29.6	28.7
			5. 1～2人	11.7	13.4	8.8
			6. 1人もいない	0.1	0.2	0.0
	熱心に授業をしてくれる先生	1. 10人中10人とも	6.2	5.0	7.6	
		2. 7～8人	38.7	40.1	36.1	
		3. 5～6人	33.0	32.7	33.9	
		4. 3～4人	17.6	17.3	18.0	
		5. 1～2人	4.5	4.6	4.4	
		6. 1人もいない	0.1	0.2	0.0	
	ユーモアのある先生	1. 10人中10人とも	0.8	0.7	0.6	
		2. 7～8人	12.8	11.4	14.2	
		3. 5～6人	37.6	39.2	35.4	
		4. 3～4人	36.8	37.6	36.7	
		5. 1～2人	11.7	10.9	12.7	
		6. 1人もいない	0.3	0.2	0.3	
	専門についての知識のしっかりとした先生	1. 10人中10人とも	6.1	5.5	7.0	
		2. 7～8人	34.6	32.6	37.0	
		3. 5～6人	33.2	33.7	32.6	
		4. 3～4人	19.9	21.9	17.4	
		5. 1～2人	6.0	5.9	6.0	
		6. 1人もいない	0.3	0.4	0.0	

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性別			
			男性	女性		
7	次のような先生はどれくらいいるか	クラブの指導に熱心な先生	1. 10人中10人とも	1.8	1.5	2.2
			2. 7～8人	20.0	20.1	19.6
			3. 5～6人	37.3	36.5	38.8
			4. 3～4人	29.0	28.8	29.3
			5. 1～2人	11.9	13.1	10.1
			6. 1人もいない	0.0	0.0	0.0
	人間としての教養の豊かな先生	1. 10人中10人とも	2.3	2.2	2.2	
		2. 7～8人	18.8	16.9	21.0	
		3. 5～6人	36.0	36.8	35.4	
		4. 3～4人	28.6	30.0	26.4	
		5. 1～2人	13.8	13.4	14.3	
		6. 1人もいない	0.6	0.7	0.6	
	生徒の個人的な悩みの相談にのってくれる先生	1. 10人中10人とも	5.8	4.4	7.6	
		2. 7～8人	23.5	23.0	23.7	
		3. 5～6人	31.1	31.7	30.7	
		4. 3～4人	29.9	30.4	29.7	
		5. 1～2人	9.7	10.5	8.2	
		6. 1人もいない	0.0	0.0	0.0	
	教育についてのしっかりとした信念を持っている先生	1. 10人中10人とも	3.2	2.6	3.5	
		2. 7～8人	18.2	17.2	19.7	
		3. 5～6人	35.8	35.2	36.6	
		4. 3～4人	29.6	30.8	28.0	
		5. 1～2人	13.0	14.0	11.8	
		6. 1人もいない	0.3	0.2	0.3	
ひとりの人間としても尊敬できる先生	1. 10人中10人とも	2.3	2.4	1.9		
	2. 7～8人	16.4	15.9	16.5		
	3. 5～6人	29.2	29.7	28.6		
	4. 3～4人	26.6	25.8	28.3		
	5. 1～2人	24.3	25.1	23.2		
	6. 1人もいない	1.3	1.1	1.6		
8	生徒からどう思われているか	教え方のうまい先生	1. とてもそう思われている	1.2	1.3	1.0
			2. かなりそう思われている	13.4	15.8	9.6
			3. ややそう思われている	55.9	56.8	54.1
			4. ややそう思われていない	22.2	19.6	26.4
			5. かなりそう思われていない	5.2	4.9	5.8
			6. まったくそう思われていない	2.1	1.6	3.1
	熱心に授業をしてくれる先生	1. とてもそう思われている	3.6	3.3	3.8	
		2. かなりそう思われている	26.2	26.7	24.2	
		3. ややそう思われている	54.2	53.5	56.4	
		4. ややそう思われていない	12.4	13.6	10.7	
		5. かなりそう思われていない	2.1	1.8	2.8	
		6. まったくそう思われていない	1.5	1.1	2.1	
	ユーモアのある先生	1. とてもそう思われている	5.2	5.3	5.0	
		2. かなりそう思われている	18.8	21.1	15.3	
		3. ややそう思われている	44.6	45.5	43.9	
		4. ややそう思われていない	21.8	18.8	25.6	
		5. かなりそう思われていない	7.6	7.5	8.0	
		6. まったくそう思われていない	2.0	1.8	2.3	

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性別			
			男性	女性		
8	生徒からどう思われているか	専門についての知識のしっかりとした先生	1. とてもそう思われている	5.7	7.1	3.3
		2. かなりそう思われている	24.3	26.5	20.8	
		3. ややそう思われている	53.1	50.1	57.7	
		4. ややそう思われていない	13.1	12.7	14.0	
		5. かなりそう思われていない	2.9	2.9	2.9	
		6. まったくそう思われていない	0.9	0.7	1.3	
	クラブの指導に熱心な先生	1. とてもそう思われている	9.8	12.8	4.8	
		2. かなりそう思われている	16.8	22.7	7.9	
		3. ややそう思われている	28.7	30.0	26.8	
		4. ややそう思われていない	21.3	18.0	26.1	
		5. かなりそう思われていない	13.0	10.1	17.2	
		6. まったくそう思われていない	10.4	6.3	17.2	
	人間としての教養の豊かな先生	1. とてもそう思われている	1.3	1.6	0.7	
		2. かなりそう思われている	10.3	12.0	7.6	
		3. ややそう思われている	55.4	56.8	53.3	
		4. ややそう思われていない	26.8	24.5	30.6	
		5. かなりそう思われていない	4.6	3.6	5.9	
		6. まったくそう思われていない	1.7	1.6	2.0	
	生徒の個人的な悩みの相談にのってくれる先生	1. とてもそう思われている	5.3	2.9	9.1	
		2. かなりそう思われている	21.1	17.7	25.0	
		3. ややそう思われている	50.5	51.0	50.3	
		4. ややそう思われていない	17.2	20.6	12.7	
		5. かなりそう思われていない	4.3	6.0	1.6	
		6. まったくそう思われていない	1.6	1.8	1.3	
教育についてのしっかりとした信念を持っている先生	1. とてもそう思われている	4.1	4.7	3.0		
	2. かなりそう思われている	17.5	20.7	12.6		
	3. ややそう思われている	49.7	49.3	49.7		
	4. ややそう思われていない	21.6	18.7	26.8		
	5. かなりそう思われていない	5.0	4.4	5.6		
	6. まったくそう思われていない	2.2	2.2	2.3		
ひとりの人間としても尊敬できる先生	1. とてもそう思われている	0.9	0.9	0.7		
	2. かなりそう思われている	10.3	11.1	8.9		
	3. ややそう思われている	54.8	57.5	50.7		
	4. ややそう思われていない	26.0	23.4	30.8		
	5. かなりそう思われていない	5.6	4.9	6.6		
	6. まったくそう思われていない	2.2	2.2	2.3		
9	教師としての自信	教材研究を深める	1. とても自信がある	4.7	5.1	3.4
			2. かなり自信がある	20.1	23.9	14.1
			3. やや自信がある	49.2	46.1	53.7
			4. やや自信がない	19.3	18.0	22.1
			5. あまり自信がない	5.0	5.3	4.7
			6. まったく自信がない	1.7	1.6	2.0
	生徒の心理を研究する	1. とても自信がある	4.5	3.8	5.1	
		2. かなり自信がある	20.0	21.5	17.4	
		3. やや自信がある	49.6	50.4	48.2	
		4. やや自信がない	20.9	19.5	23.8	
		5. あまり自信がない	4.0	4.2	3.9	
		6. まったく自信がない	1.0	0.7	1.6	

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性別			
			男性	女性		
9	教師としての自信	授業のしかたを研究する	1. とても自信がある	5.0	5.3	4.1
			2. かなり自信がある	19.9	23.6	13.4
			3. やや自信がある	50.9	51.2	50.9
			4. やや自信がない	19.0	16.3	23.7
			5. あまり自信がない	3.7	2.7	5.5
			6. まったく自信がない	1.5	0.9	2.4
		一般的な教養を深める	1. とても自信がある	4.6	5.5	2.3
			2. かなり自信がある	21.6	24.9	16.1
			3. やや自信がある	45.4	47.5	43.1
			4. やや自信がない	22.1	17.4	29.9
			5. あまり自信がない	4.9	3.5	7.1
			6. まったく自信がない	1.3	1.1	1.6
		教育についての見方を深める	1. とても自信がある	3.2	4.6	1.0
			2. かなり自信がある	19.8	25.6	10.4
			3. やや自信がある	48.1	47.0	49.5
			4. やや自信がない	22.4	18.8	28.7
			5. あまり自信がない	5.3	3.1	8.8
			6. まったく自信がない	1.2	0.9	1.6
		学級集団をリードする技術を高める	1. とても自信がある	3.0	4.0	1.4
			2. かなり自信がある	19.0	24.1	11.2
			3. やや自信がある	42.4	47.4	33.6
			4. やや自信がない	27.6	19.8	40.7
			5. あまり自信がない	5.4	3.3	8.8
			6. まったく自信がない	2.5	1.3	4.4
社会についての見方を深める	1. とても自信がある	4.4	5.9	1.6		
	2. かなり自信がある	19.7	24.7	11.3		
	3. やや自信がある	44.3	47.4	40.1		
	4. やや自信がない	24.5	18.1	35.0		
	5. あまり自信がない	5.2	2.9	8.7		
	6. まったく自信がない	1.9	1.1	3.2		
人柄を魅力的にする	1. とても自信がある	3.5	2.6	3.5		
	2. かなり自信がある	17.2	20.7	12.3		
	3. やや自信がある	47.5	47.6	47.1		
	4. やや自信がない	24.8	22.9	28.7		
	5. あまり自信がない	5.0	4.2	6.5		
	6. まったく自信がない	1.9	2.0	1.9		
10	中学教師への社会的な評価	社会的に尊敬される仕事だ	1. そう評価されていると思う	2.0	2.2	1.9
			2. まあそう思う	26.9	27.7	25.6
			3. なんともいえない	42.1	41.9	41.8
			4. あまりそう評価されていない	25.1	24.7	26.3
			5. まったくそう評価されていない	3.8	3.5	4.4
	のん気で気楽な仕事だ	1. そう評価されていると思う	5.0	5.5	4.4	
		2. まあそう思う	16.6	17.5	14.6	
		3. なんともいえない	34.2	34.3	34.2	
		4. あまりそう評価されていない	32.5	32.1	33.5	
		5. まったくそう評価されていない	11.7	10.7	13.3	
	経済的に恵まれている仕事だ	1. そう評価されていると思う	16.4	12.0	21.8	
		2. まあそう思う	44.5	43.8	47.5	
		3. なんともいえない	27.4	30.9	21.2	
		4. あまりそう評価されていない	10.0	11.6	7.9	
		5. まったくそう評価されていない	1.7	1.8	1.6	

資料2 基礎集計表

質問項目			全体	性別		
				男性	女性	
10	中学教師への社会的な評価	精神的に苦勞の多い仕事だ	1. そう評価されていると思う	25.0	20.8	31.5
			2. まあそう思う	50.1	50.5	49.8
			3. なんともいえない	10.8	13.1	7.3
			4. あまりそう評価されていない	11.7	13.3	8.8
			5. まったくそう評価されていない	2.4	2.2	2.5
		やりがいのある仕事だ	1. そう評価されていると思う	10.2	7.4	13.6
			2. まあそう思う	44.1	43.1	45.3
			3. なんともいえない	33.7	38.1	27.8
			4. あまりそう評価されていない	10.4	9.8	11.4
			5. まったくそう評価されていない	1.7	1.5	1.9
		時間的なゆとりのある仕事だ	1. そう評価されていると思う	8.5	9.4	7.3
			2. まあそう思う	17.3	19.9	13.4
			3. なんともいえない	29.6	27.8	31.2
			4. あまりそう評価されていない	29.4	30.4	28.7
			5. まったくそう評価されていない	15.2	12.5	19.4
11	「教師としてかっこうがつくまで」どれくらい必要か	1. 大学を出てすぐに	0.5	0.4	0.6	
		2. 3か月後	0.3	0.0	0.6	
		3. 半年後	0.8	0.9	0.6	
		4. 1年後	3.2	2.6	3.8	
		5. 2～3年後	27.2	27.9	25.3	
		6. 4～5年後	36.0	38.2	33.5	
		7. 7～8年後	13.2	11.8	15.2	
		8. 10年以上たって	18.9	18.1	20.3	
12	「一人前の教師」になるには何年くらい必要か	1. 大学を出てすぐに	0.0	0.0	0.0	
		2. 1年後	1.1	0.2	2.5	
		3. 2～3年後	7.4	9.0	5.4	
		4. 4～5年後	19.8	21.8	15.2	
		5. 7～8年後	23.6	23.6	24.8	
		6. 10年後	30.9	31.7	29.5	
		7. もっとたってから	17.2	13.8	22.5	
13	教職の現状	1. 賃金をもらう労働者	6.3	4.2	9.7	
		2. 聖職者としての性格の強い職業	9.5	9.5	9.7	
		3. 専門職としての地位の確立した専門職	22.6	23.9	21.0	
		4. 教育技術を売り物にする教育技術者	6.1	6.6	5.2	
		5. 会社員と同じようなサラリーマン	8.6	8.6	8.7	
		6. 専門職を目指してはいるが現状としてはセミ専門職	46.9	47.1	45.8	
14	教師の望ましい方向	1. 賃金をもらう労働者	1.0	1.3	0.6	
		2. 聖職者としての性格の強い職業	12.1	14.0	9.4	
		3. 専門職としての地位の確立した専門職	74.3	71.3	78.9	
		4. 教育技術を売り物にする教育技術者	7.7	9.6	5.2	
		5. 会社員と同じようなサラリーマン	1.7	1.8	1.3	
		6. 専門職を目指してはいるが現状としてはセミ専門職	3.2	2.0	4.5	
15	生徒の状況 10年前と比べて	キレやすい	1. とても増えている	41.2	35.0	50.2
			2. 少し増えている	45.6	50.0	39.7
			3. 変わらない	11.9	13.7	8.9
			4. 少し減っている	0.8	0.7	1.0
			5. かなり減っている	0.5	0.7	0.3
		ルールを守らない	1. とても増えている	40.3	36.5	45.7
			2. 少し増えている	42.5	43.9	41.0
			3. 変わらない	15.5	17.8	11.4
			4. 少し減っている	1.4	1.3	1.6
			5. かなり減っている	0.4	0.4	0.3

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性別		
			男性	女性	
生徒の状況（10年前と比べて）	時間にルーズ	1. とても増えている	33.9	30.9	38.1
		2. 少し増えている	42.5	44.2	40.3
		3. 変わらない	21.6	22.4	20.0
		4. 少し減っている	1.6	2.0	1.3
		5. かなり減っている	0.4	0.4	0.3
	服装がだらしない	1. とても増えている	43.4	41.2	46.7
		2. 少し増えている	35.5	36.4	35.2
		3. 変わらない	17.4	18.7	14.9
		4. 少し減っている	2.9	3.1	2.5
		5. かなり減っている	0.8	0.7	0.6
	頭髪を加工する	1. とても増えている	44.9	41.7	50.2
		2. 少し増えている	35.2	36.1	34.0
		3. 変わらない	16.2	18.0	13.3
		4. 少し減っている	3.0	3.0	2.5
		5. かなり減っている	0.6	1.1	0.0
	物を粗末に扱う	1. とても増えている	35.9	34.0	39.0
		2. 少し増えている	43.8	44.9	42.2
		3. 変わらない	18.5	18.7	17.8
		4. 少し減っている	1.4	2.0	0.6
		5. かなり減っている	0.4	0.4	0.3
	がまんでこない	1. とても増えている	51.8	45.1	61.6
		2. 少し増えている	39.2	44.7	31.4
		3. 変わらない	7.7	8.3	6.7
		4. 少し減っている	1.1	1.7	0.3
		5. かなり減っている	0.1	0.2	0.0
	教師に反抗的	1. とても増えている	15.0	11.5	20.1
		2. 少し増えている	35.3	34.3	37.6
		3. 変わらない	41.8	45.4	35.7
		4. 少し減っている	6.7	7.2	6.1
		5. かなり減っている	1.3	1.5	0.6
	自己中心的でまわりのことを考えない	1. とても増えている	39.5	33.5	47.9
		2. 少し増えている	42.0	43.7	40.3
		3. 変わらない	16.9	20.7	10.8
		4. 少し減っている	1.4	1.7	1.0
		5. かなり減っている	0.3	0.4	0.0
	姿勢が悪い	1. とても増えている	29.9	24.6	37.6
		2. 少し増えている	38.8	40.2	36.9
		3. 変わらない	30.3	33.9	25.2
		4. 少し減っている	0.6	0.9	0.3
		5. かなり減っている	0.3	0.4	0.0
	イライラしている	1. とても増えている	29.7	23.5	38.4
		2. 少し増えている	48.5	51.3	45.1
		3. 変わらない	20.7	23.7	15.9
		4. 少し減っている	0.8	1.1	0.3
		5. かなり減っている	0.4	0.4	0.3
疲れていて元気がない	1. とても増えている	27.8	22.2	36.3	
	2. 少し増えている	50.9	53.0	48.1	
	3. 変わらない	20.2	23.0	15.3	
	4. 少し減っている	1.0	1.5	0.3	
	5. かなり減っている	0.1	0.2	0.0	

資料2 基礎集計表

質問項目			全体	性別		
				男性	女性	
15	生徒の状況（10年前と比べて）	ストレスがたまっている	1. とても増えている	32.7	26.1	42.7
			2. 少し増えている	50.3	54.3	44.6
			3. 変わらない	16.4	18.5	12.7
			4. 少し減っている	0.5	0.9	0.0
			5. かなり減っている	0.1	0.2	0.0
	家庭で基本的なことがしつけられていない	1. とても増えている	55.9	51.3	63.2	
		2. 少し増えている	36.1	39.6	31.1	
		3. 変わらない	7.4	8.3	5.4	
		4. 少し減っている	0.5	0.7	0.3	
		5. かなり減っている	0.1	0.2	0.0	
	親からの愛情不足	1. とても増えている	30.1	28.2	33.7	
		2. 少し増えている	51.2	50.4	51.7	
		3. 変わらない	17.8	20.5	13.7	
		4. 少し減っている	0.8	0.7	1.0	
		5. かなり減っている	0.1	0.2	0.0	
	まわりの人とうまくコミュニケーションがとれない	1. とても増えている	39.2	32.4	49.5	
		2. 少し増えている	47.4	53.5	38.4	
		3. 変わらない	12.9	13.3	12.1	
		4. 少し減っている	0.4	0.7	0.0	
		5. かなり減っている	0.1	0.2	0.0	
クラスになじめない	1. とても増えている	17.1	13.9	22.2		
	2. 少し増えている	53.9	55.4	51.1		
	3. 変わらない	28.3	29.6	26.3		
	4. 少し減っている	0.6	0.9	0.3		
	5. かなり減っている	0.1	0.2	0.0		
16	学校（クラスの）生徒の姿	授業が始まって教科書を出さない	1. いつも見かける	8.9	8.1	9.7
			2. かなり見かける	17.4	15.4	20.5
			3. やや見かける	35.9	36.9	33.8
			4. たまに見かける	31.9	33.2	30.5
			5. ぜんぜん見かけない	5.9	6.4	5.5
	授業中、教室を出たり入ったりしている	1. いつも見かける	2.7	2.4	2.6	
		2. かなり見かける	4.0	2.6	6.1	
		3. やや見かける	10.7	9.9	11.9	
		4. たまに見かける	29.3	27.5	32.3	
		5. ぜんぜん見かけない	53.4	57.6	47.1	
	授業中、注意されてもおしゃべりをやめない	1. いつも見かける	3.6	2.4	4.9	
		2. かなり見かける	9.6	7.5	12.9	
		3. やや見かける	20.3	18.9	22.3	
		4. たまに見かける	41.3	41.1	41.7	
		5. ぜんぜん見かけない	25.2	30.1	18.1	
	授業中、教室の後ろの方で、寝ころんだり座ったりしている	1. いつも見かける	1.0	0.4	1.6	
		2. かなり見かける	1.8	2.0	1.3	
		3. やや見かける	3.9	2.6	5.2	
		4. たまに見かける	14.6	10.8	20.5	
		5. ぜんぜん見かけない	78.7	84.2	71.3	
授業中、アメやガムをこっそり食べている	1. いつも見かける	1.7	1.3	2.0		
	2. かなり見かける	2.1	2.2	2.0		
	3. やや見かける	2.8	2.2	3.6		
	4. たまに見かける	17.8	18.2	17.3		
	5. ぜんぜん見かけない	75.6	76.0	75.2		

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性別		
			男性	女性	
16 学校（クラス）の生徒の姿	授業中、マンガや小説を読んでいる	1. いつも見かける	2.1	1.5	2.6
		2. かなり見かける	1.8	1.8	2.0
		3. やや見かける	5.2	5.5	4.6
		4. たまに見かける	38.1	37.0	39.4
		5. ぜんぜん見かけない	52.9	54.2	51.5
	授業中、手紙や交換日記を書いている	1. いつも見かける	3.6	3.1	4.2
		2. かなり見かける	9.0	8.8	9.1
		3. やや見かける	14.6	13.6	16.3
		4. たまに見かける	54.0	54.7	53.4
		5. ぜんぜん見かけない	18.8	19.8	16.9
	授業中、ポータブルプレーヤーなどで音楽を聴いている	1. いつも見かける	0.8	0.4	1.3
		2. かなり見かける	0.5	0.7	0.3
		3. やや見かける	1.4	1.3	1.6
		4. たまに見かける	7.0	5.9	8.1
		5. ぜんぜん見かけない	90.3	91.6	88.6
	机や教室の壁に落書きがあるなど教室内が汚い	1. いつも見かける	3.5	2.4	4.8
		2. かなり見かける	6.3	5.5	7.4
		3. やや見かける	12.2	12.1	12.6
		4. たまに見かける	48.1	47.2	49.4
		5. ぜんぜん見かけない	29.9	32.7	25.8
	友だちの発言をなじったり笑ったりする	1. いつも見かける	2.7	1.5	4.2
		2. かなり見かける	8.5	7.5	10.0
		3. やや見かける	20.4	21.1	19.3
		4. たまに見かける	50.2	50.9	49.5
		5. ぜんぜん見かけない	18.2	18.9	17.0
	先生の指示や質問を無視する	1. いつも見かける	2.1	1.3	2.9
		2. かなり見かける	3.1	3.3	2.9
		3. やや見かける	11.0	9.5	13.2
		4. たまに見かける	46.7	45.3	49.4
		5. ぜんぜん見かけない	37.1	40.7	31.6
	先生が言ったことのおげあしをとる	1. いつも見かける	2.4	2.0	2.9
		2. かなり見かける	5.6	3.3	9.3
		3. やや見かける	13.1	12.5	13.8
		4. たまに見かける	50.4	50.8	50.2
		5. ぜんぜん見かけない	28.5	31.4	23.8
	先生の注意や叱責に反抗する	1. いつも見かける	1.9	1.5	2.2
		2. かなり見かける	4.7	3.1	7.1
		3. やや見かける	15.6	15.6	15.7
		4. たまに見かける	45.1	41.8	50.0
		5. ぜんぜん見かけない	32.7	38.0	25.0
	クラスにまとまりがない	1. いつも見かける	3.2	3.1	3.2
		2. かなり見かける	7.7	6.6	9.0
		3. やや見かける	25.4	25.6	26.0
		4. たまに見かける	50.1	50.7	49.2
		5. ぜんぜん見かけない	13.6	14.1	12.5
先生を批判するグループがある	1. いつも見かける	3.0	2.2	3.9	
	2. かなり見かける	5.3	4.2	6.8	
	3. やや見かける	14.3	14.1	14.2	
	4. たまに見かける	46.7	45.8	48.9	
	5. ぜんぜん見かけない	30.8	33.7	26.2	

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性別		
			男性	女性	
16	学校の先生に對抗して、クラスが1つにまとまっている	1. いつも見かける	0.4	0.4	0.3
		2. かなり見かける	0.9	0.4	1.6
		3. やや見かける	5.0	4.4	5.8
		4. たまに見かける	18.7	18.9	18.7
		5. ぜんぜん見かけない	75.0	75.8	73.5
17	宿題をたくさん出す	1. とてもあてはまる	0.3	0.2	0.3
		2. わりとあてはまる	3.2	4.1	1.6
		3. 少しあてはまる	11.7	12.8	10.0
		4. あまりあてはまらない	49.2	46.1	54.2
		5. ぜんぜんあてはまらない	35.6	36.7	33.9
	自由時間ばかりとる	1. とてもあてはまる	4.7	4.8	4.5
		2. わりとあてはまる	16.9	18.3	14.8
		3. 少しあてはまる	28.5	26.7	30.5
		4. あまりあてはまらない	32.5	32.6	33.1
		5. ぜんぜんあてはまらない	17.3	17.6	17.0
	授業中、生徒がしゃべっていても注意しない	1. とてもあてはまる	32.4	32.4	32.2
		2. わりとあてはまる	35.7	35.4	35.4
		3. 少しあてはまる	23.9	23.5	25.2
		4. あまりあてはまらない	5.6	5.9	5.1
		5. ぜんぜんあてはまらない	2.5	2.8	2.2
	忘れ物をすると厳しく叱る	1. とてもあてはまる	1.7	1.7	1.3
		2. わりとあてはまる	7.8	9.4	5.8
		3. 少しあてはまる	21.7	22.0	20.6
		4. あまりあてはまらない	50.1	48.6	53.4
		5. ぜんぜんあてはまらない	18.8	18.3	19.0
	授業以外の仕事が多く、自習が多い	1. とてもあてはまる	13.8	14.4	11.9
		2. わりとあてはまる	30.1	30.5	29.5
		3. 少しあてはまる	26.8	27.2	26.6
		4. あまりあてはまらない	20.3	18.3	23.1
		5. ぜんぜんあてはまらない	9.2	9.6	9.0
	運動が苦手	1. とてもあてはまる	1.8	1.7	1.9
		2. わりとあてはまる	9.5	12.6	5.4
		3. 少しあてはまる	16.6	17.0	15.9
		4. あまりあてはまらない	42.1	39.7	44.9
		5. ぜんぜんあてはまらない	30.0	29.0	31.8
	まじめで熱心すぎる	1. とてもあてはまる	2.9	2.4	3.8
		2. わりとあてはまる	15.4	14.1	16.9
		3. 少しあてはまる	29.6	29.8	29.1
		4. あまりあてはまらない	36.3	37.0	35.5
		5. ぜんぜんあてはまらない	15.8	16.7	14.7
何にでもいい加減	1. とてもあてはまる	27.8	31.1	22.9	
	2. わりとあてはまる	33.2	34.1	32.7	
	3. 少しあてはまる	24.2	21.5	27.9	
	4. あまりあてはまらない	11.0	9.8	12.4	
	5. ぜんぜんあてはまらない	3.7	3.5	4.1	
決まりに厳しすぎる	1. とてもあてはまる	6.9	6.3	7.7	
	2. わりとあてはまる	22.5	23.0	21.4	
	3. 少しあてはまる	30.0	31.7	27.2	
	4. あまりあてはまらない	32.5	29.8	36.7	
	5. ぜんぜんあてはまらない	8.1	9.1	7.0	

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性別		
			男性	女性	
17 荒れ ている 学 級 の 教 師	生徒を叱れない	1. とてもあてはまる	47.5	46.5	48.4
		2. わりとあてはまる	34.1	35.4	31.8
		3. 少しあてはまる	12.9	12.4	14.3
		4. あまりあてはまらない	3.2	3.3	3.2
		5. ぜんぜんあてはまらない	2.3	2.4	2.2
	授業がつまらなく、わ かりにくい	1. とてもあてはまる	36.5	37.4	35.3
		2. わりとあてはまる	41.6	41.3	41.7
		3. 少しあてはまる	17.2	16.3	18.6
		4. あまりあてはまらない	3.3	3.5	3.2
		5. ぜんぜんあてはまらない	1.4	1.5	1.3
	部活動に熱心	1. とてもあてはまる	0.4	0.2	0.3
		2. わりとあてはまる	1.8	1.8	1.9
		3. 少しあてはまる	10.3	8.8	12.1
		4. あまりあてはまらない	49.5	49.7	49.8
		5. ぜんぜんあてはまらない	38.0	39.6	35.8
	生活指導上問題のある 生徒や問題を起こした 生徒をきちんと指導で きない	1. とてもあてはまる	44.0	42.6	45.2
		2. わりとあてはまる	34.3	35.4	33.1
		3. 少しあてはまる	15.9	15.4	16.6
		4. あまりあてはまらない	4.1	4.8	3.2
		5. ぜんぜんあてはまらない	1.8	1.7	1.9
	係の仕事や委員会をサ ボっても注意しない	1. とてもあてはまる	29.9	28.0	31.5
		2. わりとあてはまる	39.5	41.7	36.6
		3. 少しあてはまる	22.8	23.0	22.9
		4. あまりあてはまらない	5.6	5.0	6.7
		5. ぜんぜんあてはまらない	2.2	2.2	2.2
	問題が起こると、生徒 の責任にする	1. とてもあてはまる	39.9	39.4	40.4
		2. わりとあてはまる	33.2	35.1	30.9
		3. 少しあてはまる	16.8	15.5	17.8
		4. あまりあてはまらない	6.2	5.7	7.3
		5. ぜんぜんあてはまらない	3.9	4.4	3.5
	ひいきしたり、不公平 な扱いをする	1. とてもあてはまる	49.0	47.0	51.9
		2. わりとあてはまる	29.7	34.1	23.6
		3. 少しあてはまる	13.7	12.6	14.6
		4. あまりあてはまらない	5.2	3.9	7.3
		5. ぜんぜんあてはまらない	2.4	2.4	2.5
	自分勝手	1. とてもあてはまる	43.6	42.0	46.0
		2. わりとあてはまる	30.9	35.0	24.9
		3. 少しあてはまる	18.7	17.2	20.4
		4. あまりあてはまらない	4.2	2.8	6.4
		5. ぜんぜんあてはまらない	2.7	3.0	2.2
	社会性がない	1. とてもあてはまる	40.0	38.6	42.0
		2. わりとあてはまる	31.7	34.4	27.9
		3. 少しあてはまる	20.0	19.6	20.2
		4. あまりあてはまらない	5.6	4.1	8.0
		5. ぜんぜんあてはまらない	2.7	3.3	1.9
女子だけ、または男子 だけを強く叱る	1. とてもあてはまる	27.3	26.1	28.4	
	2. わりとあてはまる	36.2	38.0	33.5	
	3. 少しあてはまる	23.6	23.9	24.0	
	4. あまりあてはまらない	9.1	7.8	11.2	
	5. ぜんぜんあてはまらない	3.7	4.1	2.9	

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性別			
			男性	女性		
17	荒れている学級の教師	生徒をあまりほめない	1. とてもあてはまる	26.8	26.3	27.2
			2. わりとあてはまる	37.7	37.0	39.3
			3. 少しあてはまる	25.9	26.3	25.2
			4. あまりあてはまらない	7.1	7.6	6.4
			5. ぜんぜんあてはまらない	2.4	2.8	1.9
	生徒の気持ちがわからない	1. とてもあてはまる	50.7	50.0	51.8	
		2. わりとあてはまる	32.1	32.4	31.6	
		3. 少しあてはまる	12.5	12.4	12.5	
		4. あまりあてはまらない	3.6	3.7	3.5	
		5. ぜんぜんあてはまらない	1.1	1.5	0.6	
18	「荒れ」は10年前と比べて	1. 今の方がぐんと大変	5.5	4.0	7.4	
		2. 今の方がかなり大変	19.9	19.2	21.3	
		3. 今の方がやや大変	26.0	24.7	29.0	
		4. 昔も今も変わらない	35.6	39.2	29.7	
		5. 昔の方がやや大変	7.2	8.1	5.8	
		6. 昔の方が大変	5.8	4.8	6.8	
19	学級が荒れた経験	1. 1度もない	31.4	31.9	29.2	
		2. 1度だけある	31.8	27.0	41.6	
		3. 2～3回ある	28.4	30.9	23.6	
		4. 4～5回ある	4.6	5.5	3.0	
		5. 6～7回ある	0.9	0.7	1.3	
		6. それ以上ある	2.9	3.9	1.3	
	学級が荒れた原因	クラスの生徒数が多かった	1. とてもそう思う	6.1	5.9	5.5
			2. わりとそう思う	14.4	12.4	17.8
			3. 少しそう思う	19.6	17.9	23.3
			4. あまりそう思わない	32.0	35.2	26.4
			5. ぜんぜんそう思わない	27.9	28.6	27.0
		担任した経験の少ない学年だった	1. とてもそう思う	10.5	7.6	14.3
			2. わりとそう思う	11.9	11.8	12.4
			3. 少しそう思う	14.9	12.8	18.6
			4. あまりそう思わない	33.0	38.9	23.0
			5. ぜんぜんそう思わない	29.7	28.8	31.7
		教師になりたての頃で、うまく指導できなかった	1. とてもそう思う	24.3	23.6	25.9
			2. わりとそう思う	25.4	27.8	22.2
			3. 少しそう思う	15.6	13.9	17.3
			4. あまりそう思わない	19.7	19.8	19.8
			5. ぜんぜんそう思わない	14.9	14.9	14.8
教師として指導力が不足していた	1. とてもそう思う	27.9	25.9	31.9		
	2. わりとそう思う	40.2	43.4	36.2		
	3. 少しそう思う	22.0	19.9	23.3		
	4. あまりそう思わない	6.4	7.0	5.5		
	5. ぜんぜんそう思わない	3.5	3.8	3.1		
生徒との相性が悪かった	1. とてもそう思う	6.8	6.6	7.4		
	2. わりとそう思う	20.1	22.1	17.2		
	3. 少しそう思う	25.5	23.5	28.8		
	4. あまりそう思わない	34.7	33.6	36.2		
	5. ぜんぜんそう思わない	12.9	14.2	10.4		
以前からいろいろと問題のある学年・クラスだった	1. とてもそう思う	8.3	8.0	9.3		
	2. わりとそう思う	21.2	22.5	19.1		
	3. 少しそう思う	27.4	23.5	34.6		
	4. あまりそう思わない	26.9	30.1	21.0		
	5. ぜんぜんそう思わない	16.2	15.9	16.0		

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性別			
			男性	女性		
19	学級が荒れた原因	保護者が自分の教育方針に協力的でなかった	1. とてもそう思う	3.7	4.2	2.5
			2. わりとそう思う	8.3	8.4	8.6
			3. 少しそう思う	15.4	13.9	17.2
			4. あまりそう思わない	45.0	46.7	42.9
			5. ぜんぜんそう思わない	27.6	26.8	28.8
	学級が荒れた原因	クラスに問題のある生徒や秩序を乱すグループがあった	1. とてもそう思う	17.6	16.4	19.8
			2. わりとそう思う	32.5	32.1	33.3
			3. 少しそう思う	27.5	27.9	27.2
			4. あまりそう思わない	13.2	15.0	10.5
			5. ぜんぜんそう思わない	9.2	8.7	9.3
	学級が荒れた原因	自分のプライベートな問題があった	1. とてもそう思う	1.5	2.1	0.6
			2. わりとそう思う	4.1	3.5	4.9
			3. 少しそう思う	8.1	6.6	9.8
			4. あまりそう思わない	30.3	34.3	24.5
			5. ぜんぜんそう思わない	55.9	53.6	60.1
	学級が荒れた原因	同じ学年の教師と意見が合わなかった	1. とてもそう思う	3.5	3.5	3.7
			2. わりとそう思う	8.6	6.6	11.7
			3. 少しそう思う	14.0	13.2	14.8
			4. あまりそう思わない	28.3	31.9	22.2
5. ぜんぜんそう思わない			45.6	44.8	47.5	
20	担任としての悩み	クラス経営がうまくいかない	1. よくある	15.2	13.6	18.8
			2. わりとある	30.0	28.8	32.1
			3. 少しある	39.7	39.3	39.4
			4. あまりない	14.2	17.3	9.1
			5. ぜんぜんない	0.9	1.0	0.6
	担任としての悩み	生徒とうまくいかない	1. よくある	9.2	9.5	9.1
			2. わりとある	25.8	24.4	27.9
			3. 少しある	42.7	42.0	43.6
			4. あまりない	19.7	22.0	15.8
			5. ぜんぜんない	2.6	2.0	3.6
	担任としての悩み	問題行動を起こす生徒がいる	1. よくある	16.5	14.9	19.4
			2. わりとある	36.5	37.3	35.2
			3. 少しある	34.3	32.5	37.0
			4. あまりない	12.0	14.6	7.9
			5. ぜんぜんない	0.6	0.7	0.6
	担任としての悩み	クラスにいじめがある	1. よくある	6.9	6.8	7.3
			2. わりとある	23.4	21.4	27.3
			3. 少しある	44.0	42.4	45.5
			4. あまりない	23.4	27.5	17.0
			5. ぜんぜんない	2.4	2.0	3.0
	担任としての悩み	生徒同士の仲が悪い	1. よくある	4.7	5.1	4.2
			2. わりとある	18.7	15.9	23.6
			3. 少しある	41.8	41.0	41.8
			4. あまりない	30.9	34.2	26.1
			5. ぜんぜんない	3.9	3.7	4.2
担任としての悩み	不登校の生徒がいる	1. よくある	11.6	11.2	12.7	
		2. わりとある	24.0	25.1	21.8	
		3. 少しある	39.1	37.3	43.0	
		4. あまりない	17.8	20.0	13.3	
		5. ぜんぜんない	7.5	6.4	9.1	

資料2 基礎集計表

質問項目			全体	性別		
				男性	女性	
20	担任としての悩み	勉強の遅れた生徒がいる	1. よくある	10.9	12.2	9.1
			2. わりとある	25.5	22.7	29.7
			3. 少しある	41.8	39.0	47.3
			4. あまりない	19.1	23.7	10.9
			5. ぜんぜんない	2.6	2.4	3.0
	担任としての悩み	クラスのテストの平均点が悪い	1. よくある	2.6	2.0	3.6
			2. わりとある	9.2	9.8	7.9
			3. 少しある	28.8	26.8	32.1
			4. あまりない	47.0	49.8	41.8
			5. ぜんぜんない	12.4	11.5	14.5
	担任としての悩み	授業をかき乱す生徒がいる	1. よくある	9.7	8.5	12.1
			2. わりとある	22.5	22.4	22.4
			3. 少しある	34.1	32.2	38.2
			4. あまりない	26.4	29.2	20.6
			5. ぜんぜんない	7.3	7.8	6.7
	担任としての悩み	他のクラスの担任と意見が合わない	1. よくある	2.1	1.7	2.4
			2. わりとある	7.7	7.8	7.9
			3. 少しある	20.8	17.3	27.3
			4. あまりない	45.1	51.5	33.9
			5. ぜんぜんない	24.2	21.7	28.5
担任としての悩み	保護者からクレームがくる	1. よくある	1.1	1.4	0.6	
		2. わりとある	5.8	7.1	3.6	
		3. 少しある	24.1	24.1	23.6	
		4. あまりない	43.2	46.3	38.8	
		5. ぜんぜんない	25.8	21.1	33.3	
21	担任としての信頼	クラスの生徒から	1. とても信頼されている	2.7	2.7	2.8
			2. わりと信頼されている	48.3	50.0	44.7
			3. 少し信頼されている	42.1	38.9	47.5
			4. あまり信頼されていない	6.4	8.0	4.3
			5. ぜんぜん信頼されていない	0.5	0.4	0.7
	担任としての信頼	クラスの保護者から	1. とても信頼されている	2.7	2.7	2.9
			2. わりと信頼されている	45.0	49.8	36.4
			3. 少し信頼されている	43.9	39.6	51.4
			4. あまり信頼されていない	7.8	7.6	8.6
			5. ぜんぜん信頼されていない	0.5	0.4	0.7
	担任としての信頼	同僚の教師から	1. とても信頼されている	1.9	1.8	2.1
			2. わりと信頼されている	44.4	46.7	40.4
			3. 少し信頼されている	44.4	41.8	48.2
			4. あまり信頼されていない	7.5	8.0	7.1
			5. ぜんぜん信頼されていない	1.9	1.8	2.1
	担任としての信頼	管理職から	1. とても信頼されている	1.6	1.8	1.4
			2. わりと信頼されている	39.2	41.3	36.2
			3. 少し信頼されている	47.6	46.7	48.2
			4. あまり信頼されていない	9.4	8.4	11.3
			5. ぜんぜん信頼されていない	2.2	1.8	2.8
22	学級経営がうまくいっているか	1. とてもうまくいっている	6.4	7.5	4.3	
		2. わりとよくいっている	45.6	44.2	47.5	
		3. 少しうまくいっている	35.1	35.4	34.8	
		4. あまりうまくいっていない	11.3	11.1	12.1	
		5. ぜんぜんうまくいっていない	1.6	1.8	1.4	

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性別		
			男性	女性	
23	学級担任をしてよかったか	1. とてもよかった	47.6	44.9	51.1
		2. わりとよかった	33.4	35.7	30.5
		3. 少しよかった	13.4	12.3	14.9
		4. あまりよくなかった	4.5	5.3	3.5
		5. ぜんぜんよくなかった	1.1	1.8	0.0
24	年間の授業時数が足りない	1. とても感じている	10.0	9.3	10.1
		2. かなり感じている	29.5	28.4	32.6
		3. あまり感じていない	47.2	46.9	47.2
		4. まったく感じていない	13.3	15.3	10.1
	生徒が騒々しくて、授業を中断させられる	1. とても感じている	2.8	2.0	3.8
		2. かなり感じている	15.8	11.8	22.3
		3. あまり感じていない	45.9	46.4	45.6
		4. まったく感じていない	35.6	39.7	28.2
	生徒がしらけている	1. とても感じている	4.2	3.6	5.1
		2. かなり感じている	23.7	23.5	23.6
		3. あまり感じていない	54.5	55.3	53.7
		4. まったく感じていない	17.6	17.7	17.6
	生徒の学力の差が大きくて、授業がやりにくい	1. とても感じている	14.5	11.4	19.1
		2. かなり感じている	40.7	40.4	40.6
		3. あまり感じていない	36.0	38.1	33.3
		4. まったく感じていない	8.8	10.1	6.9
	忘れ物や宿題を忘れる生徒が多い	1. とても感じている	9.8	6.9	14.3
		2. かなり感じている	41.7	40.5	43.0
		3. あまり感じていない	42.0	45.0	37.9
		4. まったく感じていない	6.5	7.6	4.8
	授業の準備が十分にできていない	1. とても感じている	8.7	6.9	10.4
		2. かなり感じている	34.8	34.7	35.8
		3. あまり感じていない	49.2	50.1	47.9
		4. まったく感じていない	7.4	8.3	5.9
生徒の考えや行動についていけない	1. とても感じている	3.3	2.2	4.7	
	2. かなり感じている	17.4	14.4	21.9	
	3. あまり感じていない	63.7	66.2	60.1	
	4. まったく感じていない	15.6	17.1	13.3	
25	教師の食欲がない	1. とても感じる	1.0	0.7	1.6
		2. わりと感じる	3.0	2.4	4.1
		3. 少し感じる	12.6	13.1	11.1
		4. あまり感じない	40.1	39.5	41.5
		5. ぜんぜん感じない	43.3	44.3	41.8
	教師の何となく体がだるい	1. とても感じる	8.2	5.5	12.3
		2. わりと感じる	21.4	21.6	21.2
		3. 少し感じる	29.7	28.8	30.7
		4. あまり感じない	23.7	26.6	20.3
		5. ぜんぜん感じない	16.9	17.5	15.5
	教師の疲れやすい	1. とても感じる	13.9	10.3	19.3
		2. わりと感じる	25.2	24.5	25.9
		3. 少し感じる	31.4	30.9	32.6
		4. あまり感じない	16.5	19.7	11.7
		5. ぜんぜん感じない	13.1	14.7	10.4

資料2 基礎集計表

質問項目			全体	性別		
				男性	女性	
25	教師の体調	やる気がない	1. とても感じる	3.3	3.1	3.8
			2. わりと感じる	8.0	7.4	9.2
			3. 少し感じる	24.4	21.4	28.2
			4. あまり感じない	43.4	44.6	42.1
			5. ぜんぜん感じない	20.9	23.4	16.8
	頭がボーっとする	1. とても感じる	2.5	1.5	3.8	
		2. わりと感じる	10.0	9.2	11.7	
		3. 少し感じる	23.6	22.5	25.0	
		4. あまり感じない	37.6	38.2	37.0	
		5. ぜんぜん感じない	26.3	28.6	22.5	
	イライラする	1. とても感じる	6.1	3.9	9.2	
		2. わりと感じる	14.4	13.3	16.5	
		3. 少し感じる	28.1	28.0	28.2	
		4. あまり感じない	34.2	35.0	32.6	
		5. ぜんぜん感じない	17.3	19.7	13.6	
	肩がこる	1. とても感じる	17.4	10.5	27.2	
		2. わりと感じる	22.1	21.0	24.1	
		3. 少し感じる	21.3	21.4	21.5	
		4. あまり感じない	21.7	25.6	15.8	
		5. ぜんぜん感じない	17.4	21.4	11.4	
立ちくらみやめまいがする	1. とても感じる	2.8	1.3	5.1		
	2. わりと感じる	9.5	6.6	13.3		
	3. 少し感じる	19.2	18.6	20.9		
	4. あまり感じない	34.9	36.5	32.6		
	5. ぜんぜん感じない	33.6	37.1	28.2		
26	教師のタイプ	困ったとき、すぐ他の先生に相談できる	1. とてもそう	15.1	9.8	22.7
			2. わりとそう	41.3	36.5	47.6
			3. 少しそう	22.3	26.4	16.4
			4. あまりそうでない	19.1	24.2	12.6
			5. ぜんぜんそうでない	2.2	3.1	0.6
	自分なりの教育観を持っている	1. とてもそう	16.9	18.4	13.6	
		2. わりとそう	45.1	48.8	39.9	
		3. 少しそう	28.6	24.9	34.8	
		4. あまりそうでない	8.5	6.6	11.4	
		5. ぜんぜんそうでない	0.9	1.3	0.3	
	運動会や遠足など生徒とふれあう行事が好き	1. とてもそう	28.8	30.0	27.2	
		2. わりとそう	38.0	37.0	39.2	
		3. 少しそう	23.8	21.7	26.9	
		4. あまりそうでない	8.3	10.1	5.7	
		5. ぜんぜんそうでない	1.1	1.3	0.9	
	管理職や同僚と意見が違っても自分の意見を通す	1. とてもそう	4.6	4.6	3.8	
		2. わりとそう	18.7	21.4	15.6	
		3. 少しそう	30.6	30.0	29.8	
		4. あまりそうでない	40.5	39.4	43.5	
		5. ぜんぜんそうでない	5.6	4.6	7.3	
職員会議や学年会では積極的に発言する	1. とてもそう	8.4	9.6	6.0		
	2. わりとそう	25.3	31.1	17.4		
	3. 少しそう	28.0	26.0	30.4		
	4. あまりそうでない	30.9	27.6	35.8		
	5. ぜんぜんそうでない	7.5	5.7	10.4		

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性別			
			男性	女性		
26	教師のタイプ	同僚との飲み会やカラオケなどのつきあいはよい	1. とてもそう	16.1	17.5	13.7
			2. わりとそう	32.7	34.2	30.3
			3. 少しそう	24.1	24.3	24.2
			4. あまりそうでない	21.2	18.4	24.8
			5. ぜんぜんそうでない	6.0	5.5	7.0
	教師のタイプ	規則や約束は必ず守る	1. とてもそう	20.1	18.1	22.2
			2. わりとそう	50.7	51.3	50.5
			3. 少しそう	24.3	24.9	23.2
			4. あまりそうでない	4.3	4.8	3.8
			5. ぜんぜんそうでない	0.6	0.9	0.3
	教師のタイプ	家庭に帰っても生徒の問題が忘れられない	1. とてもそう	9.6	7.2	13.1
			2. わりとそう	27.2	28.3	25.2
			3. 少しそう	33.6	32.7	34.8
			4. あまりそうでない	24.3	25.2	23.3
			5. ぜんぜんそうでない	5.4	6.6	3.5
	教師のタイプ	趣味やプライベートな時間が充実している	1. とてもそう	13.1	11.4	15.6
			2. わりとそう	28.1	25.8	30.5
			3. 少しそう	22.0	22.9	21.3
			4. あまりそうでない	28.3	30.6	25.4
			5. ぜんぜんそうでない	8.5	9.4	7.3
教師のタイプ	まわりの人の目が気になる	1. とてもそう	4.4	3.5	6.0	
		2. わりとそう	24.0	22.3	26.3	
		3. 少しそう	38.8	40.4	35.9	
		4. あまりそうでない	26.0	27.3	24.8	
		5. ぜんぜんそうでない	6.7	6.6	7.0	
27	学級指導と教科指導のどちらに力を入れているか	1. かなり学級指導に力を入れている	4.5	4.5	3.9	
		2. どちらかという学級指導に力を入れている	19.3	18.3	21.1	
		3. 両方ともに力を入れている	43.8	46.4	39.8	
		4. どちらかという教科指導に力を入れている	25.4	24.6	26.9	
		5. かなり教科指導に力を入れている	5.3	4.0	7.2	
		6. 両方とも力を入れていない	1.8	2.2	1.1	
28	教育について	学級の生徒数をもっと少なくする方がよい	1. とてもそう思う	61.2	57.9	64.9
			2. わりとそう思う	23.0	24.7	21.5
			3. 少しそう思う	10.3	11.4	8.9
			4. あまりそう思わない	5.1	5.7	4.1
			5. ぜんぜんそう思わない	0.5	0.4	0.6
	教育について	学校以外の職場を経験した方が教師の指導力や視野が広がる	1. とてもそう思う	20.8	22.1	19.0
			2. わりとそう思う	36.2	36.2	35.8
			3. 少しそう思う	24.0	22.7	25.6
			4. あまりそう思わない	15.2	15.1	16.1
			5. ぜんぜんそう思わない	3.8	3.9	3.5
	教育について	生徒や保護者の考え方が変わってきているから、教師も変わっていく必要がある	1. とてもそう思う	23.4	25.8	20.0
			2. わりとそう思う	39.8	41.5	36.2
			3. 少しそう思う	25.8	22.5	31.1
			4. あまりそう思わない	9.5	8.5	11.4
			5. ぜんぜんそう思わない	1.5	1.7	1.3
	教育について	教師は研修をたくさん受けて、資質の向上をはかるべきだ	1. とてもそう思う	20.1	20.3	19.7
2. わりとそう思う			32.4	32.3	33.3	
3. 少しそう思う			28.8	26.9	31.1	
4. あまりそう思わない			15.8	17.0	14.0	
5. ぜんぜんそう思わない			2.9	3.5	1.9	

資料2 基礎集計表

質問項目			全体	性別		
				男性	女性	
28	教育について の意見	教科書の検定や学習指導要領をなくした方がよい	1. とてもそう思う	4.8	5.9	3.2
			2. わりとそう思う	12.2	12.7	10.8
			3. 少しそう思う	25.2	23.6	28.0
			4. あまりそう思わない	48.5	46.1	52.5
			5. ぜんぜんそう思わない	9.3	11.8	5.4
	教育について の意見	教育委員会や文部省はもっと縮小し、学校に教育の責任を任せるべきだ	1. とてもそう思う	8.8	10.1	5.7
			2. わりとそう思う	27.8	32.0	22.3
			3. 少しそう思う	31.9	30.0	34.4
			4. あまりそう思わない	28.7	25.2	34.4
			5. ぜんぜんそう思わない	2.8	2.6	3.2
	教育について の意見	教師の勤務条件は必ずしも労働基準法が守られなくても仕方ない	1. とてもそう思う	4.0	4.6	2.6
			2. わりとそう思う	13.8	17.2	9.3
			3. 少しそう思う	20.4	20.0	20.1
			4. あまりそう思わない	35.1	31.9	40.3
			5. ぜんぜんそう思わない	26.8	26.2	27.8
	教育について の意見	体罰も時には有効な指導の1つである	1. とてもそう思う	7.9	9.0	6.0
			2. わりとそう思う	19.3	22.0	15.6
			3. 少しそう思う	33.8	31.9	35.6
			4. あまりそう思わない	26.1	25.5	27.6
			5. ぜんぜんそう思わない	12.9	11.6	15.2
教育について の意見	勉強は塾、心の問題はスクールカウンセラーでは、教師のやりがいがない	1. とてもそう思う	11.2	11.7	10.5	
		2. わりとそう思う	21.5	21.4	21.9	
		3. 少しそう思う	22.6	21.4	24.4	
		4. あまりそう思わない	33.5	34.1	32.7	
		5. ぜんぜんそう思わない	11.2	11.5	10.5	
教育について の意見	校長の権限を強くし、独自の学校経営ができるようにするべきだ	1. とてもそう思う	7.4	10.5	2.9	
		2. わりとそう思う	15.8	18.5	11.8	
		3. 少しそう思う	25.3	26.2	23.9	
		4. あまりそう思わない	38.3	33.6	44.9	
		5. ぜんぜんそう思わない	13.2	11.2	16.6	
29	教育改革への賛否	完全学校週5日制の実施	1. とても賛成	57.7	62.5	50.3
			2. やや賛成	24.4	19.8	31.2
			3. どちらともいえない	13.3	11.8	15.6
			4. やや反対	3.0	3.9	1.9
			5. とても反対	1.5	2.0	1.0
	教育改革への賛否	「総合的な学習の時間」の実施	1. とても賛成	6.6	7.0	5.7
			2. やや賛成	17.9	21.4	13.7
			3. どちらともいえない	34.4	29.8	41.1
			4. やや反対	22.4	21.6	23.6
			5. とても反対	18.7	20.3	15.9
	教育改革への賛否	選択教科の拡大	1. とても賛成	10.3	7.0	5.7
			2. やや賛成	26.0	21.4	13.7
			3. どちらともいえない	32.0	29.8	41.1
			4. やや反対	18.5	21.6	23.6
			5. とても反対	13.2	20.3	15.9
	教育改革への賛否	必修教科の削減	1. とても賛成	4.6	5.2	3.2
			2. やや賛成	9.8	11.8	7.3
			3. どちらともいえない	30.7	30.1	31.6
			4. やや反対	34.2	32.0	38.0
			5. とても反対	20.7	20.9	19.8

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性別			
			男性	女性		
29	教育改革への賛否	チームティーチングでの教科指導	1. とても賛成	29.2	27.9	30.8
			2. やや賛成	41.0	40.3	42.5
			3. どちらともいえない	22.8	25.1	19.4
			4. やや反対	5.2	5.0	5.4
			5. とても反対	1.8	1.7	1.9
		習熟度別クラス編成	1. とても賛成	17.5	19.4	14.6
			2. やや賛成	38.1	40.7	34.0
			3. どちらともいえない	27.3	23.3	33.0
			4. やや反対	10.9	10.7	11.4
			5. とても反対	6.2	5.9	7.0
		スクールカウンセラーの配置	1. とても賛成	32.8	29.8	36.8
			2. やや賛成	38.4	40.9	34.6
			3. どちらともいえない	22.3	21.7	23.5
			4. やや反対	4.6	5.3	3.8
			5. とても反対	1.9	2.4	1.3
		学校評議員制度の導入	1. とても賛成	4.3	6.1	1.6
			2. やや賛成	14.0	15.9	10.9
			3. どちらともいえない	53.1	51.5	56.1
			4. やや反対	18.2	17.0	19.2
			5. とても反対	10.3	9.4	12.2
		学校選択の自由の実施	1. とても賛成	13.5	16.6	8.9
			2. やや賛成	25.3	26.6	23.2
			3. どちらともいえない	38.7	35.9	42.2
			4. やや反対	14.2	12.9	16.5
			5. とても反対	8.4	8.1	9.2
		中高一貫教育の実施	1. とても賛成	8.4	10.2	6.1
			2. やや賛成	24.2	24.4	24.0
			3. どちらともいえない	39.7	38.1	40.9
			4. やや反対	15.0	13.9	16.9
5. とても反対	12.7		13.3	12.1		
教員の人事考課制度の採用	1. とても賛成	7.0	7.7	5.8		
	2. やや賛成	17.1	19.7	13.8		
	3. どちらともいえない	51.3	49.1	54.5		
	4. やや反対	12.9	11.4	14.7		
	5. とても反対	11.6	12.1	11.2		
民間人の校長への登用	1. とても賛成	5.3	7.0	2.5		
	2. やや賛成	10.8	12.4	8.6		
	3. どちらともいえない	32.5	30.3	35.4		
	4. やや反対	28.3	25.7	32.5		
	5. とても反対	23.0	24.6	21.0		
30	教職を志した時期	1. 小学校低学年の頃から	4.7	2.7	7.8	
		2. 小学校高学年になってから	10.6	9.1	13.1	
		3. 13～15歳（中学生の頃）	22.3	23.3	20.9	
		4. 16～18歳（高校生の頃）	26.4	30.4	20.3	
		5. 短大または大学へ入学してから	15.6	16.0	15.4	
		6. 短大または大学の卒業が近づいてから	20.4	18.4	22.5	
31	を教職に与えた影響	有無	1. いなかった	33.5	35.2	31.6
			2. いた	66.5	64.8	68.4
		その人は	イ. 父、母、おじ、おばなどの肉親	26.3	25.6	26.3
			ロ. 小学校の担任などの肉親以外の人	73.7	74.4	73.7

資料2 基礎集計表

質問項目			全体	性別		
				男性	女性	
32	教職についたときの気持ち	1. とても積極的だった	32.0	32.6	31.0	
		2. かなり積極的だった	30.0	33.3	25.2	
		3. やや積極的だった	14.7	14.4	15.0	
		4. ふつうくらい	14.4	12.5	17.6	
		5. やや消極的だった	6.6	5.0	8.6	
		6. かなり消極的だった	1.7	1.8	1.6	
		7. とても消極的だった	0.6	0.4	1.0	
33	教職を辞めたいと思ったこと	1. 1度もない	29.6	35.7	21.7	
		2. 1～2度あった	30.7	30.9	30.0	
		3. 数回あった	29.4	25.5	34.5	
		4. いつもそう思っている	10.3	7.8	13.7	
34	土日などの出勤日	1. 5日以上	25.5	34.4	13.1	
		2. 4日	14.3	18.8	7.7	
		3. 3日	14.7	15.3	13.8	
		4. 2日	15.6	12.7	20.2	
		5. 1日	14.4	12.5	17.3	
		6. 0日	15.5	6.3	27.9	
35	夏 休 み の 出 勤	部活動で	1. 0日	17.8	13.7	23.0
			2. 1～2日	4.7	3.4	6.7
			3. 3～4日	5.9	5.5	6.7
			4. 5～6日	6.7	5.0	9.3
			5. 7日くらい	7.5	6.6	8.7
			6. 10日くらい	14.5	13.9	15.7
			7. 2週間以上	43.0	51.8	30.0
		プール指導で	1. 0日	80.9	82.2	79.4
			2. 1～2日	14.6	13.1	17.1
			3. 3～4日	3.0	3.3	2.8
			4. 5～6日	0.1	0.2	0.0
			5. 7日くらい	0.4	0.2	0.3
			6. 10日くらい	0.3	0.2	0.0
			7. 2週間以上	0.6	0.7	0.3
		研修(自宅での研修を除く)で	1. 0日	17.0	16.0	18.7
			2. 1～2日	22.3	23.3	21.1
			3. 3～4日	24.2	24.3	23.7
			4. 5～6日	17.0	17.6	16.1
			5. 7日くらい	8.8	8.9	8.7
			6. 10日くらい	7.5	6.9	8.4
			7. 2週間以上	3.3	3.0	3.3
		会議で	1. 0日	27.0	25.4	29.2
			2. 1～2日	36.9	36.2	38.6
			3. 3～4日	24.1	26.3	20.5
			4. 5～6日	7.9	8.2	7.4
			5. 7日くらい	2.7	2.5	3.0
			6. 10日くらい	1.3	1.4	1.3
			7. 2週間以上	0.1	0.0	0.0
教材研究や事務処理で	1. 0日	12.8	15.0	9.9		
	2. 1～2日	21.9	21.8	22.2		
	3. 3～4日	23.2	19.7	27.5		
	4. 5～6日	15.1	15.2	15.6		
	5. 7日くらい	9.4	10.0	8.9		
	6. 10日くらい	8.6	8.4	9.3		
	7. 2週間以上	9.0	10.0	6.6		

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性別			
			男性	女性		
35	夏休みの出勤	夏季施設で	1. 0日	85.5	86.1	84.8
			2. 1～2日	8.5	9.1	7.8
			3. 3～4日	3.4	2.6	4.3
			4. 5～6日	1.7	1.7	1.8
			5. 7日くらい	0.6	0.2	1.1
			6. 10日くらい	0.1	0.2	0.0
			7. 2週間以上	0.3	0.0	0.4
		補習で	1. 0日	70.7	71.3	69.2
			2. 1～2日	8.1	7.8	8.9
			3. 3～4日	12.0	12.1	12.3
			4. 5～6日	5.0	4.5	5.8
			5. 7日くらい	2.3	2.1	2.4
			6. 10日くらい	0.8	0.9	0.7
			7. 2週間以上	1.1	1.2	0.7
		1～7以外で	1. 0日	44.4	47.7	40.0
			2. 1～2日	13.9	11.0	18.2
			3. 3～4日	15.3	13.1	18.5
			4. 5～6日	8.4	7.6	9.5
			5. 7日くらい	4.8	5.7	3.6
			6. 10日くらい	6.4	7.4	4.7
			7. 2週間以上	6.8	7.4	5.5
36	学校や学区	学校の所在地	1. 北海道	8.2	8.6	8.0
			2. 青森	1.3	1.5	1.0
			3. 岩手	2.4	2.0	2.9
			4. 宮城	2.6	3.3	1.6
			5. 秋田	1.4	1.3	1.6
			6. 山形	1.7	1.3	2.2
			7. 福島	5.4	3.9	7.7
			8. 茨城	0.6	0.9	0.3
			9. 栃木	1.8	2.2	1.3
			10. 群馬	1.3	1.3	1.3
			11. 埼玉	2.3	2.4	2.2
			12. 千葉	4.1	4.4	3.2
			13. 東京	6.0	5.9	5.8
			14. 神奈川	1.7	2.2	1.0
			15. 新潟	1.7	1.5	1.9
			16. 富山	1.0	0.7	1.6
			17. 石川	0.5	0.4	0.6
			18. 福井	3.3	2.9	4.2
			19. 山梨	2.9	2.4	3.8
			20. 長野	0.8	0.7	1.0
			21. 岐阜	2.9	2.6	3.5
			22. 静岡	2.8	3.5	1.3
			23. 愛知	5.8	6.1	5.1
			24. 三重	1.2	0.7	1.9
			25. 滋賀	1.0	0.7	1.6
			26. 京都	0.0	0.0	0.0
			27. 大阪	2.1	2.0	1.9
			28. 兵庫	3.3	4.8	1.3
			29. 奈良	2.1	1.8	2.6
			30. 和歌山	0.5	0.4	0.6

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性別			
			男性	女性		
36	学校や学区	学校の所在地	31. 鳥取	1.7	1.3	1.9
			32. 島根	1.0	1.1	1.0
			33. 岡山	2.1	1.8	2.6
			34. 広島	0.1	0.0	0.3
			35. 山口	3.8	4.4	2.9
			36. 徳島	1.8	2.0	1.6
			37. 香川	3.2	3.7	2.2
			38. 愛媛	2.7	2.0	3.8
			39. 高知	0.3	0.2	0.3
			40. 福岡	0.8	0.7	1.0
			41. 佐賀	1.7	1.5	1.9
			42. 長崎	0.4	0.4	0.3
			43. 熊本	1.5	1.5	1.6
			44. 大分	0.6	0.7	0.6
			45. 宮崎	2.6	2.9	2.2
			46. 鹿児島	1.9	2.4	1.3
			47. 沖縄	1.2	1.1	1.3
	クラス数は3学年合わせていくつか	1. 3クラス未満	2.4	2.4	2.2	
		2. 3～5クラス	13.8	13.4	14.7	
		3. 6～8クラス	17.7	17.6	18.5	
		4. 9～11クラス	9.2	9.5	9.3	
5. 12～14クラス		17.5	17.4	17.6		
6. 15～17クラス		12.2	12.8	10.9		
7. 18～20クラス		17.3	18.7	14.7		
8. 21クラス以上		9.9	8.1	12.1		
学区の特徴	1. 商業地域	12.0	10.3	14.3		
	2. 工業地域	1.5	1.5	1.5		
	3. 農山村地域	39.5	39.2	40.5		
	4. 漁業・港町	5.7	5.5	6.2		
	5. 新興住宅街	13.8	14.1	12.7		
	6. マンションなどの集合住宅街	4.7	5.0	3.9		
	7. 昔からの住宅街	22.8	24.4	20.8		
37	ふだんの生活	学校には始業時刻のおよそ何分前に着くか	1. 5分前	7.7	4.4	12.1
			2. 10～15分前	25.8	18.6	36.9
			3. 20～30分前	35.5	36.8	33.8
			4. 40～50分前	17.3	20.8	10.8
			5. 1時間前	9.2	13.2	3.8
			6. 1時間半前	3.4	4.4	2.2
			7. それ以上	1.1	1.8	0.3
	通勤時間はだいたいどれくらいか	1. 15分以内	39.3	37.9	41.2	
		2. 30分くらい	39.1	42.3	34.8	
		3. 45分くらい	12.1	11.6	12.8	
		4. 1時間くらい	7.4	7.0	8.0	
		5. 1時間半くらい	1.4	0.9	1.9	
		6. 2時間くらい	0.5	0.2	1.0	
		7. それ以上	0.1	0.0	0.3	

資料2 基礎集計表

質問項目			全体	性別		
				男性	女性	
37	ふだんの生活	退勤時刻はおよそ何時頃か	1. 5時以前	1.8	0.9	3.2
			2. 5時半頃	11.5	7.7	16.1
			3. 6時頃	16.1	12.1	22.8
			4. 6時半頃	21.1	21.1	19.9
			5. 7時頃	27.9	32.0	23.2
			6. 8時頃	16.5	19.7	11.9
			7. 9時頃	2.6	3.5	1.3
			8. 9時以降	2.4	3.1	1.6